

平成24年度 環境に関する市民意識調査

平成24年11月
横浜市

目次

調査概要	1
調査結果	2

設問一覧

Q1	横兵の環境の現状について、どのように感じているか	2
Q2	横兵の環境は10年前と比べてどのようになったと感じているか	2
Q3	市内の満足度	3
Q4	環境に対する関心や行動で最も近いもの	8
Q5	関心のある環境問題や環境活動	9
Q6	環境にやさしい生活のために実践していること	9
Q7	環境活動を実践するうえで難しい点、行動できない、行動しない理由	18
Q8	環境の保全と生活の便利さ・快適さについて考えに最も近いもの	18
Q9	地域の環境活動に参加したいと思うか	19
Q10	どんな種かや取組に参加したことがあるか、参加したいと思うか	19
Q11	どんな形態の活動に参加したことがあるか、参加したいと思うか	20
Q12	地域の環境活動に参加しない、あるいは参加できない理由	20
Q13	環境問題や環境活動に関して、必要な情報は得られているか	21
Q14	環境の情報を得る主な手段は何か	21
Q15	横兵市環境創造局で、情報を発信するためにツイッターを利用していることの認知	22
Q16	市のCO ₂ 排出量の家庭部門に占める割合は全国と比べると高いことの認知	22
Q17	家庭でのCO ₂ 排出削減・省エネ行動を進める取組「環境家計簿」についての認知	23
Q18	家庭でのCO ₂ 排出削減・省エネ行動を進める機器「HEMS」があることの認知	23
Q19	生物多様性という言葉を知っているか	24
Q20	近年、生物多様性の危機が問題として挙げられているが、身近な問題と思うか	24
Q21	「ヨコハマプラン」について、特に必要と思うもの	25
Q22	身近に緑を感じられる環境があるか	25
Q23	公園や森林、水辺の広場など身近な自然環境に足を運ぶ頻度	26
Q24	市民が負担（横兵みどり税）することについての考え	26
Q25	市の中心部に緑や水辺が多くないことについて、優先的に必要なこと	27
Q26	横兵市が住宅用雨水浸透ますの設置に補助金制度を設けていることの認知	27
Q27	横兵産の農産物を購入したことがあるか	28
Q28	農産物直売所やその他の場所で、横兵産の農産物を購入しようと思う理由	28
Q29	市民利用型農園で農作業を体験してみたいと思うか	29
Q30	横兵市の環境に関する取組について、どのように感じているか	29
Q31	今後、横兵市に優先的に取り組んで欲しい事項	38
Q32	震災から1年以上が経過したが、今後、横兵市が災害対策として優先的に取り組むべきこと	39

調査概要

1 調査目的

今後の環境分野の市政運営や政策立案の基礎資料として活用するため、市民の環境に関する意識や市政に対する満足度、要望等を把握することを目的とする。

2 調査地域

横浜市在住者

3 調査対象者

対象者条件：20歳以上の男女

「平成23年中の人口動態と平成24年1月1日現在の年齢別人口」より、人口構成比に基づき、性別・年齢別に割付け

対象者数：1,000人

(人)

	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	78	101	107	78	142	506
女性	71	96	100	74	153	494
合計	149	197	207	152	295	1,000

グラフ中の地域の区分けは、以下のとおり。

地域 東部（鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区）

西部（保土ケ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区）

南部（港南区、磯子区、金沢区、栄区）

北部（港北区、緑区、青葉区、都筑区）

4 調査方法

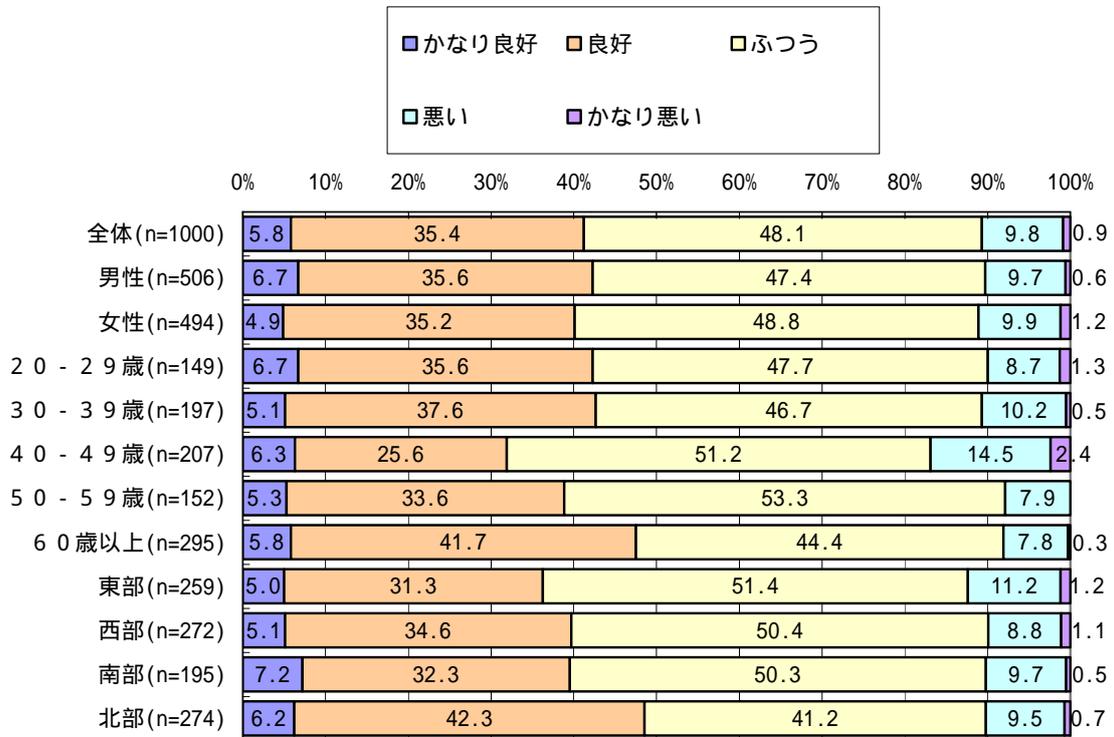
インターネット調査（登録モニターによるWEB調査）

5 実施時期

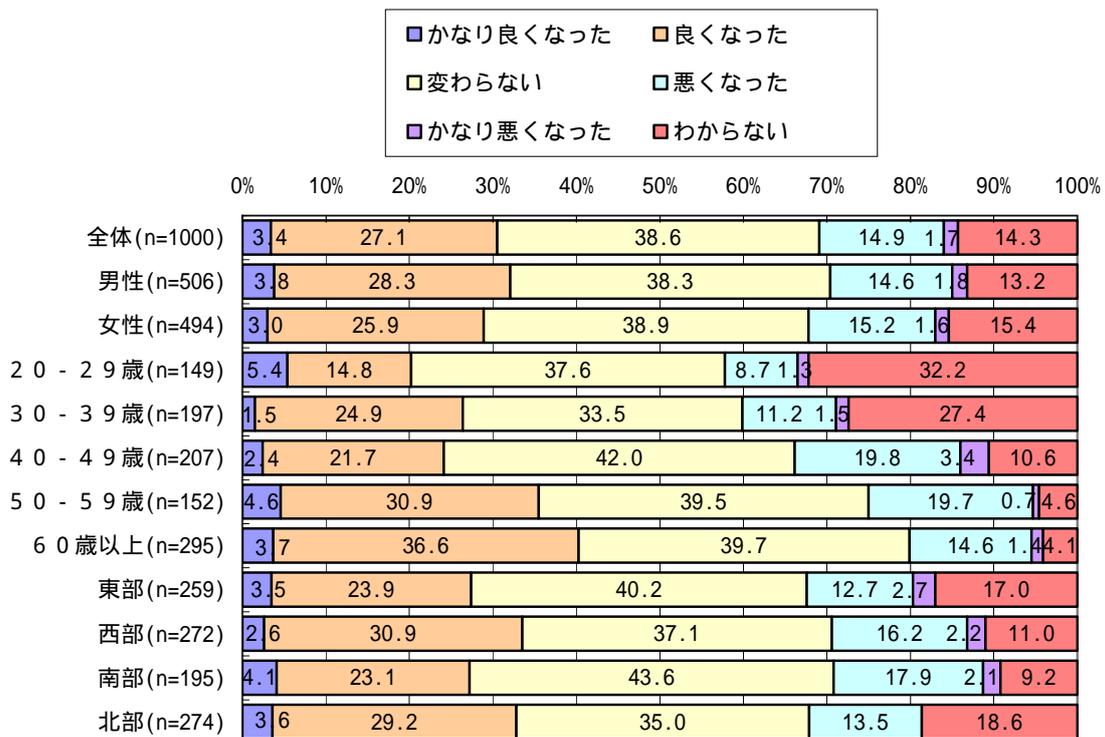
平成24年8月23日（木）～8月29日（水）

調査結果

Q1. 横浜の環境の現状について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

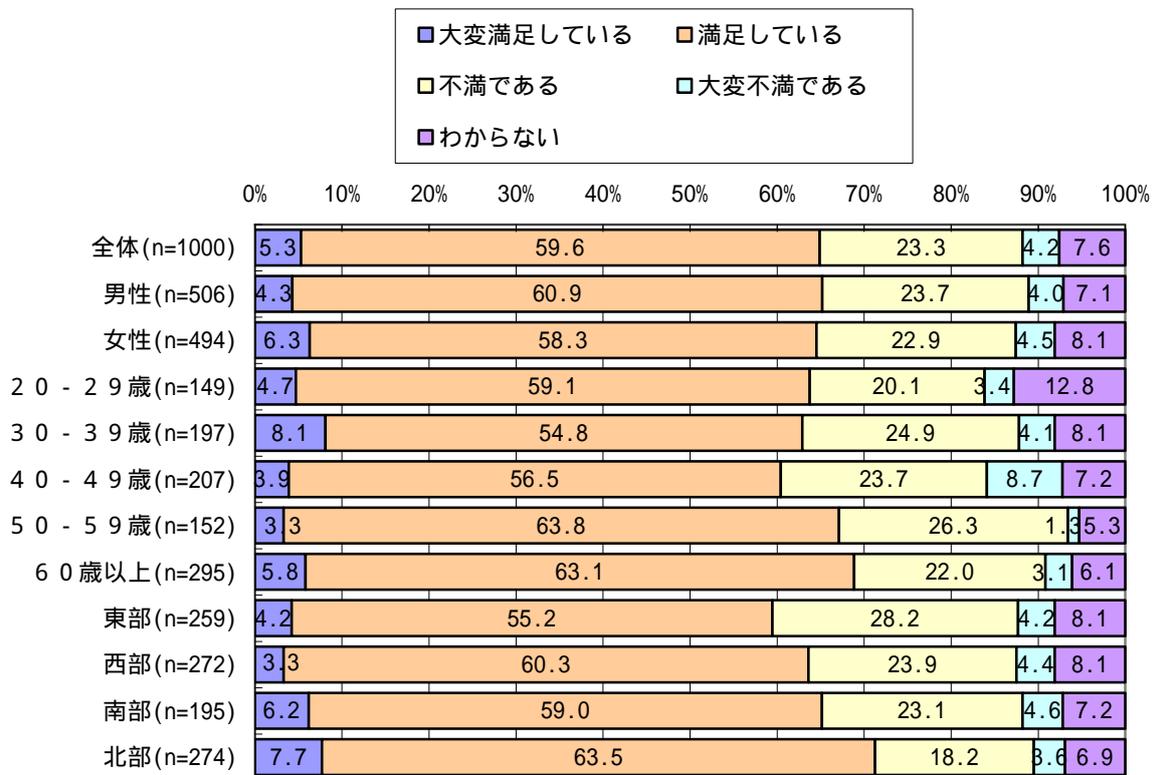


Q2. 横浜の環境は10年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

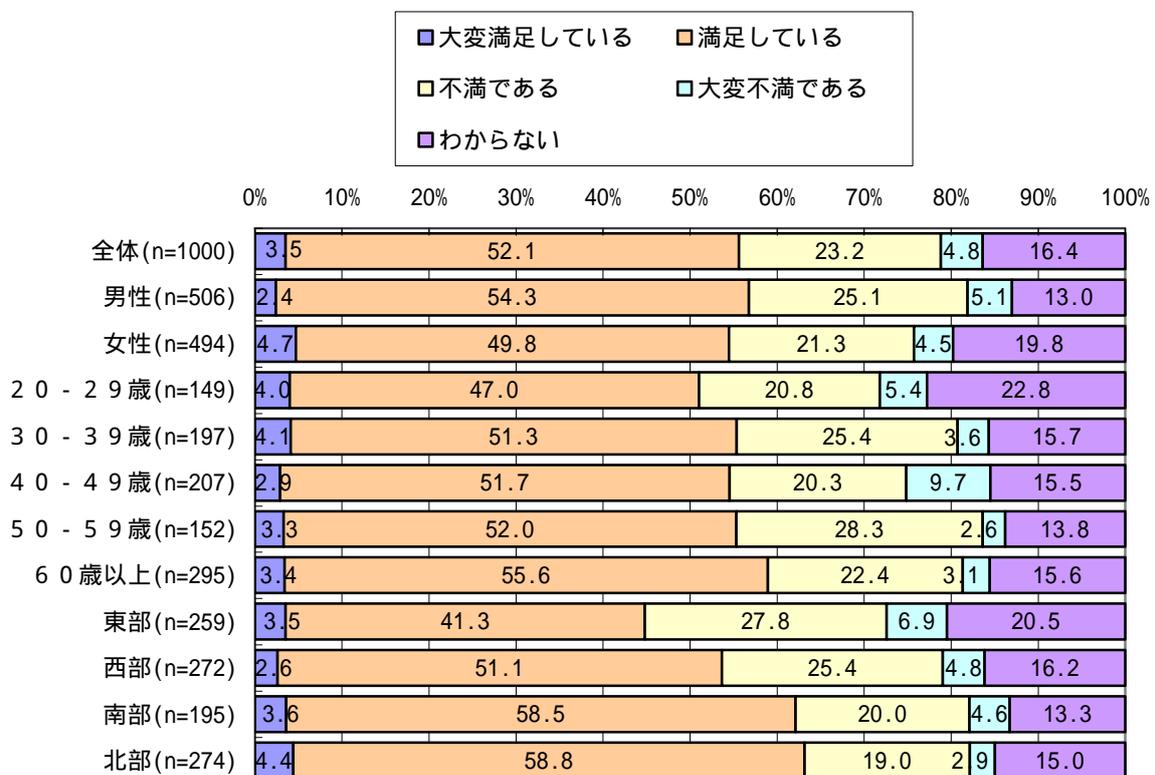


Q3. 横浜市内の、次の1~11について、どのように感じていますか。項目ごとに、最も近いものを1つお選びください。

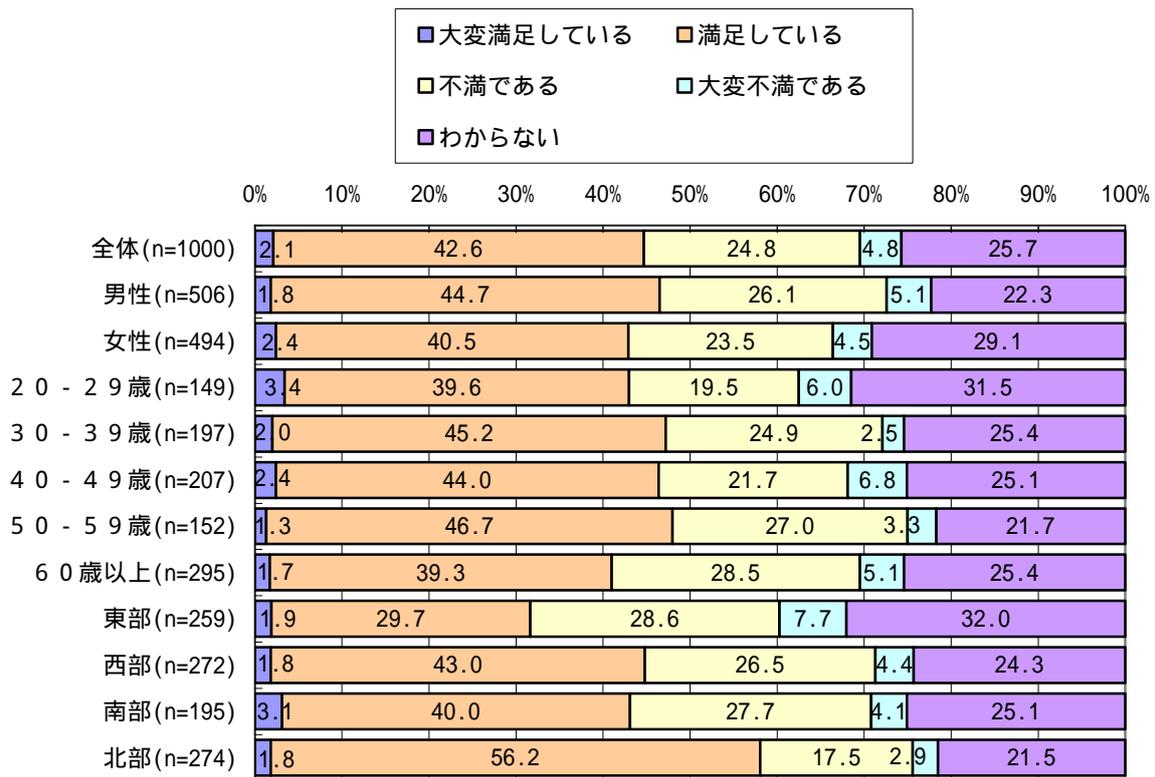
1. 公園や街路樹などの緑



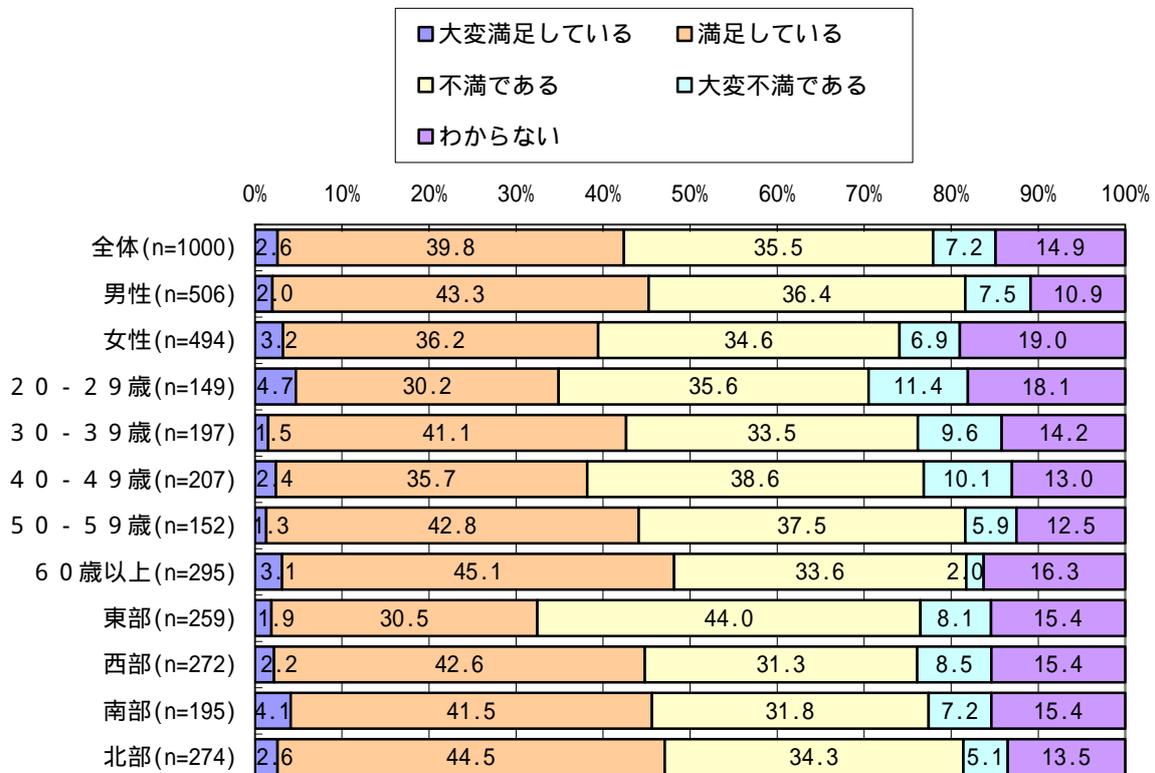
2. 里山や森林などの緑



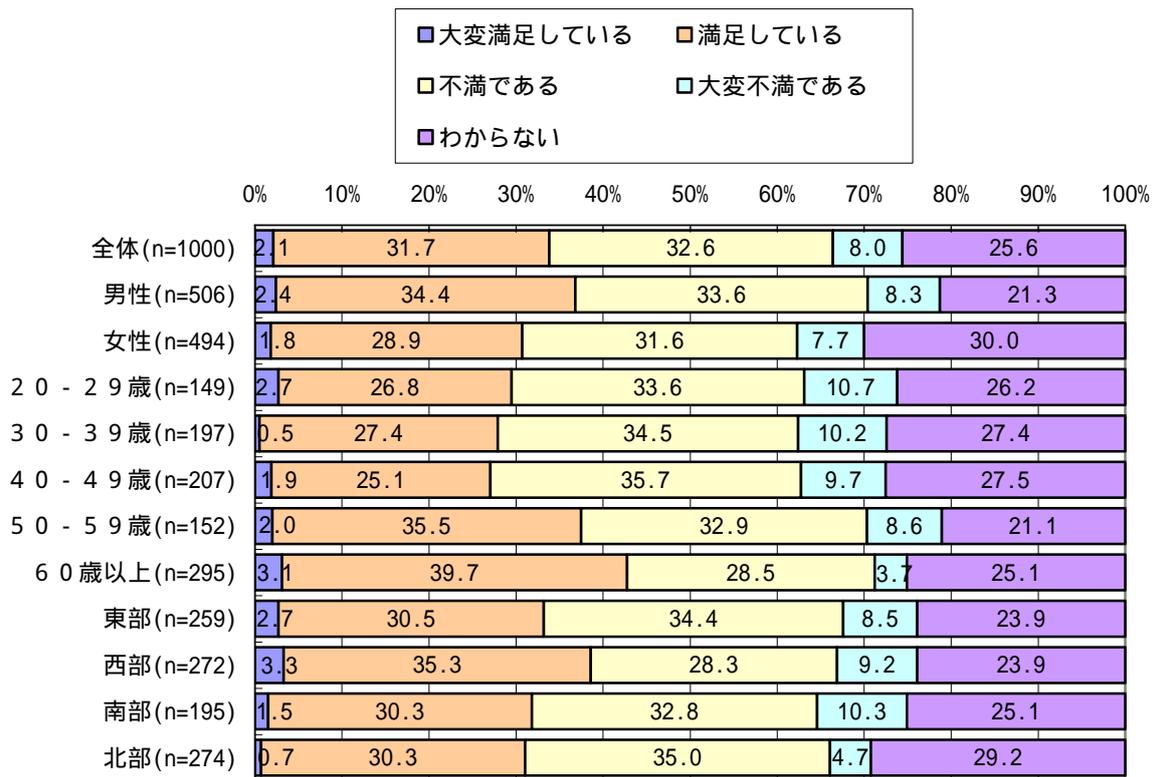
3.農地等の緑



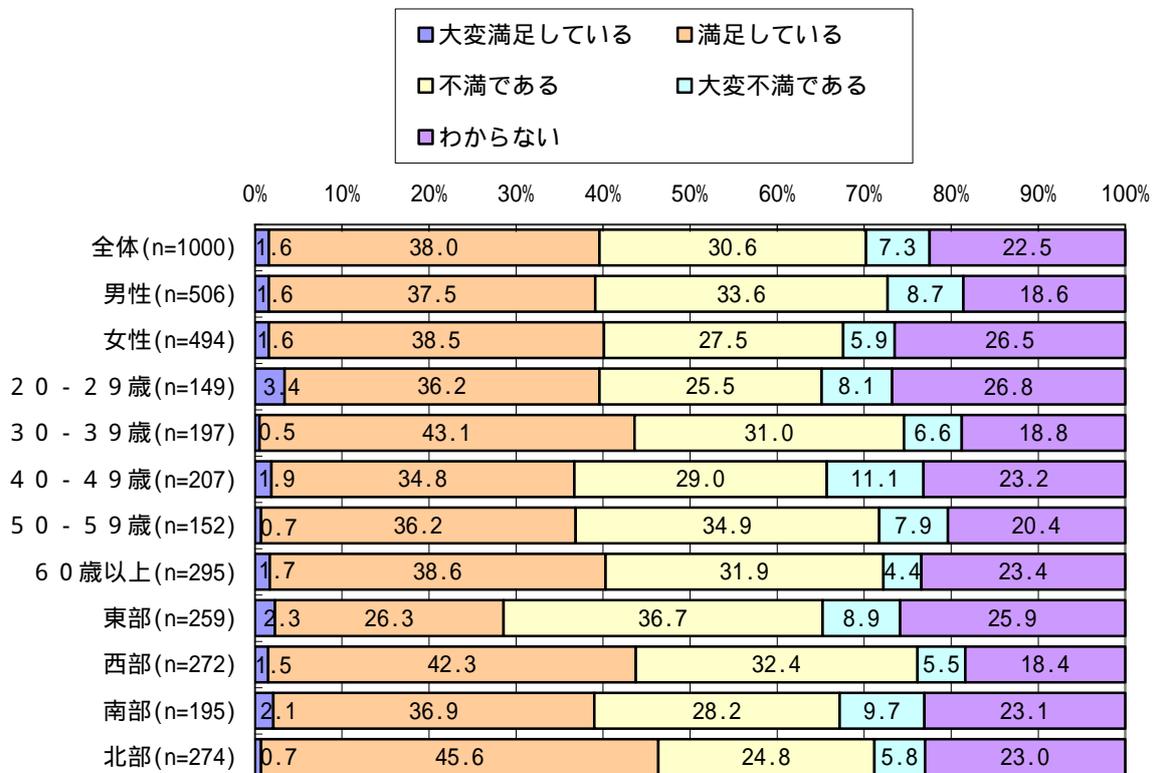
4.河川や池などの水辺



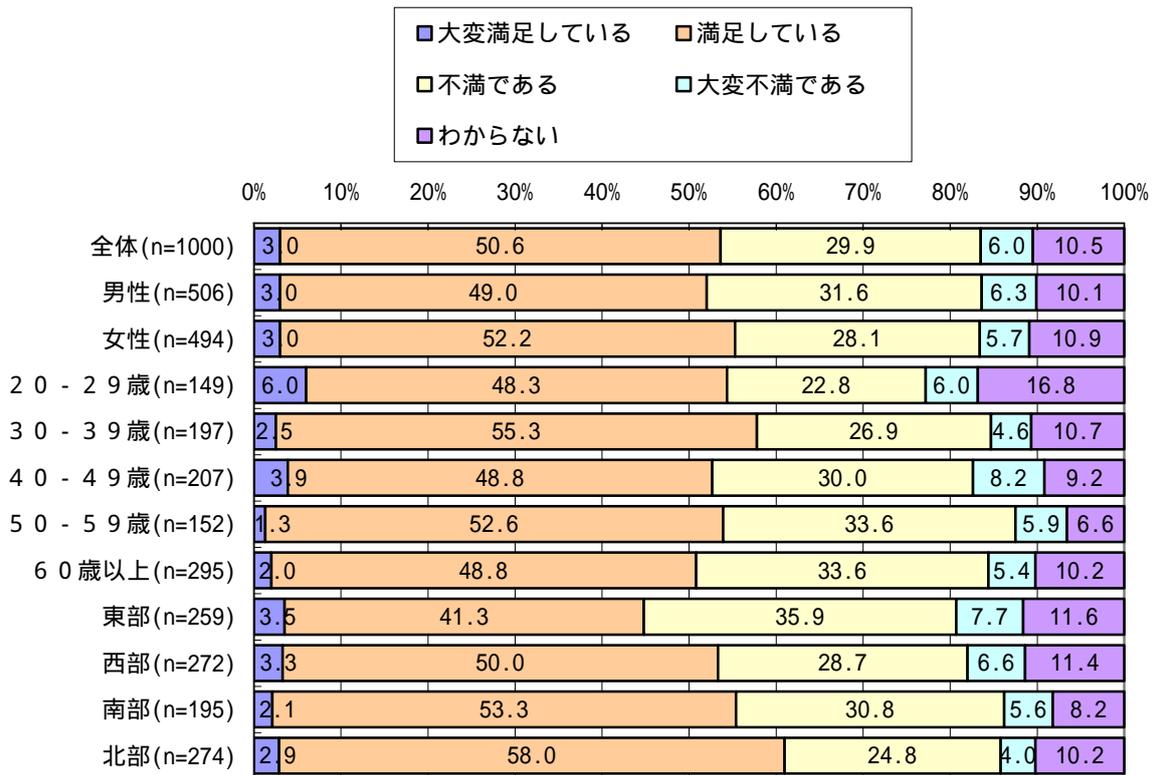
5. 横浜港の水質の状況



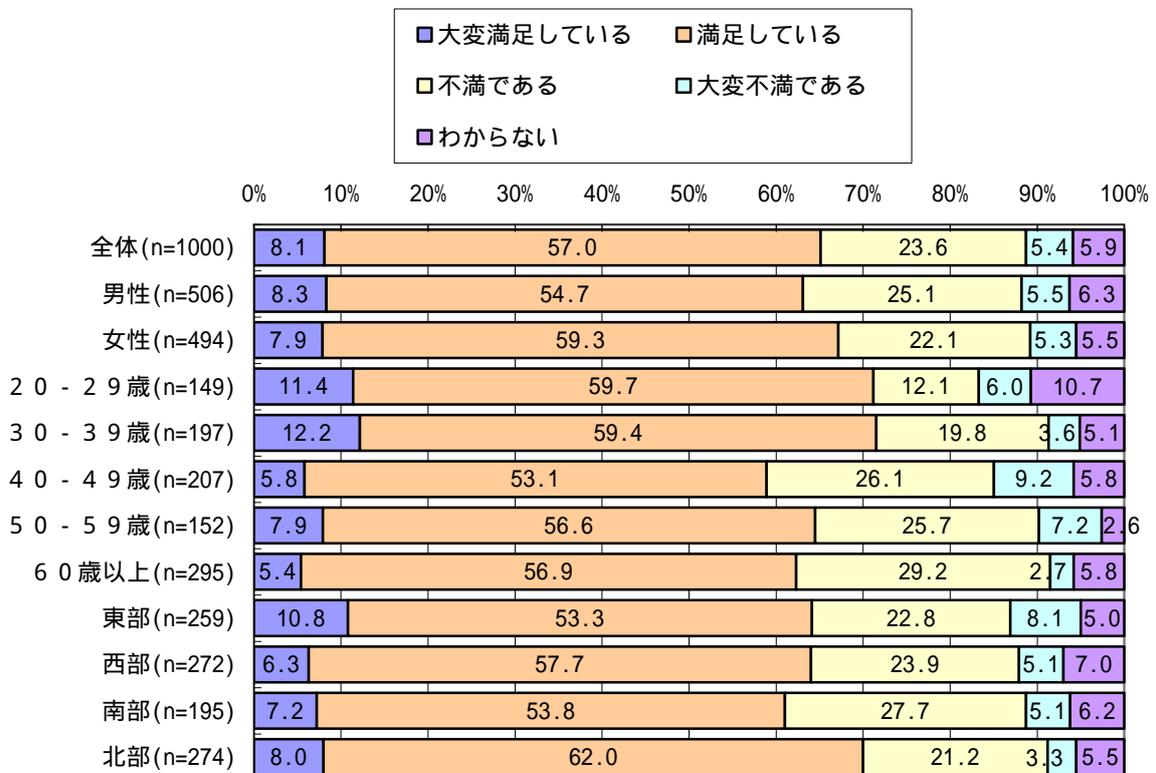
6. 昆虫や魚、鳥などの自然の中の生き物の状況



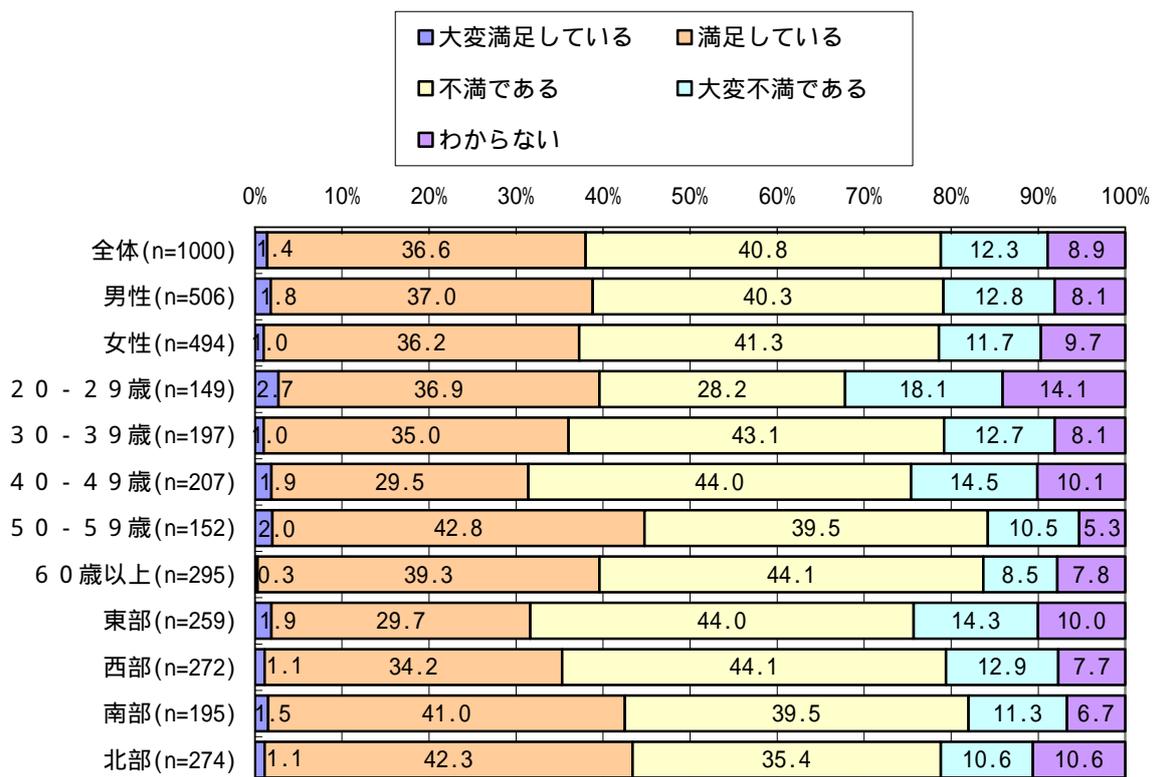
7.市街化と自然とのバランス



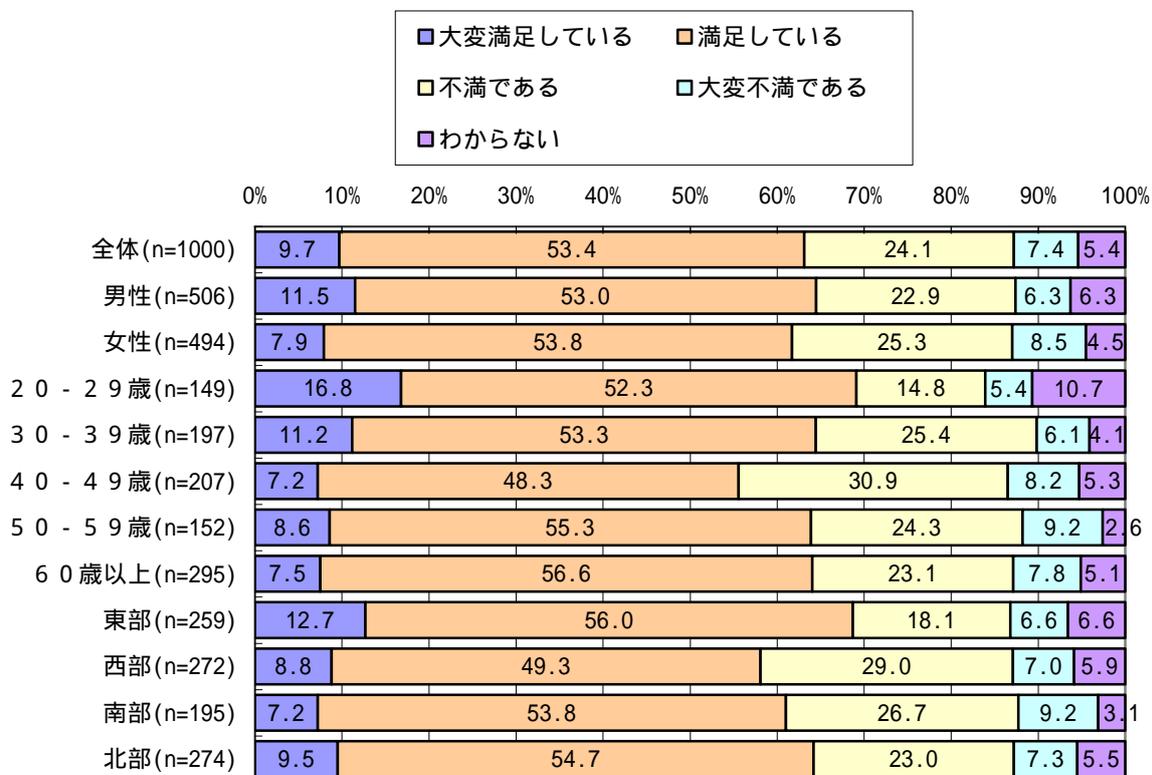
8.街並み、景観



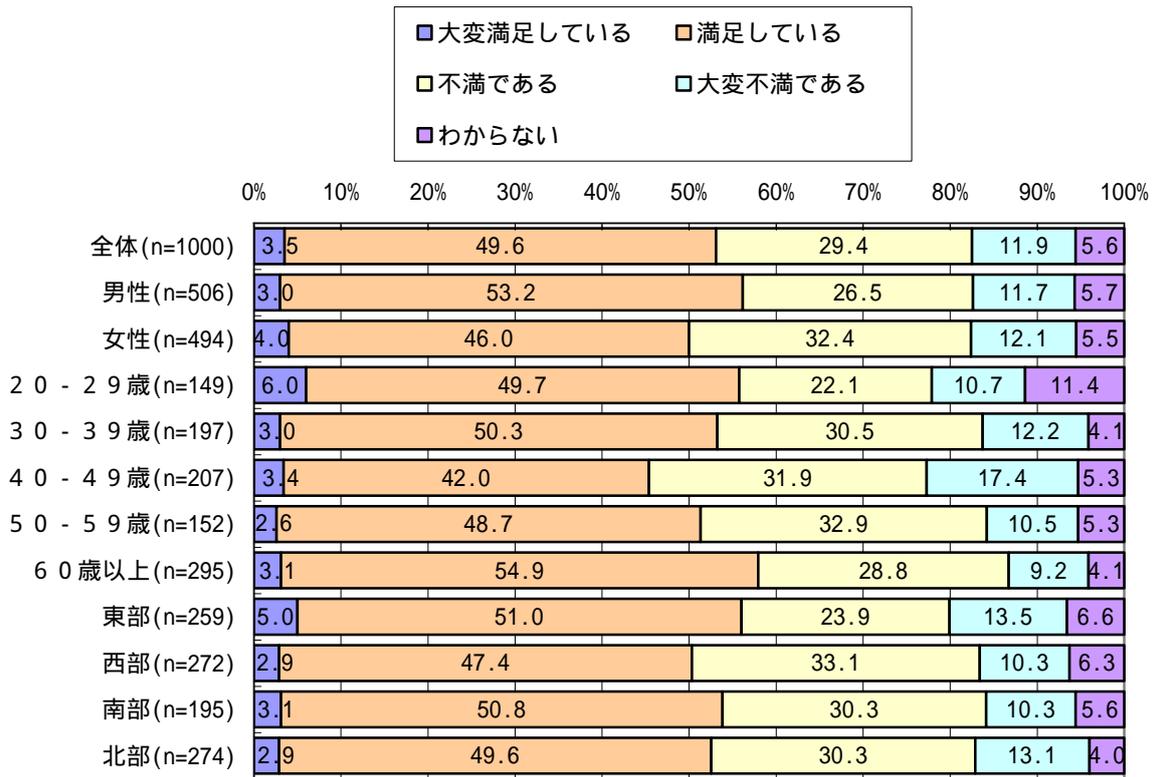
9. 大気や騒音・振動などの状況（生活環境の状況）



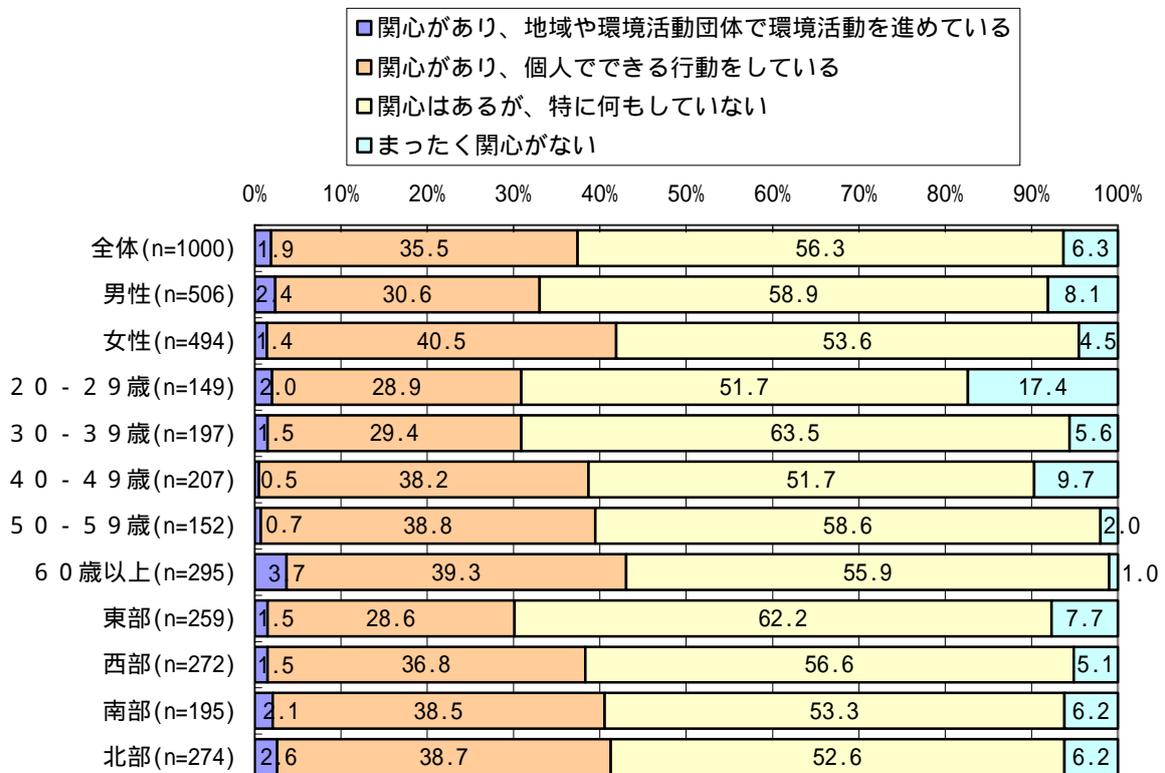
10. 鉄道やバスなど、公共交通の使いやすさ



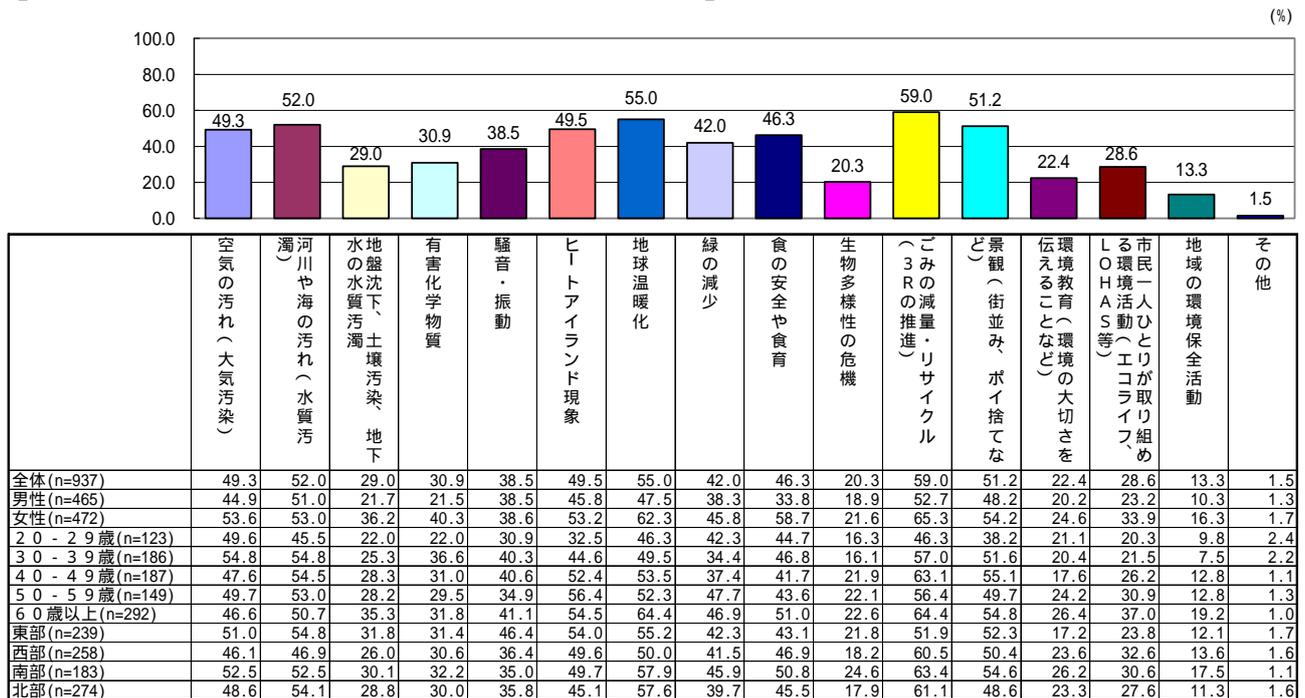
11. ごみ処理（資源回収や分別収集など）の状況



Q4. 環境に対する関心や行動について伺います。最も近いものを1つお選びください。

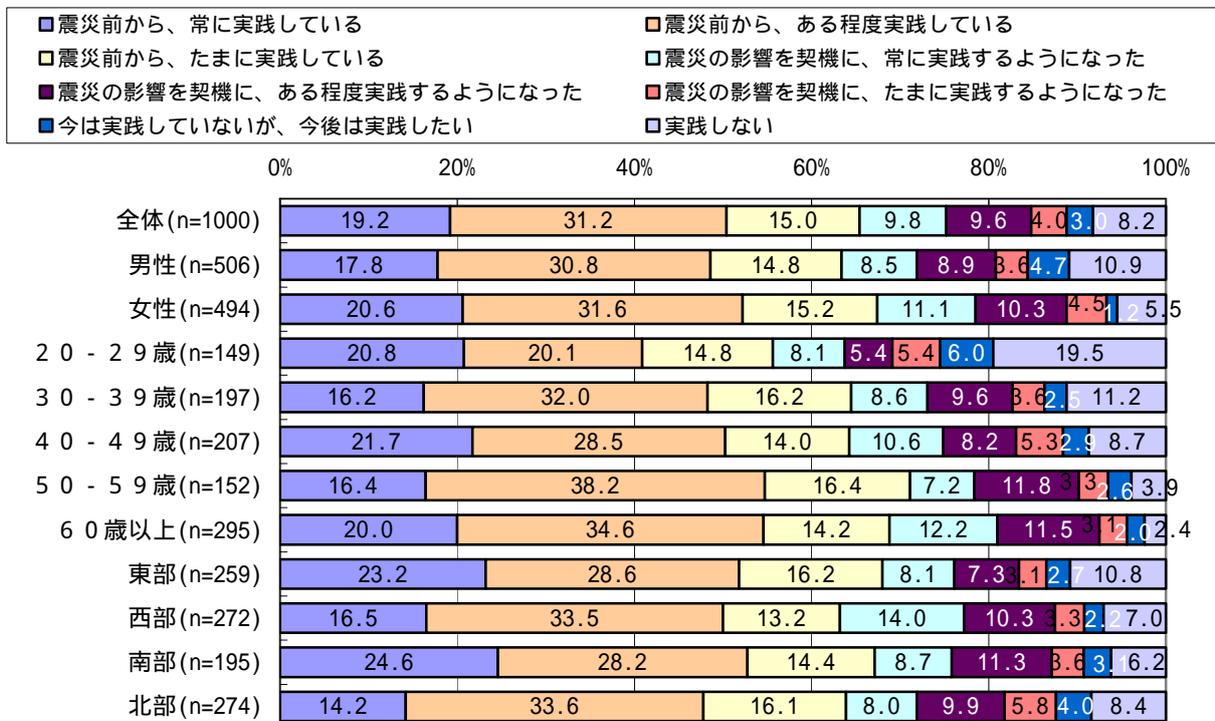


Q5. 次の環境問題や環境活動について、関心のあるものをすべて選んでください。(複数回答可)
 [Q4で「まったく関心がない」以外を選んだ方のみ回答]

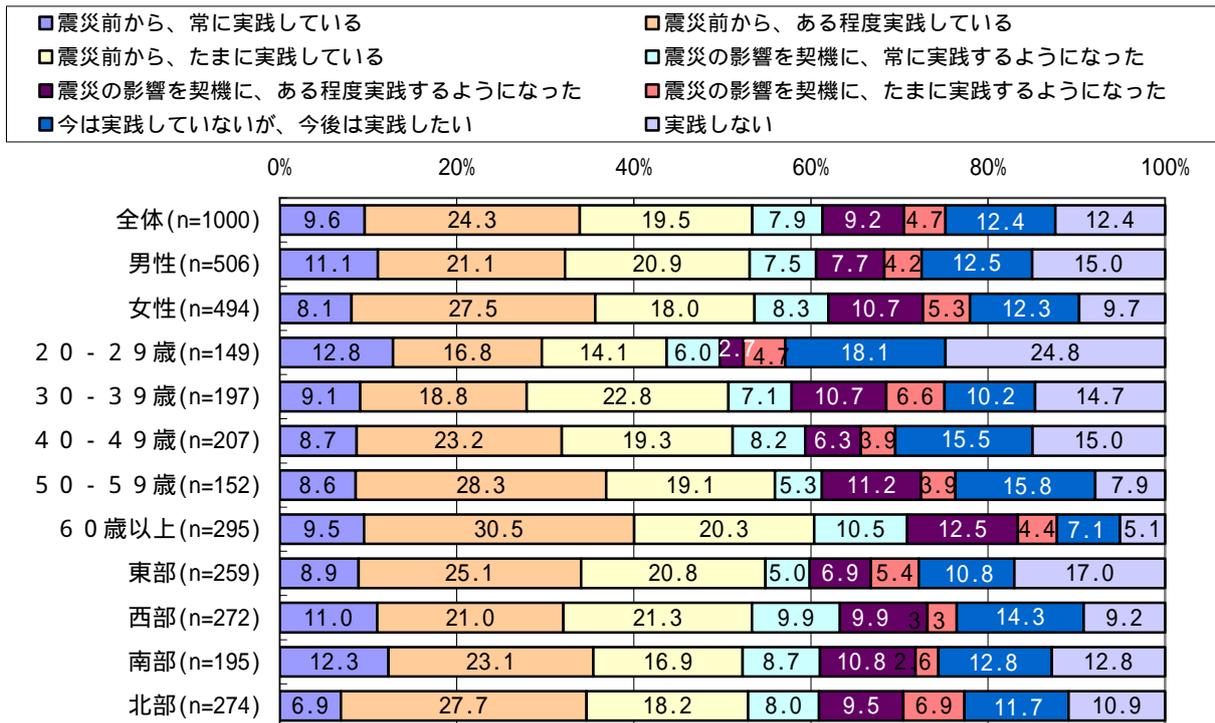


Q6. 環境にやさしい生活をするために、実践していることはありますか。また、東日本大震災の前と比較して、日常生活において意識や行動に変化はありましたか。項目ごとに、最も近いものを一つお選びください。

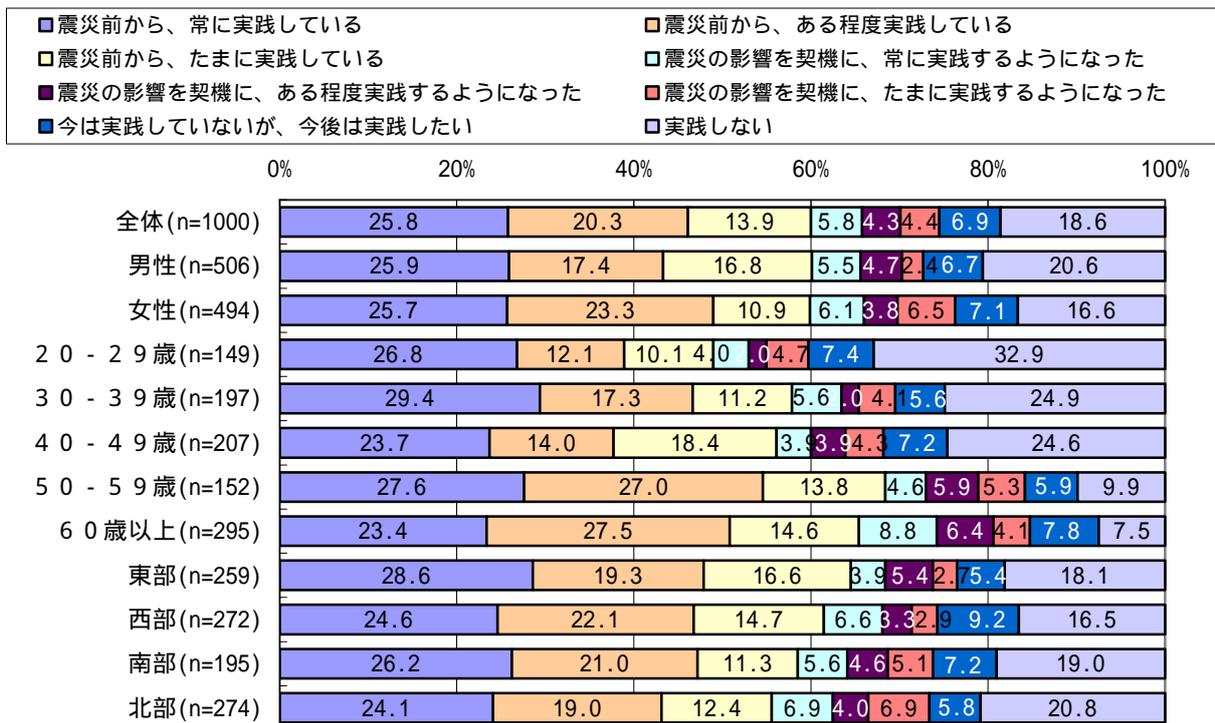
1. 家庭で省エネルールをつくり、電気やガス、水のムダづかいに気をつける(こまめにコンセントを抜く、冷暖房の適切な温度設定など)



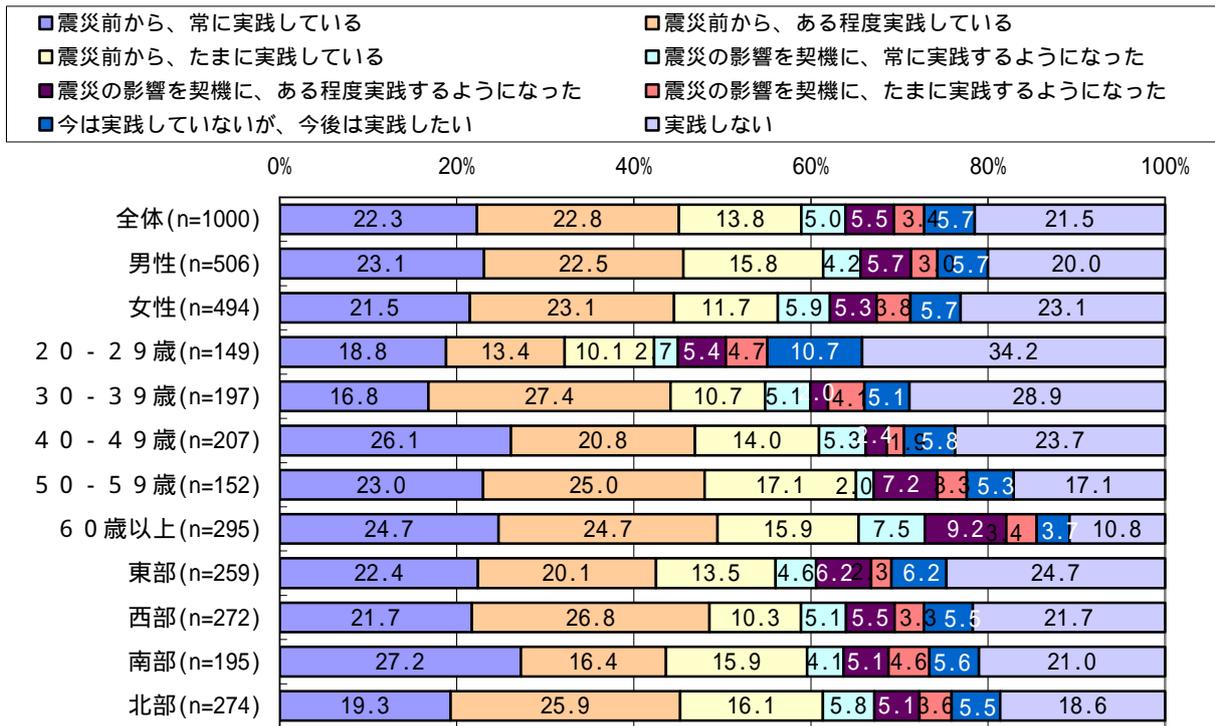
2. エネルギー効率のよい製品等を選択して購入する（買い替え時に省エネ型製品を選択するなど）



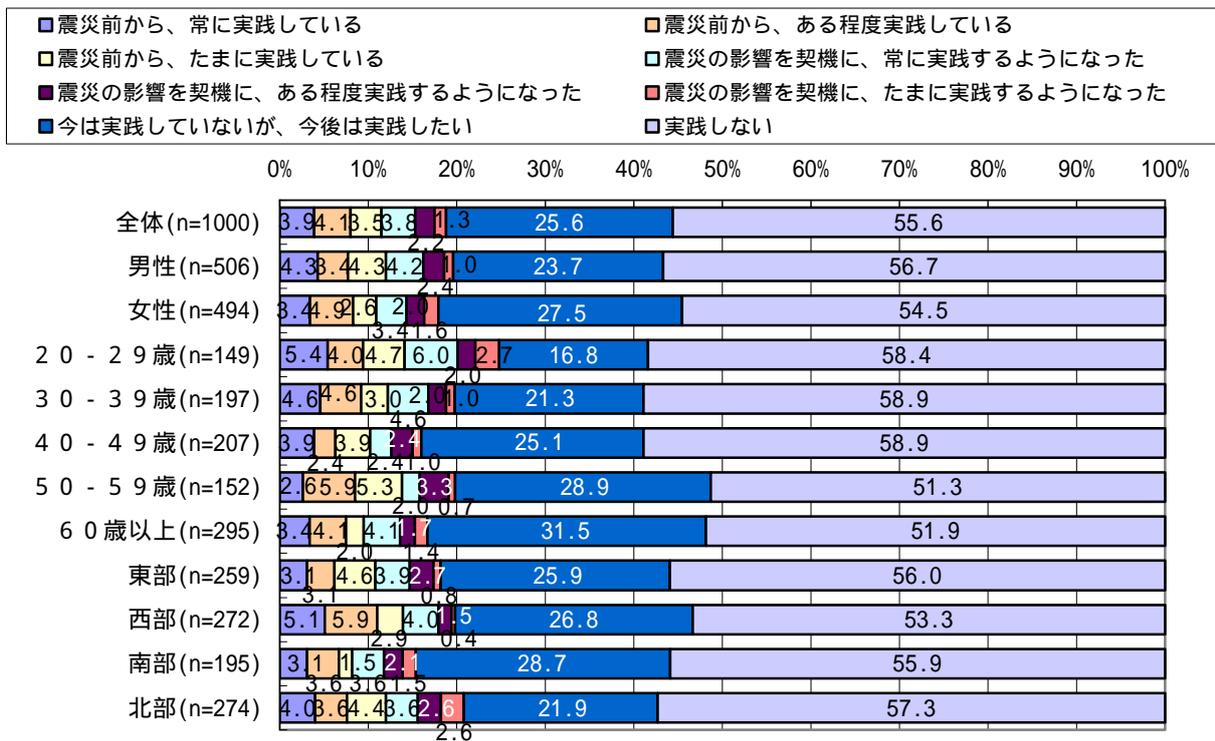
3. 自家用車の利用を減らし、公共交通機関の利用や徒歩や自転車での移動を増やす



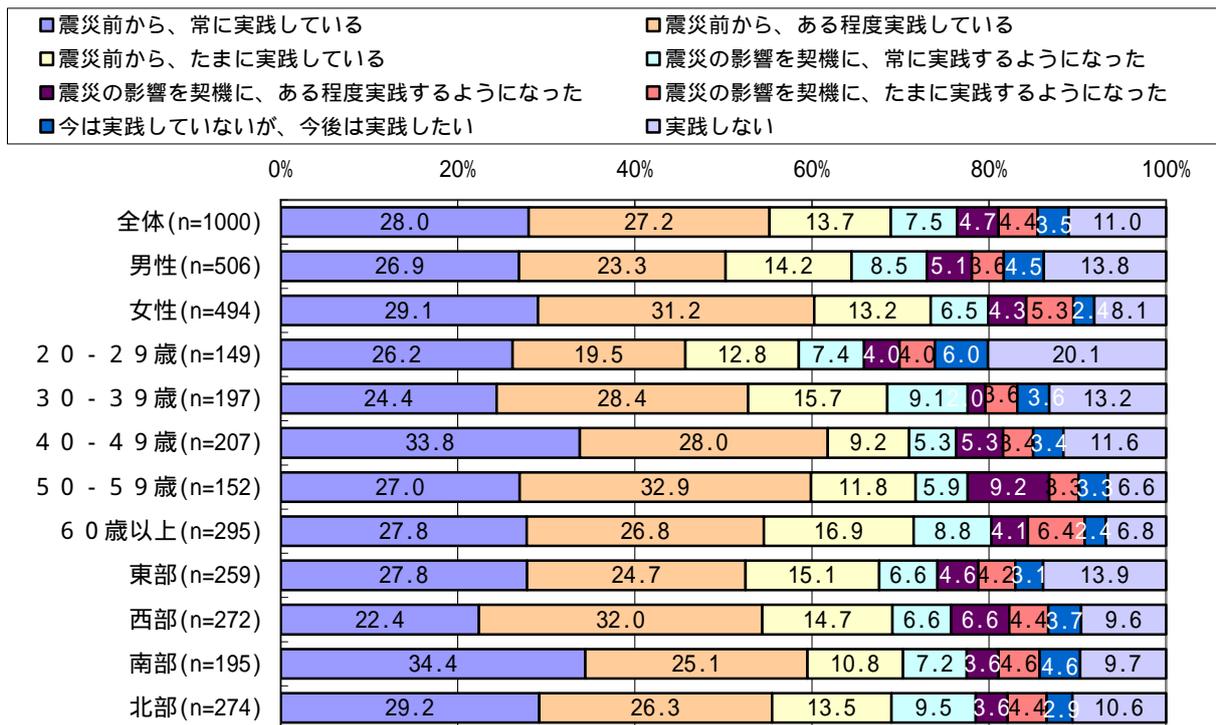
4.車に乗るときは、エコドライブ（急発進、急加速を避けるなど環境に配慮した運転）に気をつける



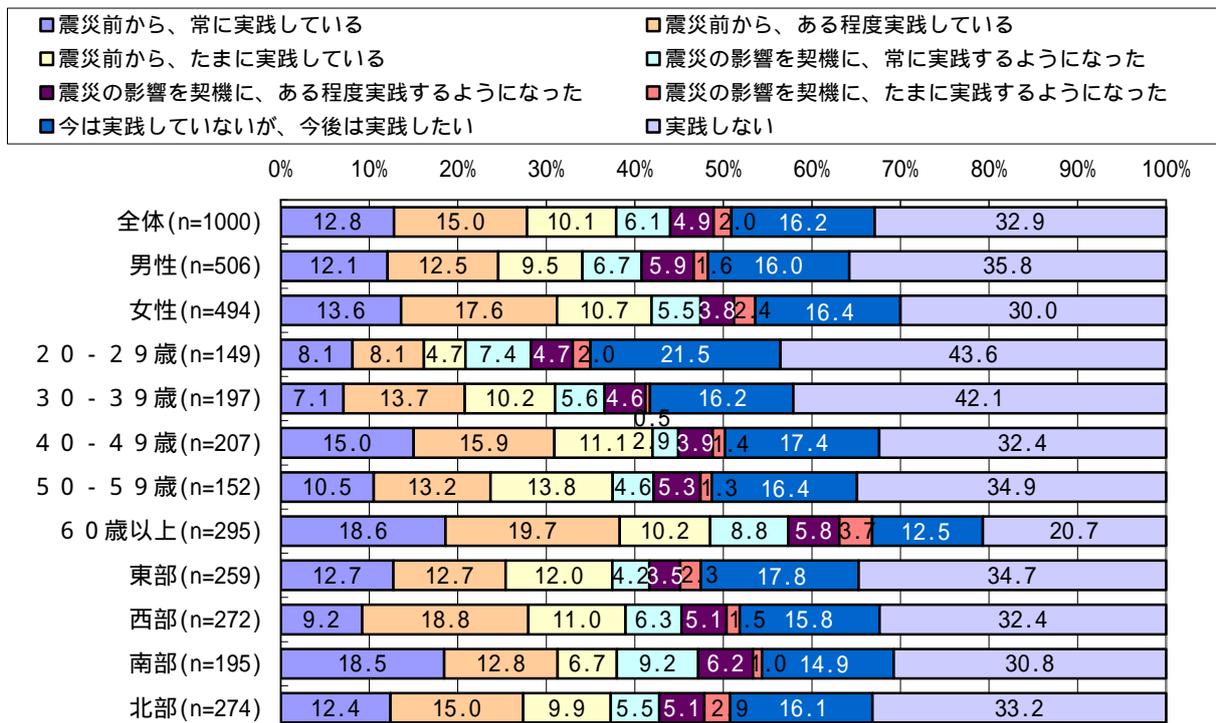
5.太陽熱やヒートポンプ技術を利用した給湯設備、太陽光を利用した発電設備などを自宅に設置する



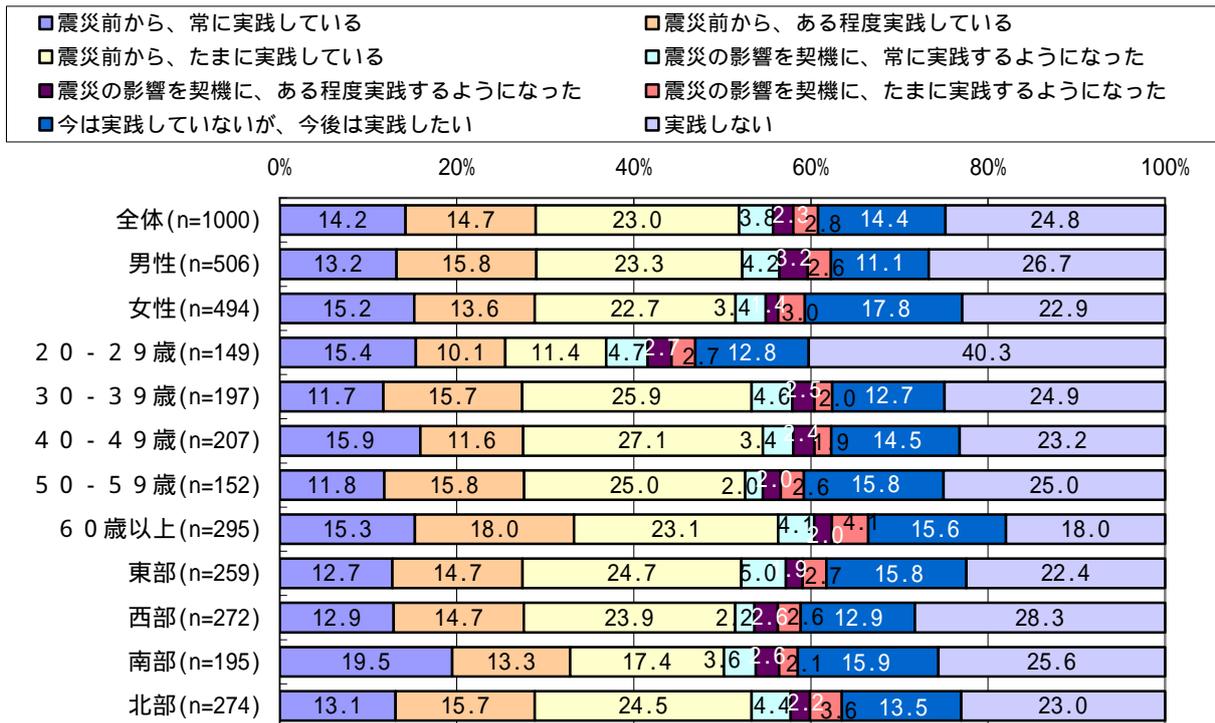
6. クールビズやウォームビズなど、適温冷房・適温暖房にあわせた服装を選択する



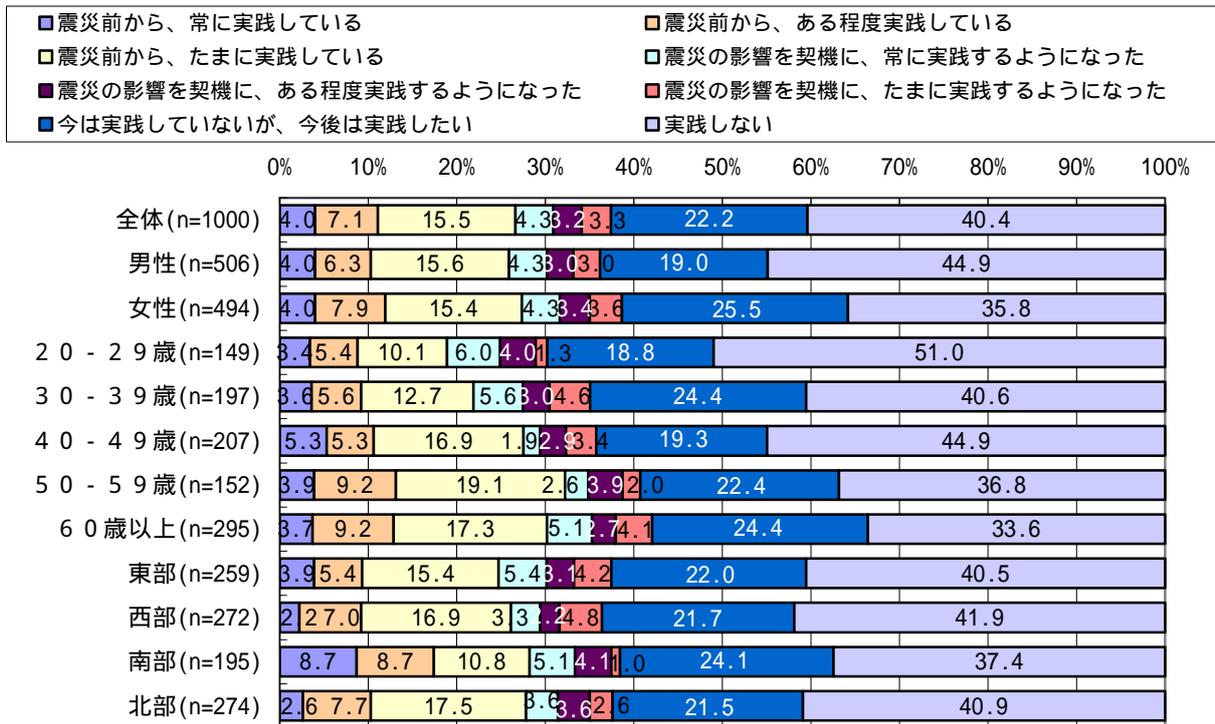
7. 緑のカーテンを取り入れたり、生け垣や庭、ベランダなどで緑を育てている



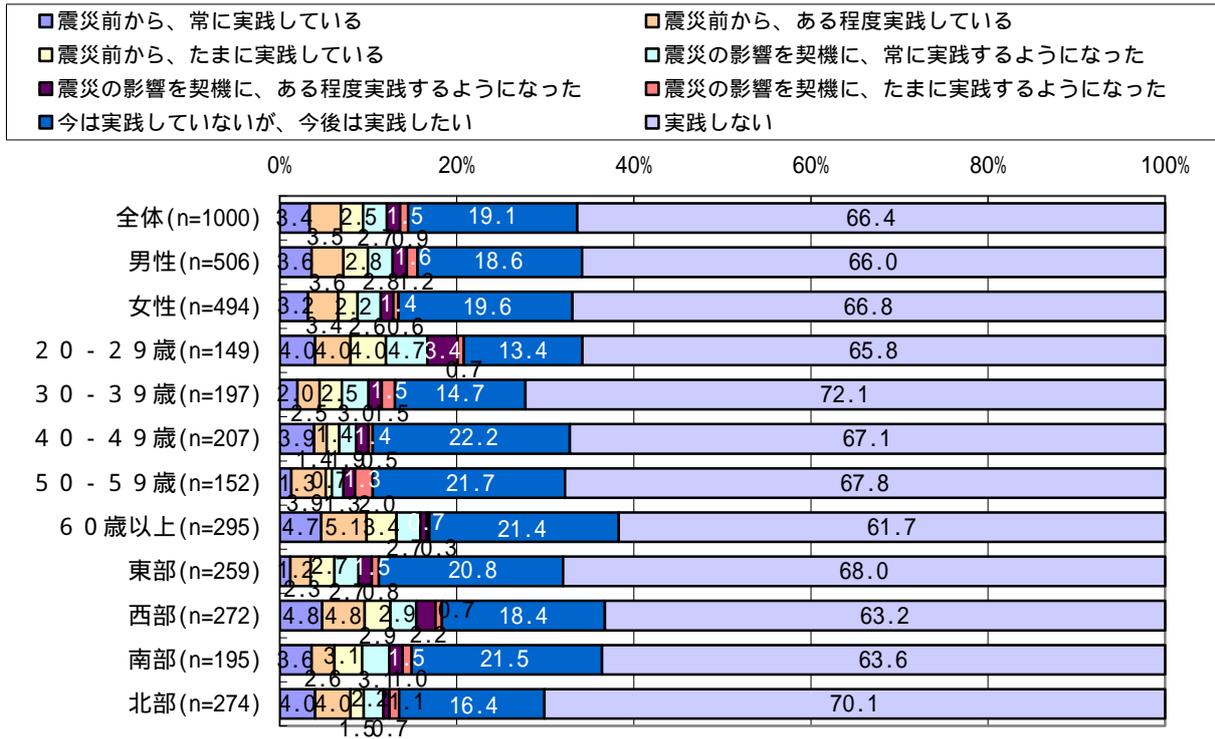
8. 近くの川や公園・森や里山などに出かけ自然環境に触れ合う



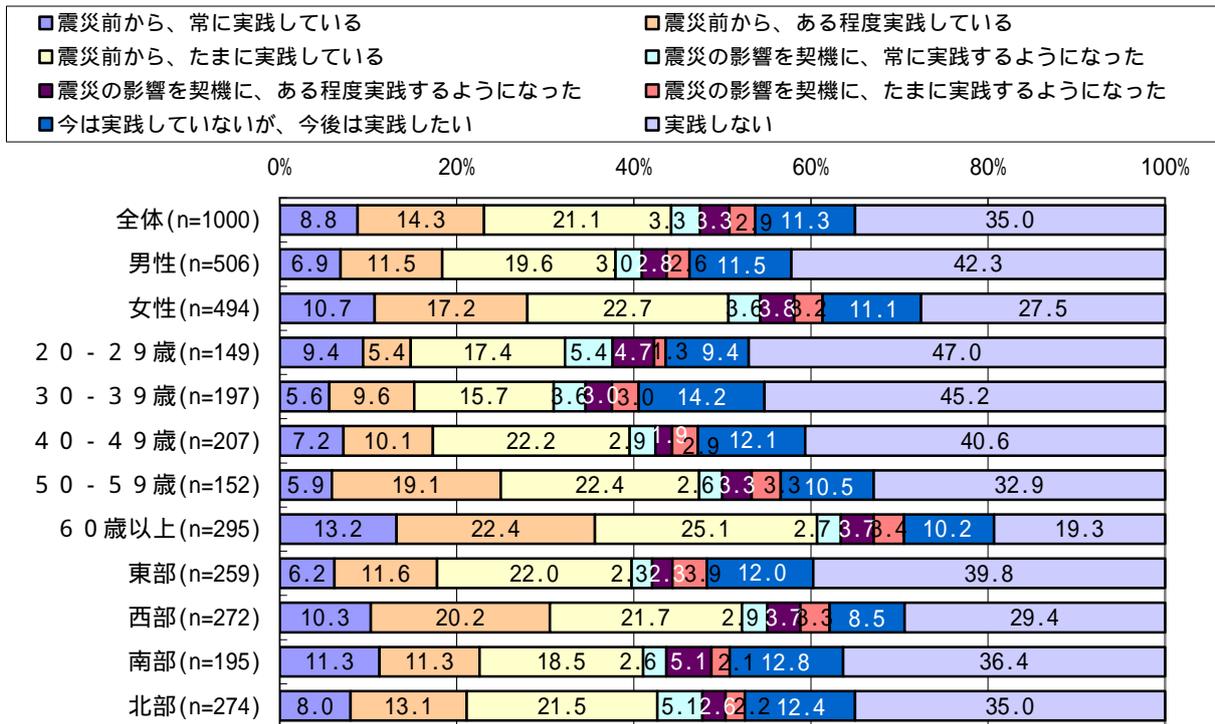
9. 水辺や緑の保全と創造のための募金などに応じる



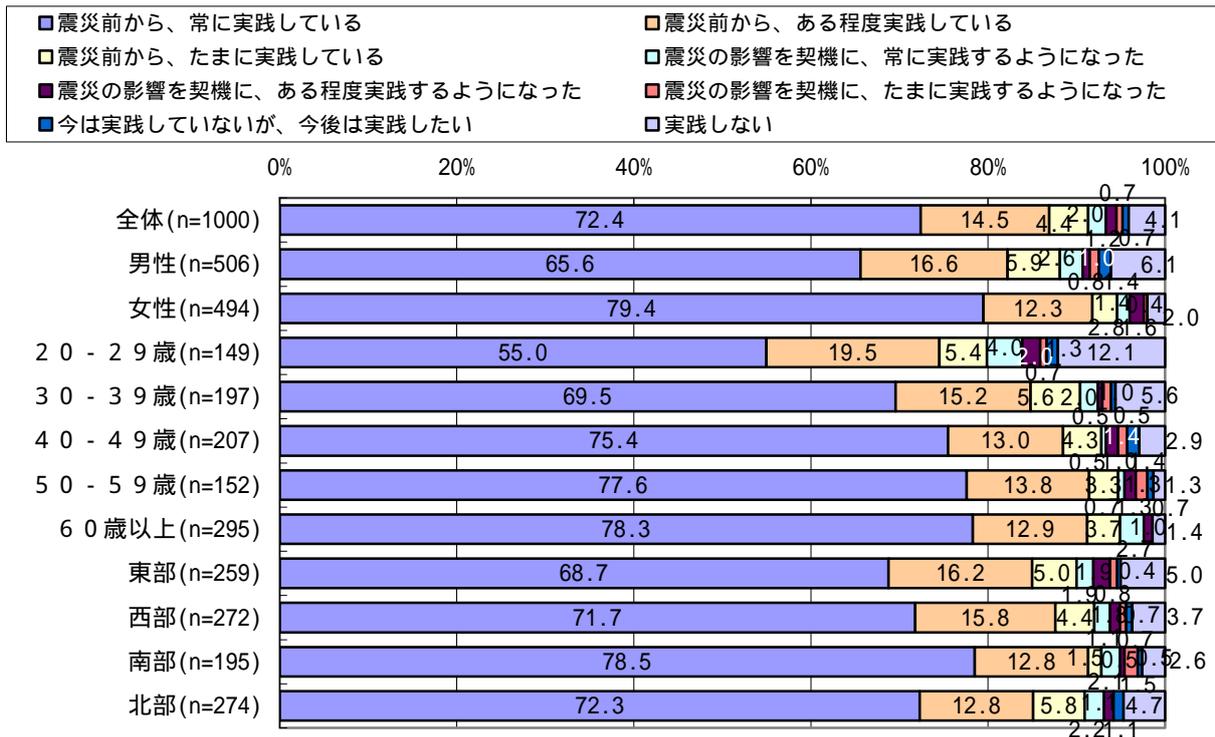
10. 雨水浸透ますや雨水貯留タンクを設置する



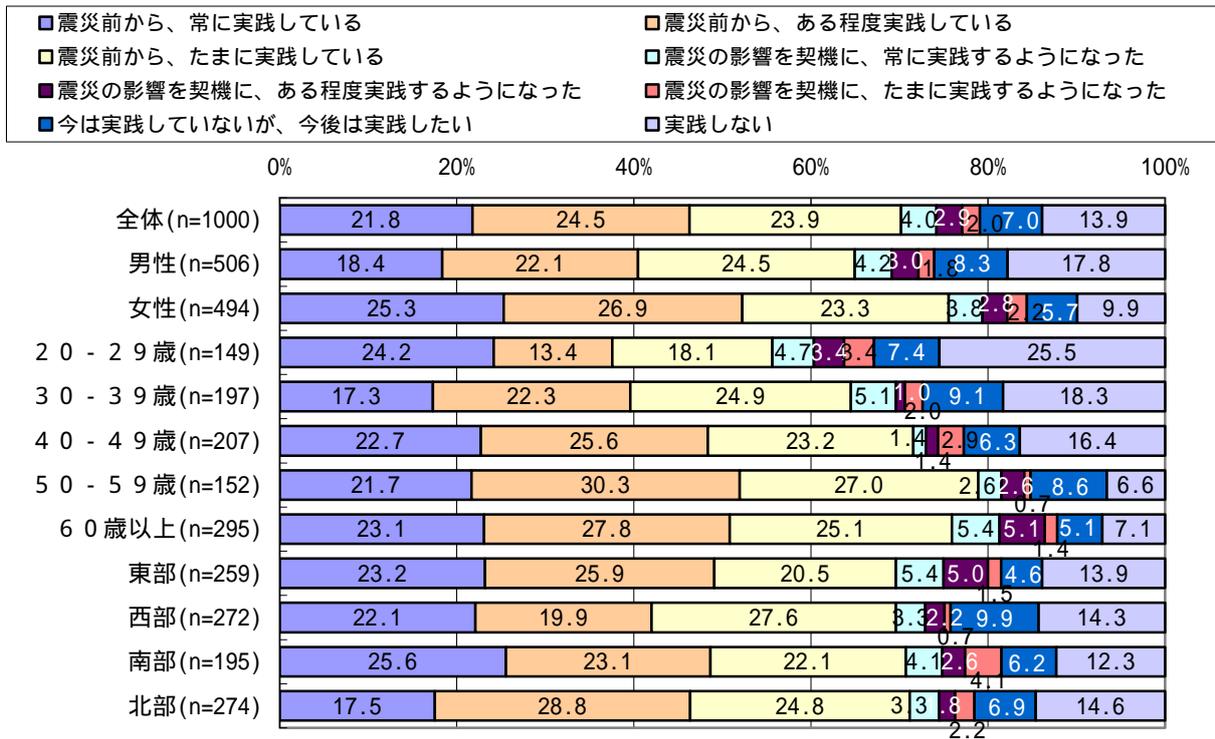
11. 横浜産の野菜や果物を選んで買う



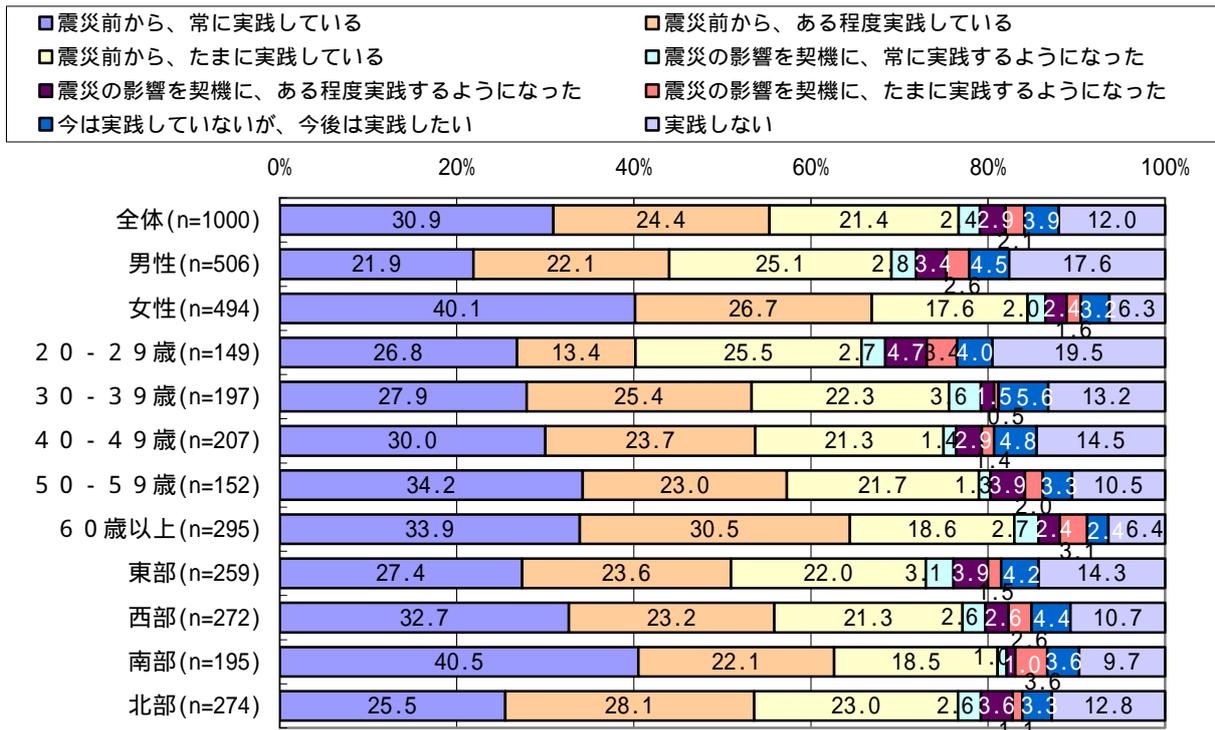
12. ごみは分別して出す



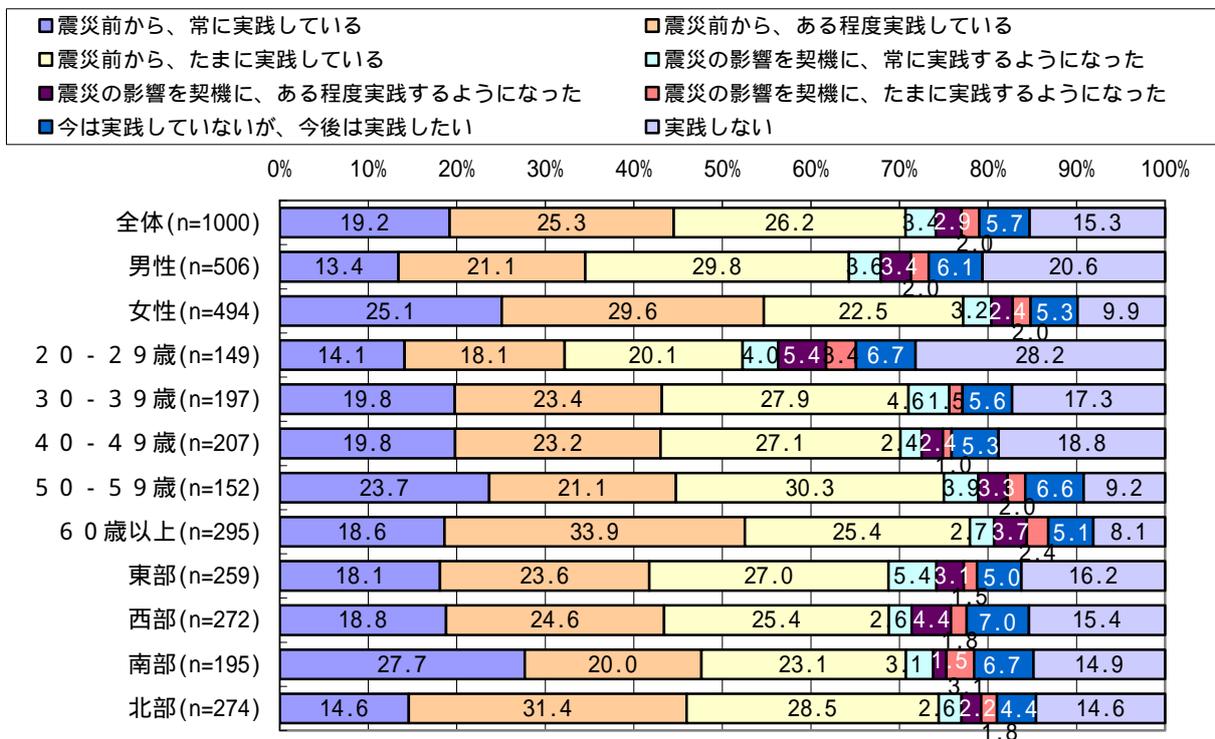
13. 資源を大切に使うためにもなるべく使い捨てのものは使わない



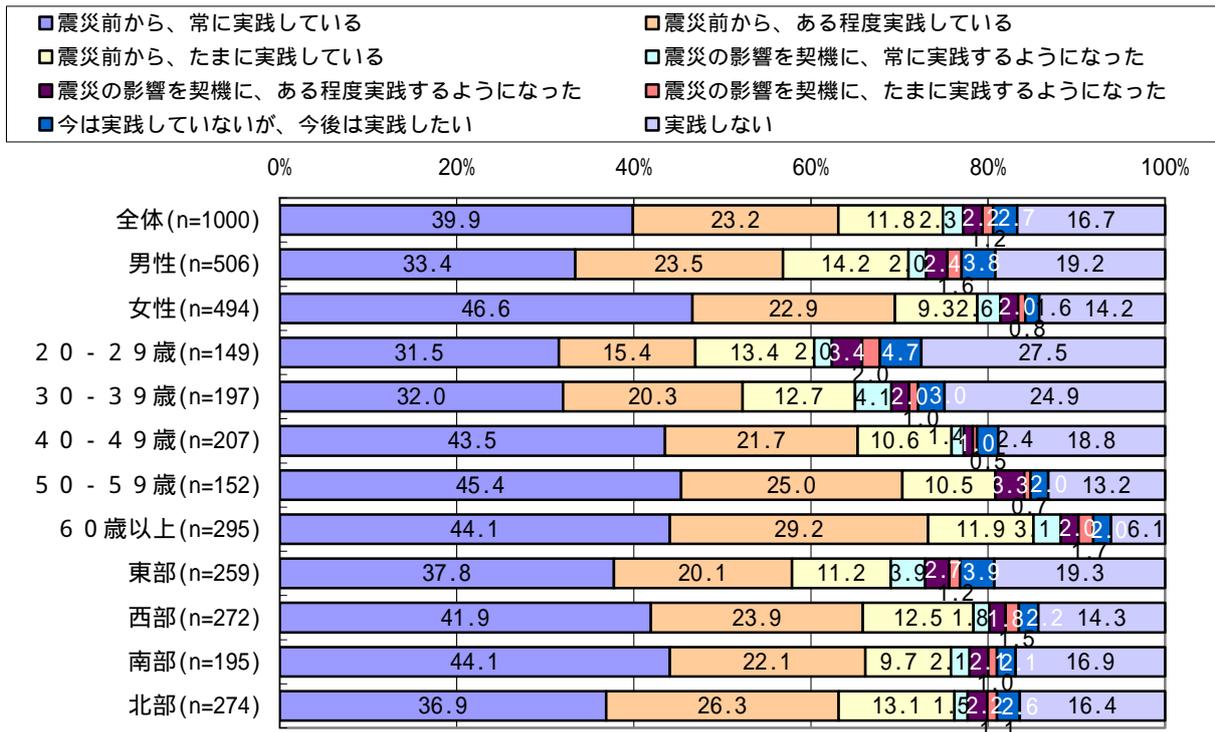
14. 買い物では商品の過剰な包装は断っている、あるいはレジ袋をなるべくもらわない



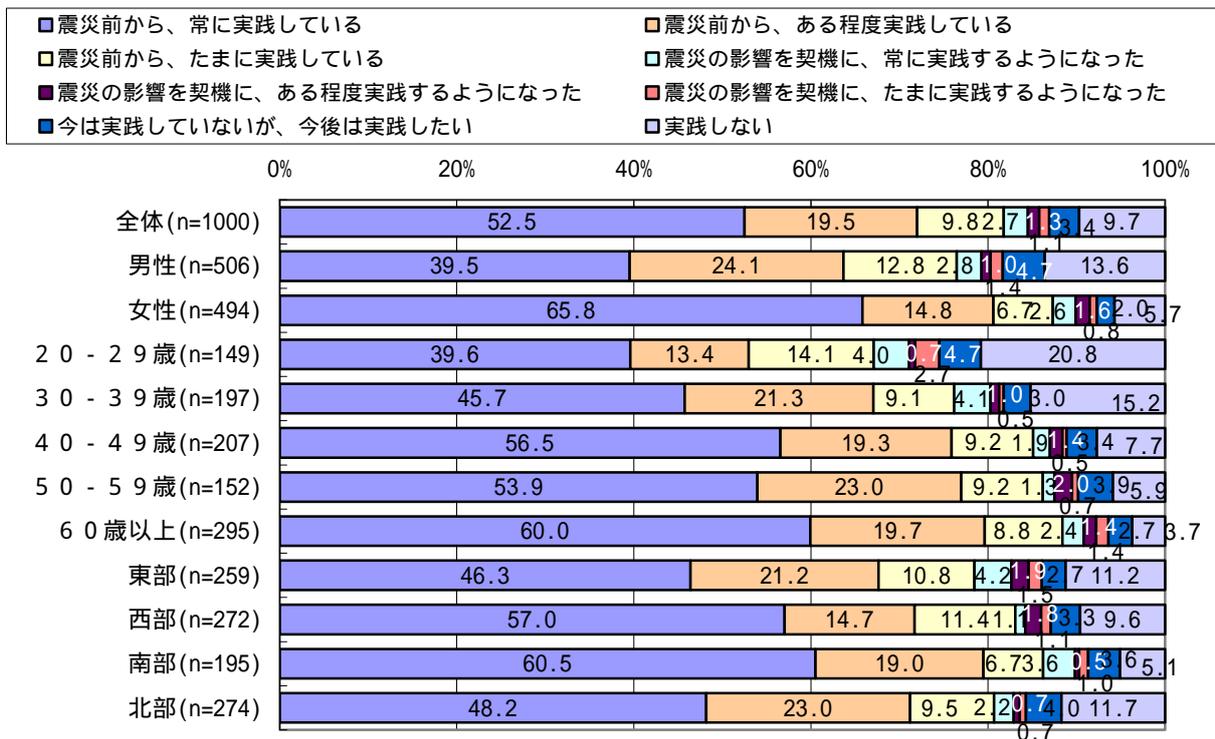
15. 環境にやさしい原材料を使用した製品やリサイクルしやすい製品などを選んで買う（詰替え商品、再生材を用いた商品など）



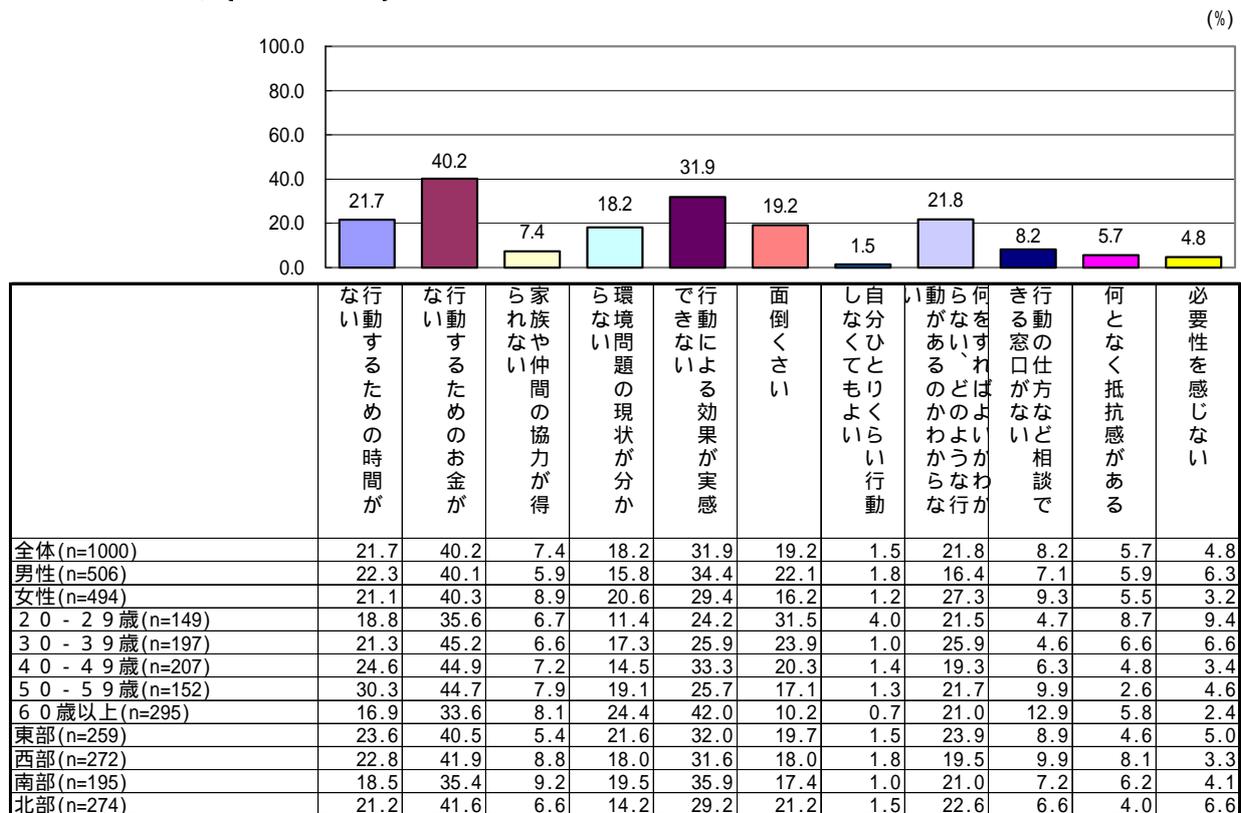
16. 自動車の運転や音響装置（楽器、ステレオなど）の使用にあたって、騒音を出さない



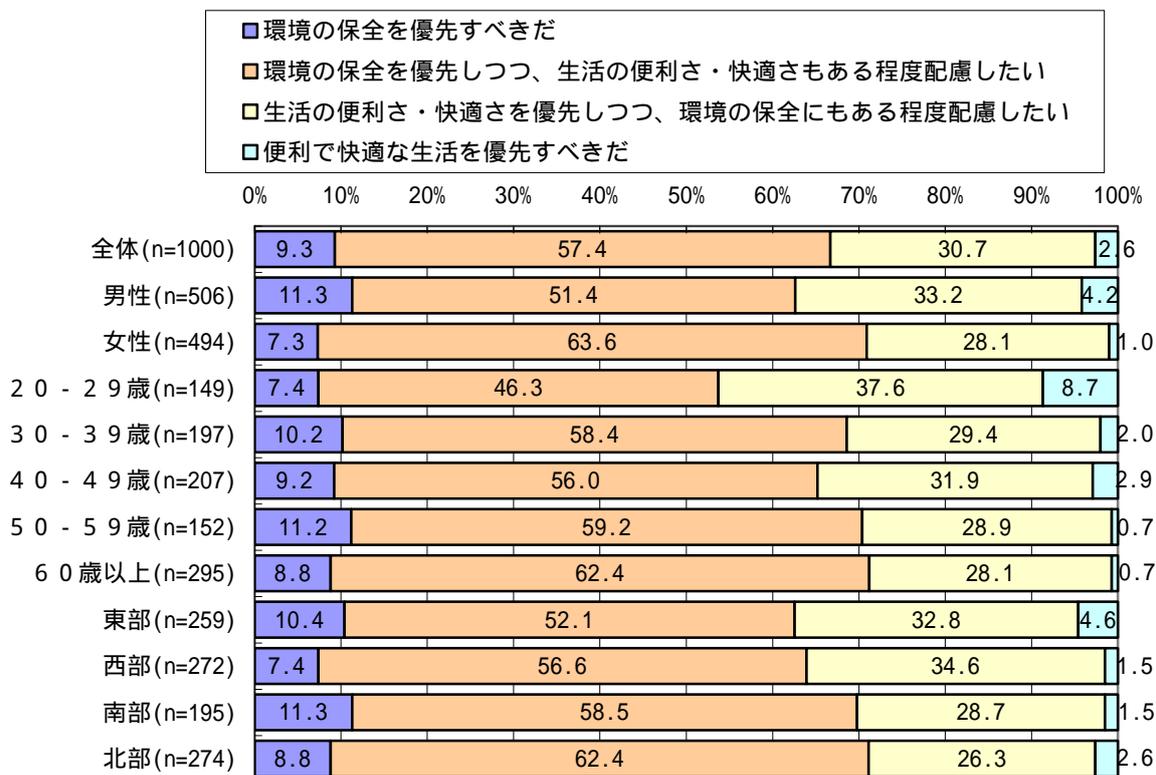
17. 食用油を排水溝（下水）に流さない



Q7.Q6 で示したような様々な環境行動がありますが、環境配慮型設備を導入する取組を実践するうえで難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は何ですか。1~11の中であなたの考えに近いものを3つまでお選びください。(複数回答可)

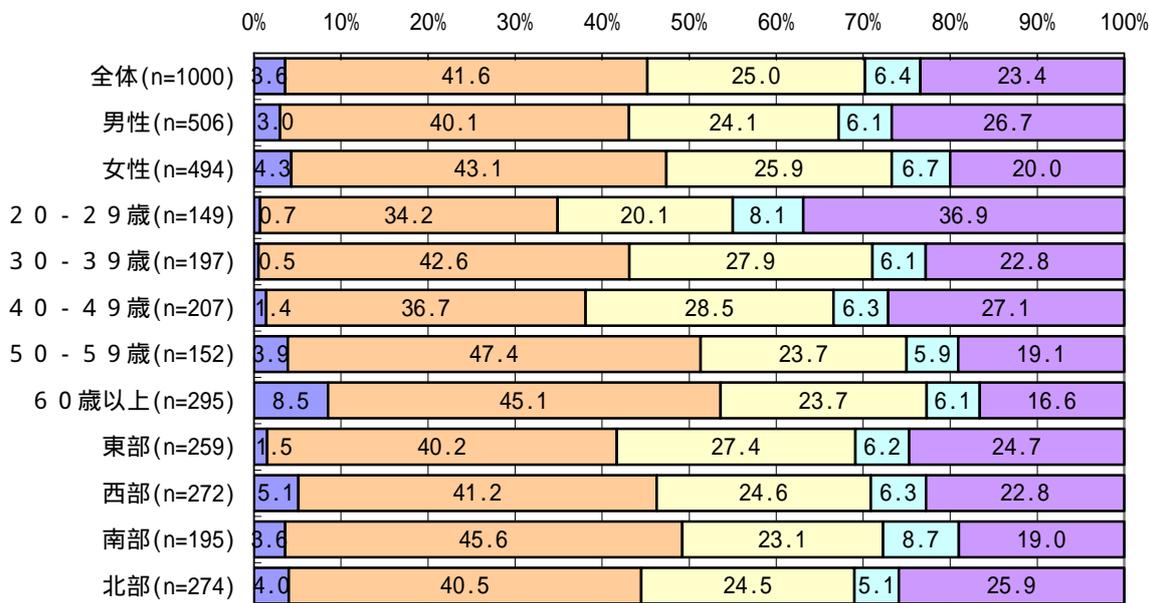


Q8.環境の保全と生活の便利さ・快適さについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



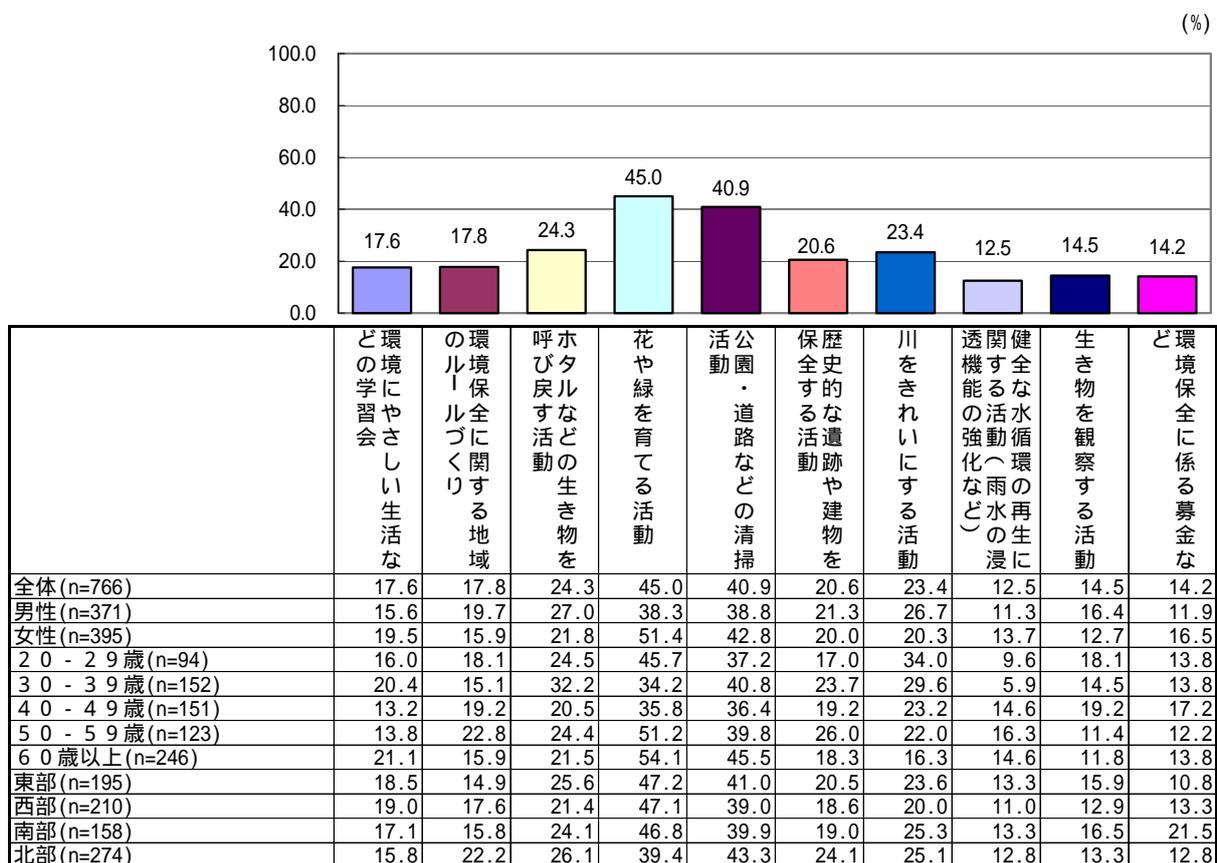
Q9. 地域の環境活動に参加したいと思いませんか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

- 参加している
- 機会があれば参加したい
- 参加したいと思うが、参加できない
- 参加したことはあるが、今はしていない
- 参加したいとは思わない

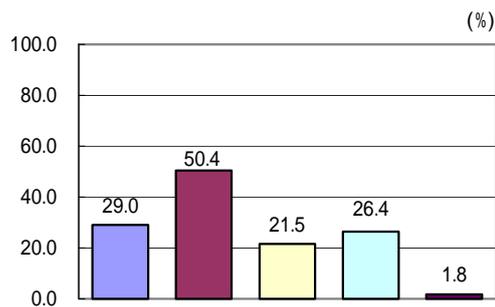


Q10. どのような活動や取組に参加したことがありますか、あるいは参加したいと思いますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

[Q9で「参加したいとは思わない」以外を選んだ方のみ回答]

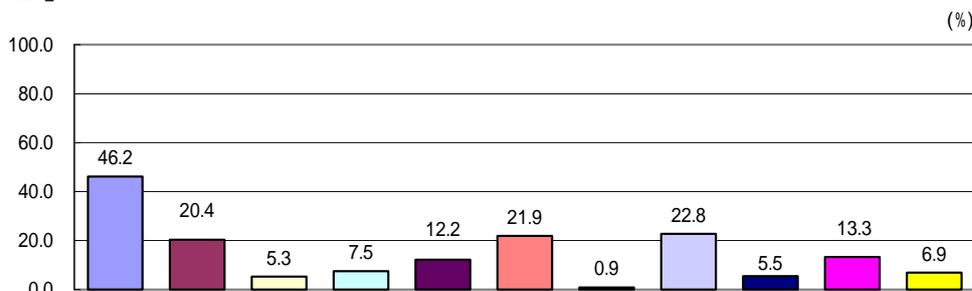


Q11. どのような形態の活動に参加したことがありますか。あるいは参加したいと思いますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)
 [Q9で「参加したいとは思わない」以外を選んだ方のみ回答]



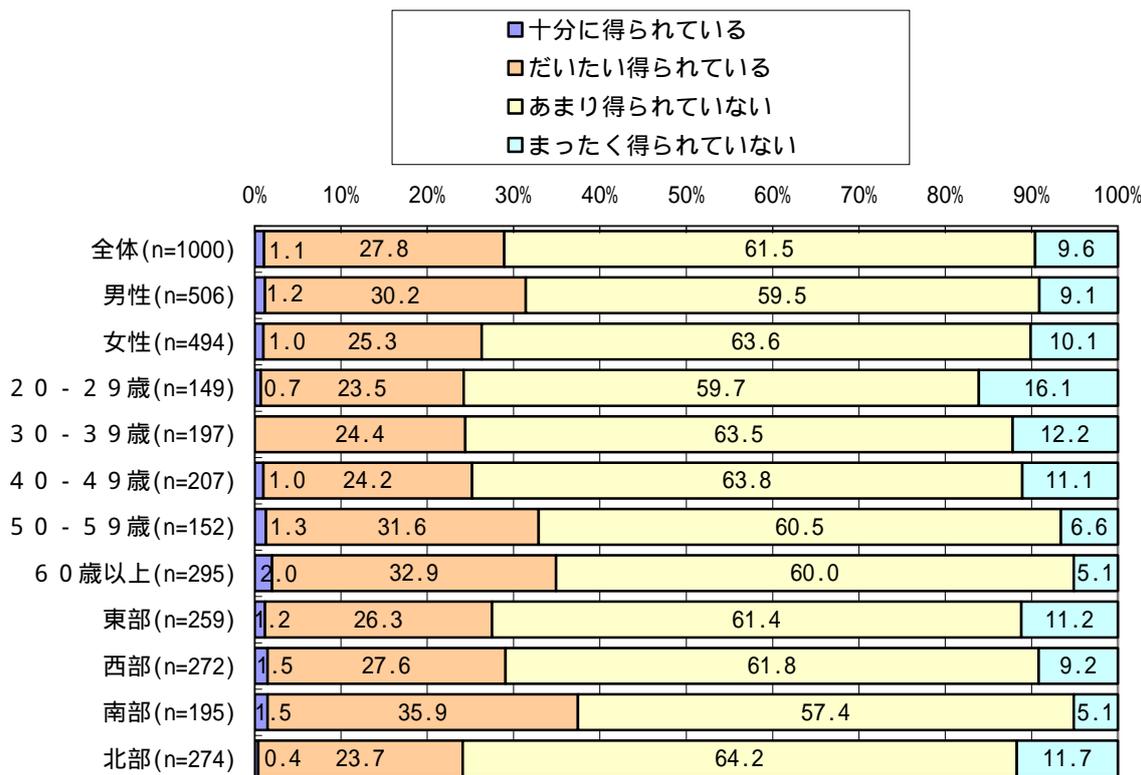
	地域のグループ間での少人数	自治会の集まりや町内会や学校などの活動	環境活動団体やNPOなどによる活動	イベントや講習会やセミナーなどの学習会	その他
全体 (n=766)	29.0	50.4	21.5	26.4	1.8
男性 (n=371)	28.3	51.5	21.3	23.7	1.3
女性 (n=395)	29.6	49.4	21.8	28.9	2.3
20 - 29歳 (n=94)	37.2	50.0	28.7	21.3	2.1
30 - 39歳 (n=152)	40.1	48.0	18.4	21.7	0.7
40 - 49歳 (n=151)	24.5	46.4	27.2	24.5	2.0
50 - 59歳 (n=123)	17.1	53.7	25.2	31.7	1.6
60歳以上 (n=246)	27.6	52.8	15.4	29.7	2.4
東部 (n=195)	32.8	43.1	25.1	24.6	2.6
西部 (n=210)	29.0	53.8	17.6	28.1	2.4
南部 (n=158)	26.6	53.2	20.3	21.5	-
北部 (n=274)	27.1	51.7	23.2	30.0	2.0

Q12. 地域の環境活動に参加しない、あるいは参加できない理由は何ですか。1~11の中であなたの考えに近いものを3つまでお選びください。(複数回答可)
 [Q9で「参加したいと思うが、参加できない」「参加したことはあるが、今はしていない」「参加したいとは思わない」を選んだ方のみ回答]

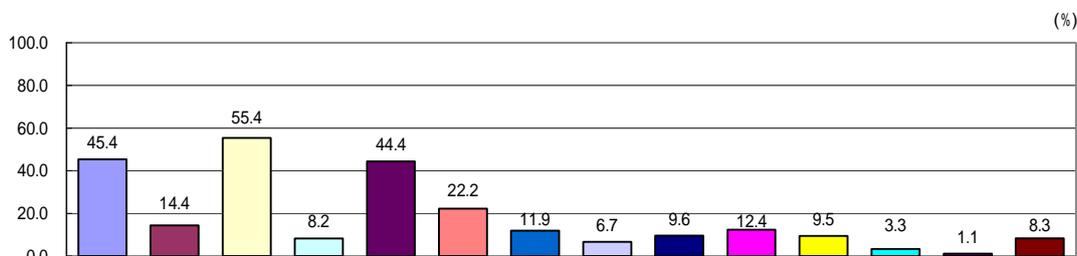


	参加するための時間が	参加するためのお金が	家族や仲間の協力が得られない	環境問題の現状が分からない	参加による効果を実感できない	面倒くさい	しなくてよい	自分ひとりでいい	かなわない	どの程度の活動か分からない	参加の仕方など相談できる窓口がない	何となく抵抗感がある	必要性を感じない
全体 (n=548)	46.2	20.4	5.3	7.5	12.2	21.9	0.9	22.8	5.5	13.3	6.9		
男性 (n=288)	46.9	20.5	3.5	6.9	15.3	25.0	1.0	17.4	5.6	11.1	9.7		
女性 (n=260)	45.4	20.4	7.3	8.1	8.8	18.5	0.8	28.8	5.4	15.8	3.8		
20 - 29歳 (n=97)	41.2	16.5	2.1	4.1	10.3	27.8	1.0	16.5	3.1	15.5	14.4		
30 - 39歳 (n=112)	53.6	28.6	7.1	3.6	5.4	29.5	2.7	18.8	1.8	7.1	8.9		
40 - 49歳 (n=128)	50.8	23.4	5.5	8.6	10.2	20.3	-	17.2	3.9	16.4	7.0		
50 - 59歳 (n=74)	54.1	17.6	1.4	5.4	14.9	24.3	1.4	17.6	4.1	17.6	4.1		
60歳以上 (n=137)	35.0	15.3	8.0	13.1	19.7	11.7	-	38.7	12.4	11.7	1.5		
東部 (n=151)	50.3	25.2	3.3	7.3	8.6	19.9	0.7	22.5	4.0	11.3	8.6		
西部 (n=146)	50.0	18.5	5.5	8.2	11.0	24.0	-	21.9	6.2	17.1	5.5		
南部 (n=99)	34.3	17.2	7.1	6.1	21.2	18.2	1.0	22.2	5.1	17.2	6.1		
北部 (n=274)	46.1	19.7	5.9	7.9	11.2	24.3	2.0	24.3	6.6	9.2	7.2		

Q13.環境問題や環境活動に関して、必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

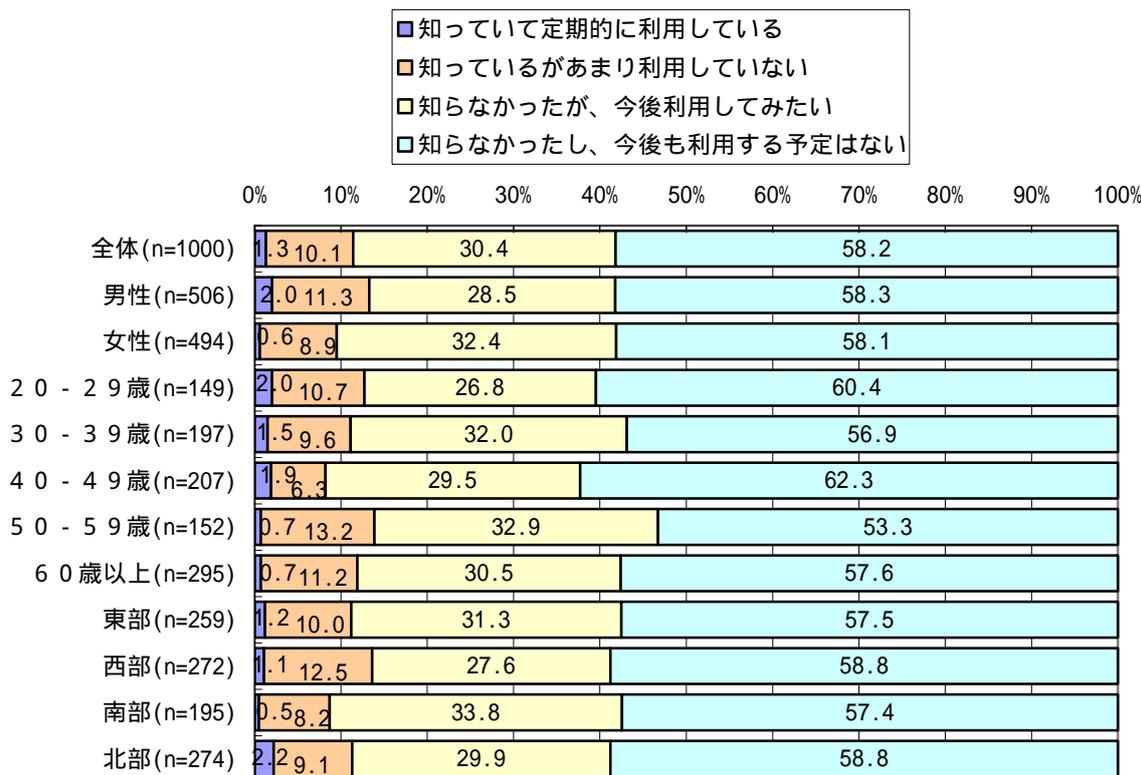


Q14.あなたが環境の情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

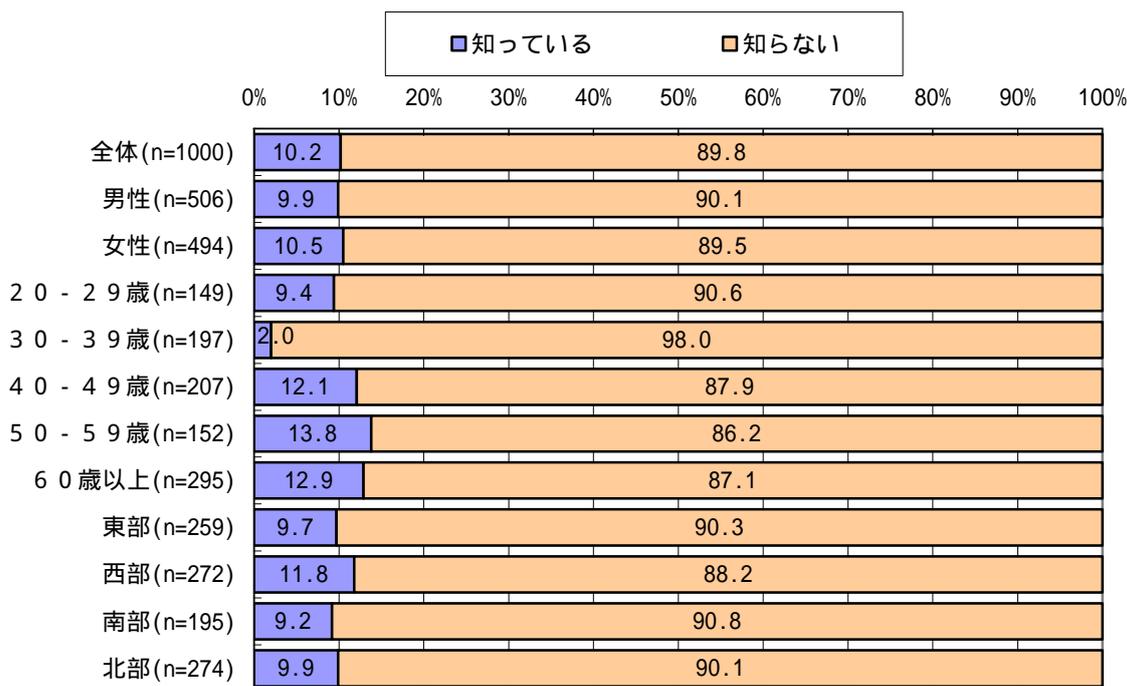


	新聞	本・雑誌	テレビ	ラジオ	国や県、市町村の広報誌	国や県の機関のホームページ	報道機関のホームページ	メールマガジン	SNSやブログ、Twitter、LINEなどのソーシャルメディア	家族や友人・知人	地域活動・ボランティアを通じて	イベント・セミナー	その他	情報を得ていない
全体 (n=1000)	45.4	14.4	55.4	8.2	44.4	22.2	11.9	6.7	9.6	12.4	9.5	3.3	1.1	8.3
男性 (n=506)	46.4	14.6	54.2	7.9	36.4	21.7	13.4	7.7	10.1	7.3	7.7	2.6	0.8	8.5
女性 (n=494)	44.3	14.2	56.7	8.5	52.6	22.7	10.3	5.7	9.1	17.6	11.3	4.0	1.4	8.1
20 - 29歳 (n=149)	28.2	16.1	49.0	7.4	19.5	16.8	12.8	4.0	16.1	11.4	5.4	3.4	0.7	18.1
30 - 39歳 (n=197)	37.1	19.8	59.4	6.6	34.5	20.8	12.7	7.1	14.7	12.7	5.1	4.1	1.5	9.6
40 - 49歳 (n=207)	39.6	15.9	50.2	7.2	38.6	21.7	13.5	4.8	9.7	12.1	7.7	1.9	1.0	9.2
50 - 59歳 (n=152)	59.2	12.5	56.6	6.6	48.7	21.7	9.9	5.3	6.6	8.6	9.9	3.9	1.3	4.6
60歳以上 (n=295)	56.6	9.8	59.0	11.2	65.4	26.4	10.8	9.8	4.4	14.9	15.6	3.4	1.0	3.7
東部 (n=259)	35.5	12.7	52.9	6.6	37.8	20.8	9.3	5.8	10.0	8.9	8.5	4.6	2.3	12.0
西部 (n=272)	51.8	16.2	55.1	10.3	49.6	23.5	14.7	6.3	9.2	12.5	10.7	3.7		7.7
南部 (n=195)	51.3	18.5	55.4	11.8	49.2	25.6	10.3	7.7	10.8	15.9	10.3	3.6	1.5	5.6
北部 (n=274)	44.2	11.3	58.0	5.1	42.0	19.7	12.8	7.3	8.8	13.1	8.8	1.5	0.7	7.3

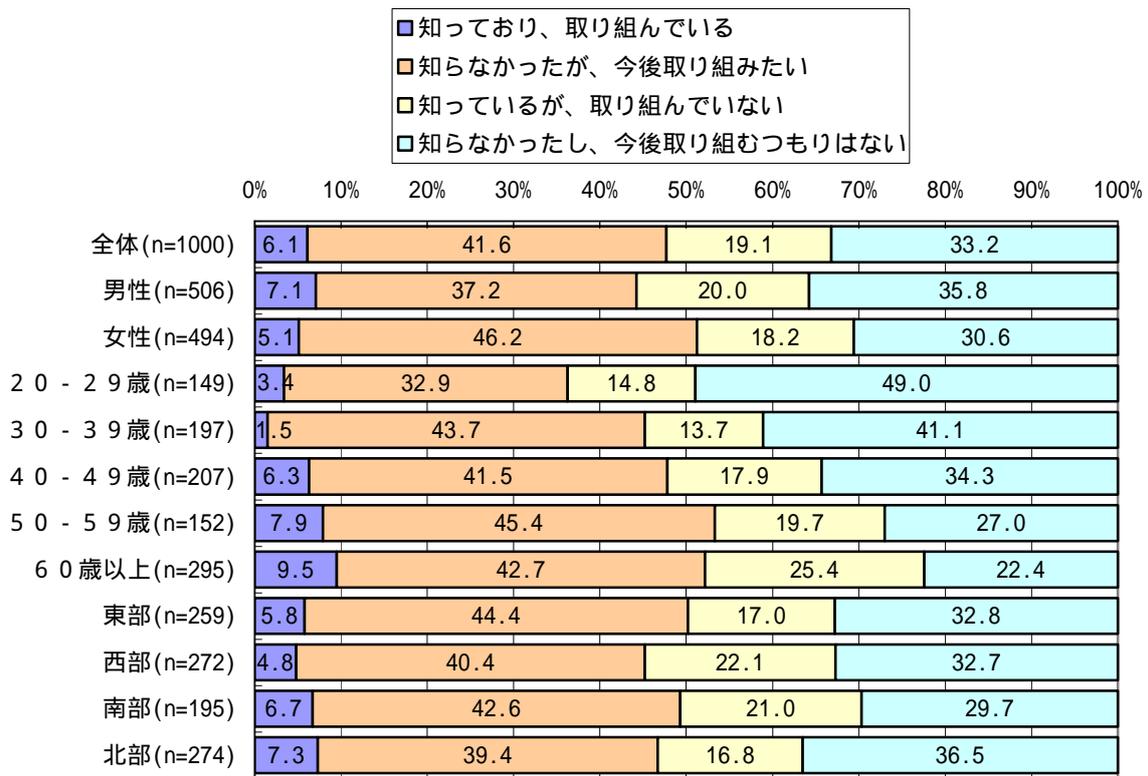
Q15. 横浜市環境創造局では、環境イベント情報やエコライフに役立つ情報などを発信するため、Twitter(ツイッター)を利用していることを知っていますか。



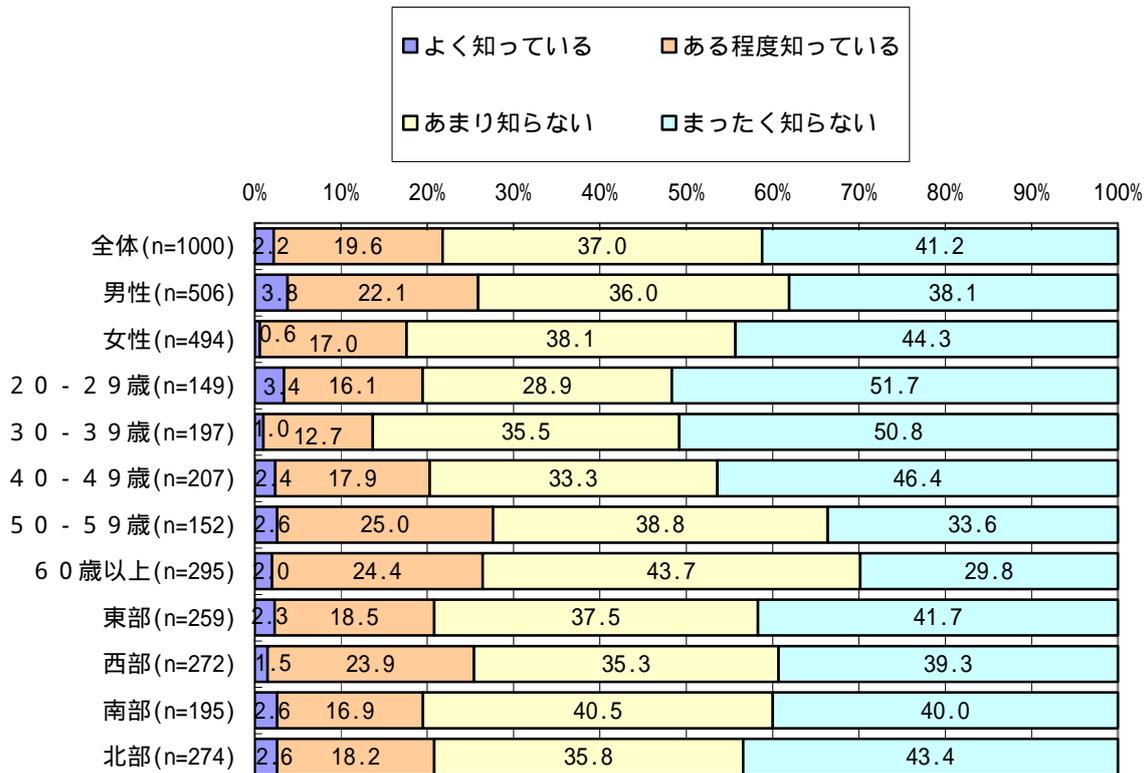
Q16. 横浜市のCO2排出量の内訳では、家庭部門からの排出量が全国と比べると高い割合となっていることを知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



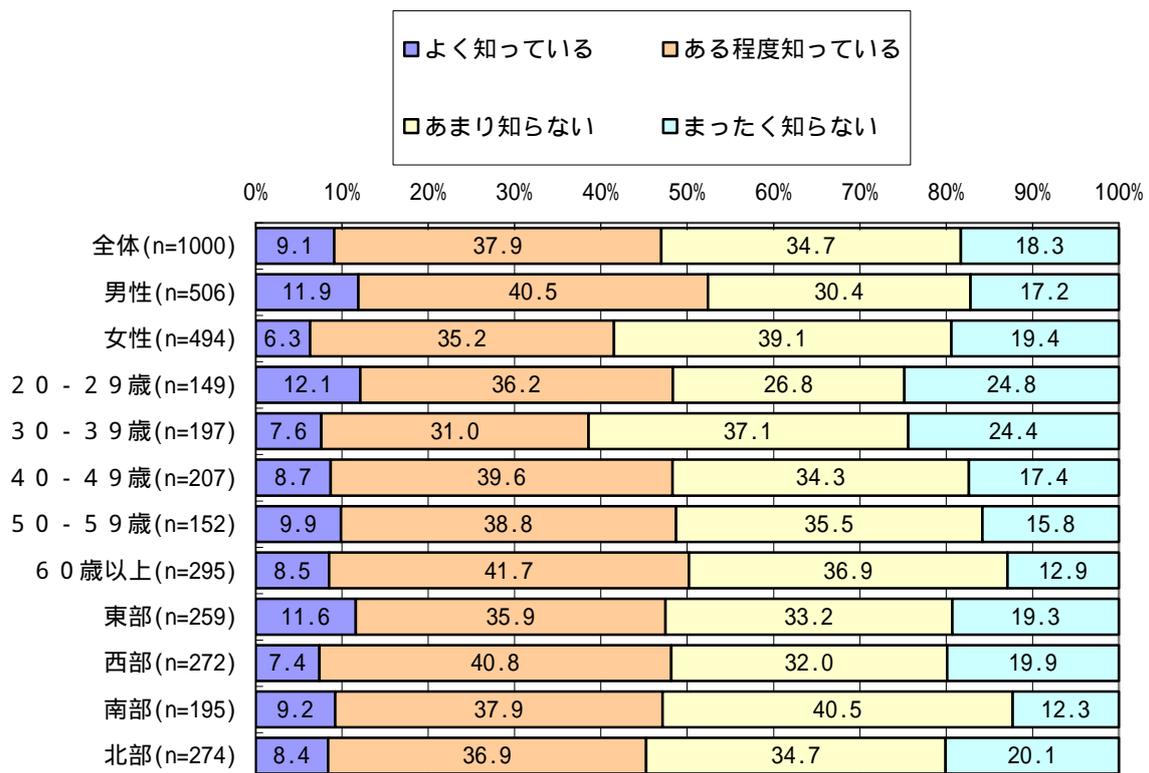
Q17. 家庭での CO2 排出削減・省エネ行動を進めるために、電気やガスなどの使用量を記録する「環境家計簿」について伺います。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



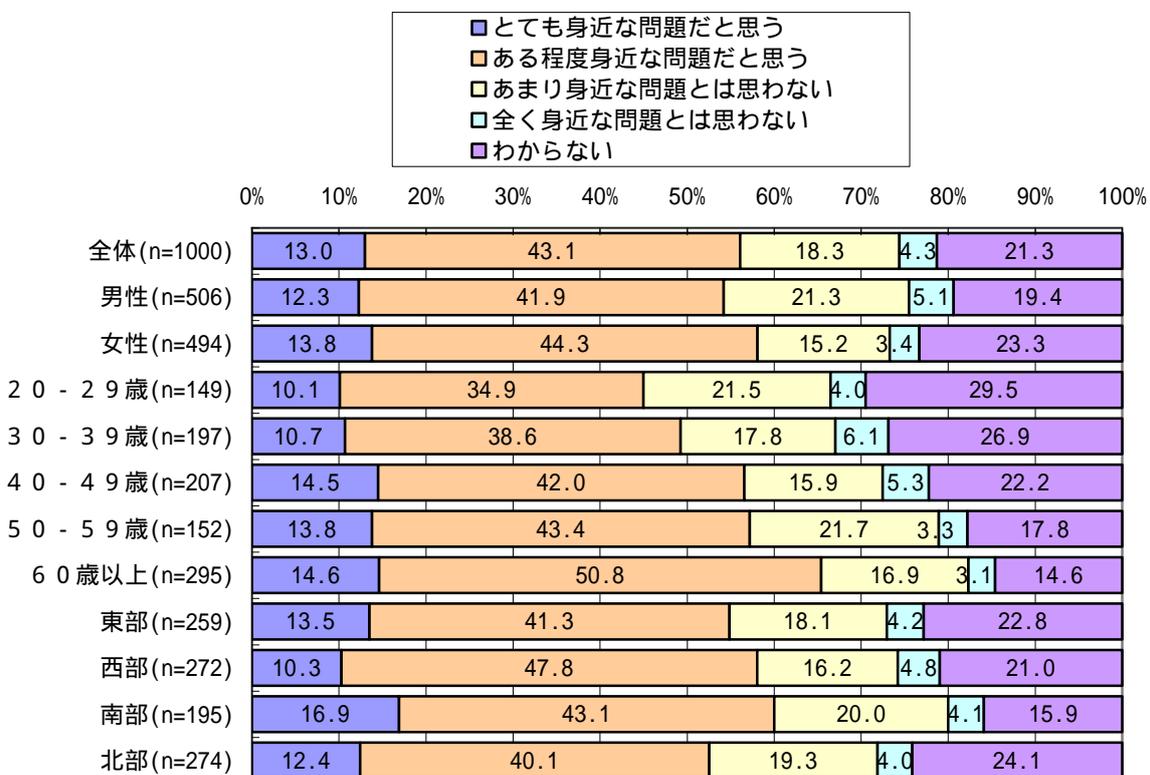
Q18. 家庭での CO2 排出削減・省エネ行動を進める機器の1つに HEMS (ホームエネルギーマネジメントシステム) があります。このことについて、知っていますか。



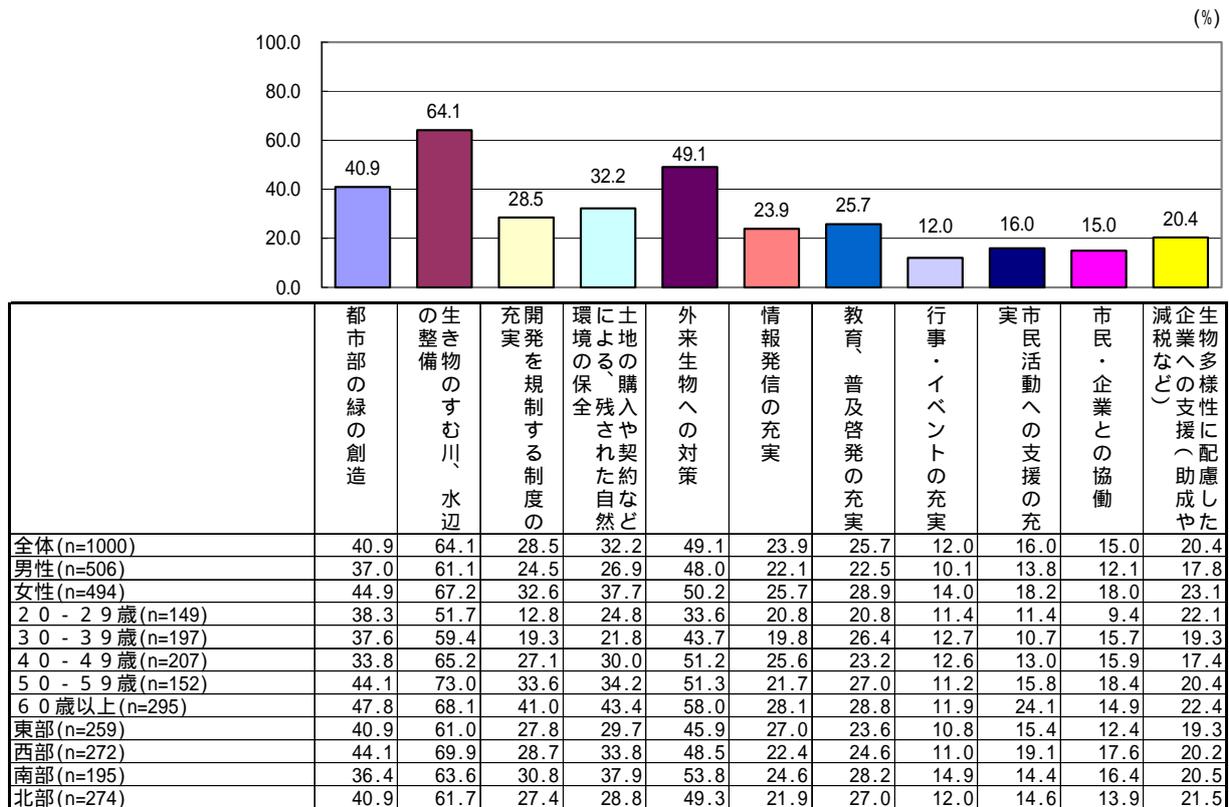
Q19. 生物多様性という言葉を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



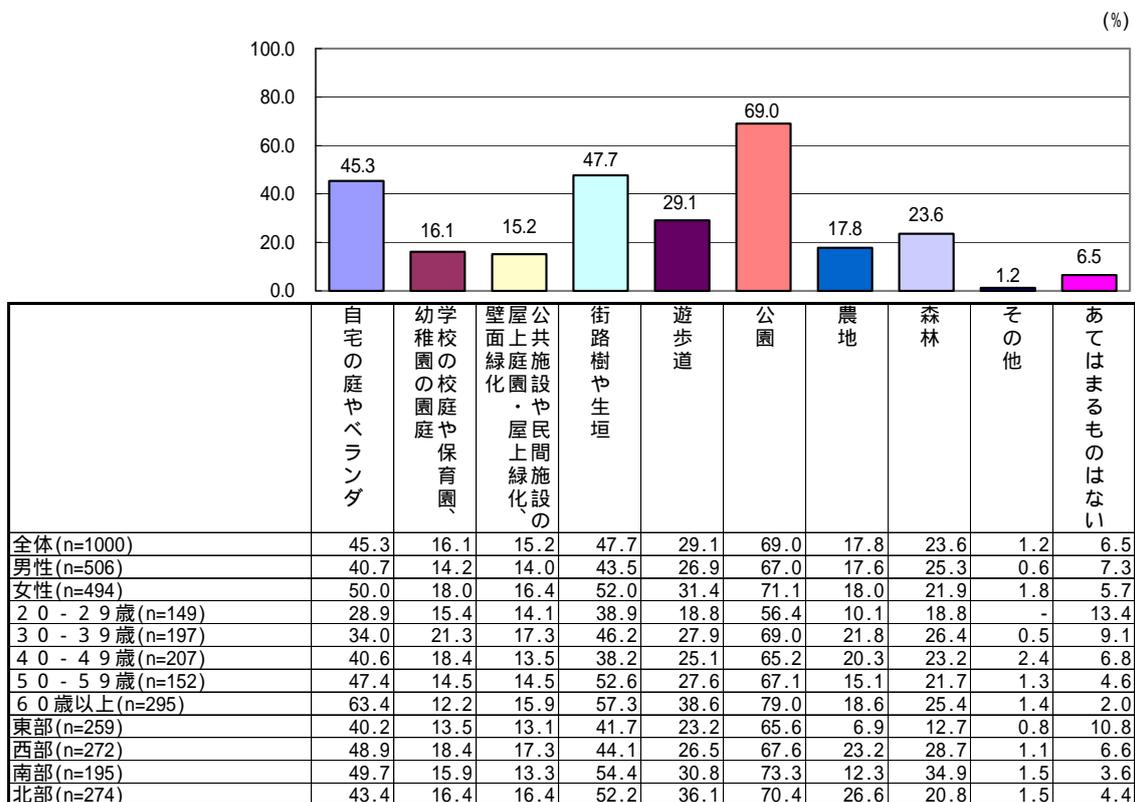
Q20. 近年、生物多様性の危機が問題として挙げられていますが、身近な問題と思いますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



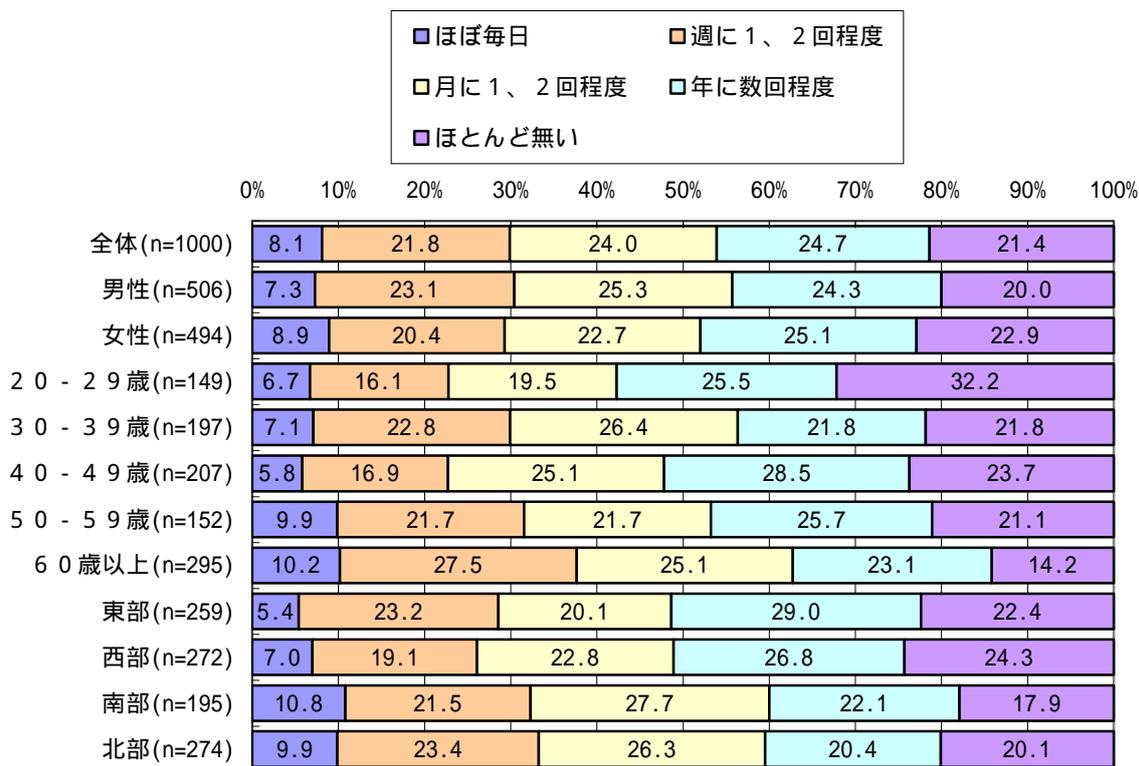
Q21.横浜市では、「ヨコハマb(ビー)プラン(生物多様性横浜行動計画)」を策定し、生物多様性を守る取組を進めています。横浜市の取組のうち、特に必要だと思うものは何ですか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)



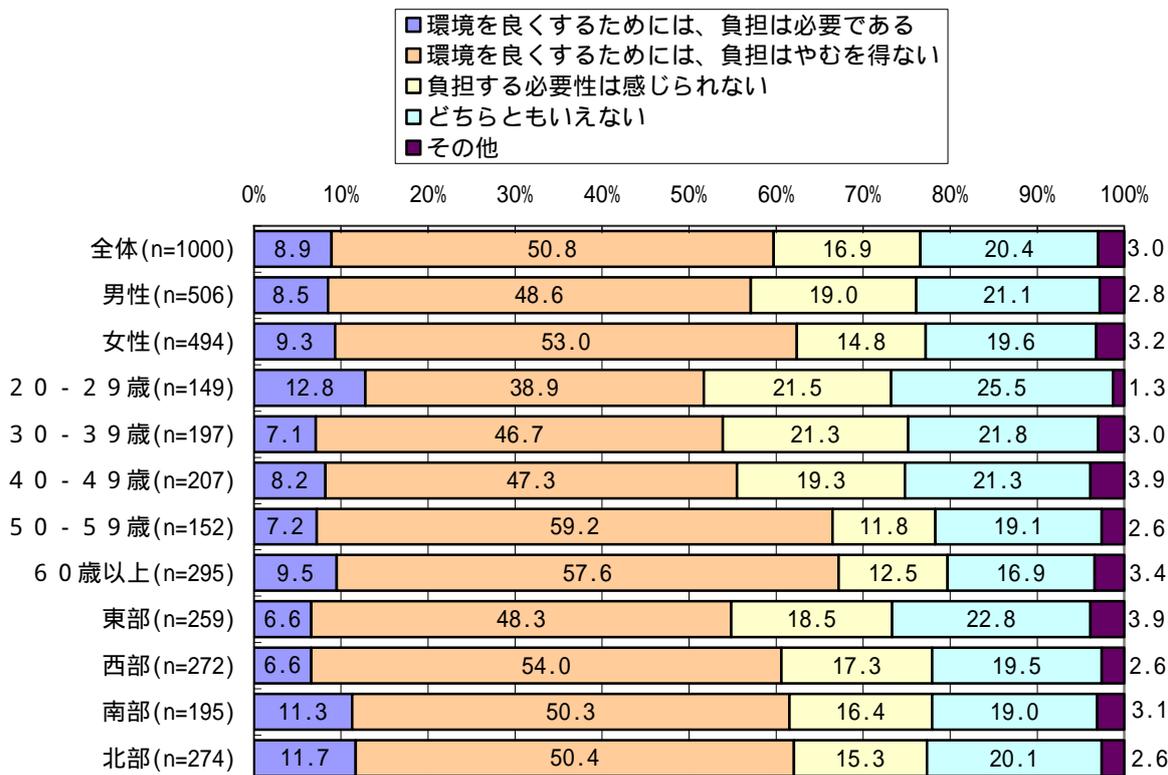
Q22.身近に緑を感じられる環境はありますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)



Q23. どれくらいの頻度で、公園や森林、水辺の広場など身近な自然環境に足を運んでいますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

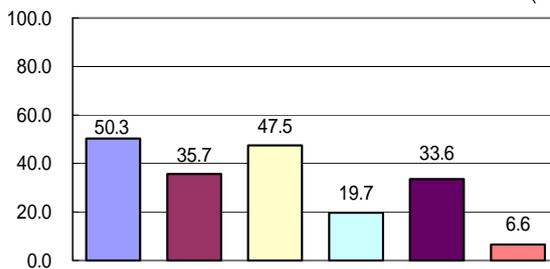


Q24. 横浜市では、「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」に基づき、横浜の緑の環境を「守り」「つくり」「育てる」取組を進めています。これらには多くの費用が必要であり、市民の皆様には負担（みどり税）をいただいています。このことについて、どうお考えですか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



Q25. 横浜の中心部は、周辺部と比較して緑や水辺が多くはありません。このことについてどう考えますか。次のうち、あなたが特に優先的に必要だと考えるものを2つお選びください。(複数回答可)

(%)

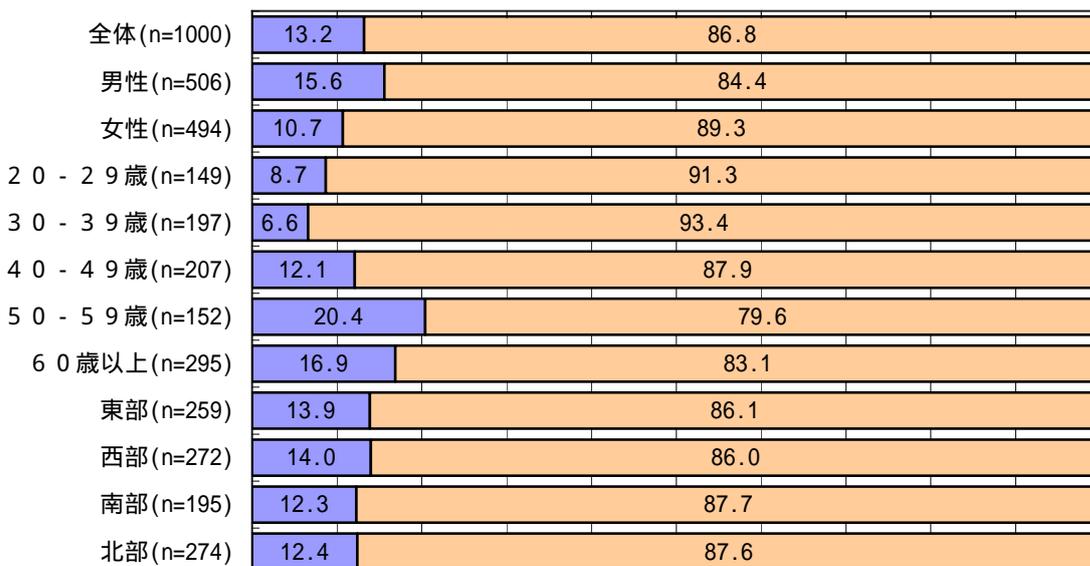


	水辺を増やすべき	ペースを整えて緑や公園などのオープンスペースを増やすべき	屋上や壁面の緑化など	街路樹で緑を増やすべき	緑を増やすべき	ビオトープなどに空き地を開放する	河川周辺の空間を海と間として水を整える	緑や水辺を増やす必要はない
全体 (n=1000)	50.3	35.7	47.5	19.7	33.6	6.6		
男性 (n=506)	48.2	35.6	43.9	18.2	37.9	8.1		
女性 (n=494)	52.4	35.8	51.2	21.3	29.1	5.1		
20 - 29歳 (n=149)	46.3	34.2	43.0	16.1	28.2	16.1		
30 - 39歳 (n=197)	49.7	37.1	47.7	18.8	33.5	6.6		
40 - 49歳 (n=207)	46.4	38.6	40.1	23.2	35.3	8.2		
50 - 59歳 (n=152)	53.9	34.2	48.7	21.1	35.5	3.3		
60歳以上 (n=295)	53.6	34.2	54.2	19.0	34.2	2.4		
東部 (n=259)	53.3	36.3	42.1	21.6	32.0	7.3		
西部 (n=272)	53.3	31.3	51.1	21.3	29.8	6.6		
南部 (n=195)	45.6	38.5	47.7	19.5	36.4	6.2		
北部 (n=274)	47.8	37.6	48.9	16.4	36.9	6.2		

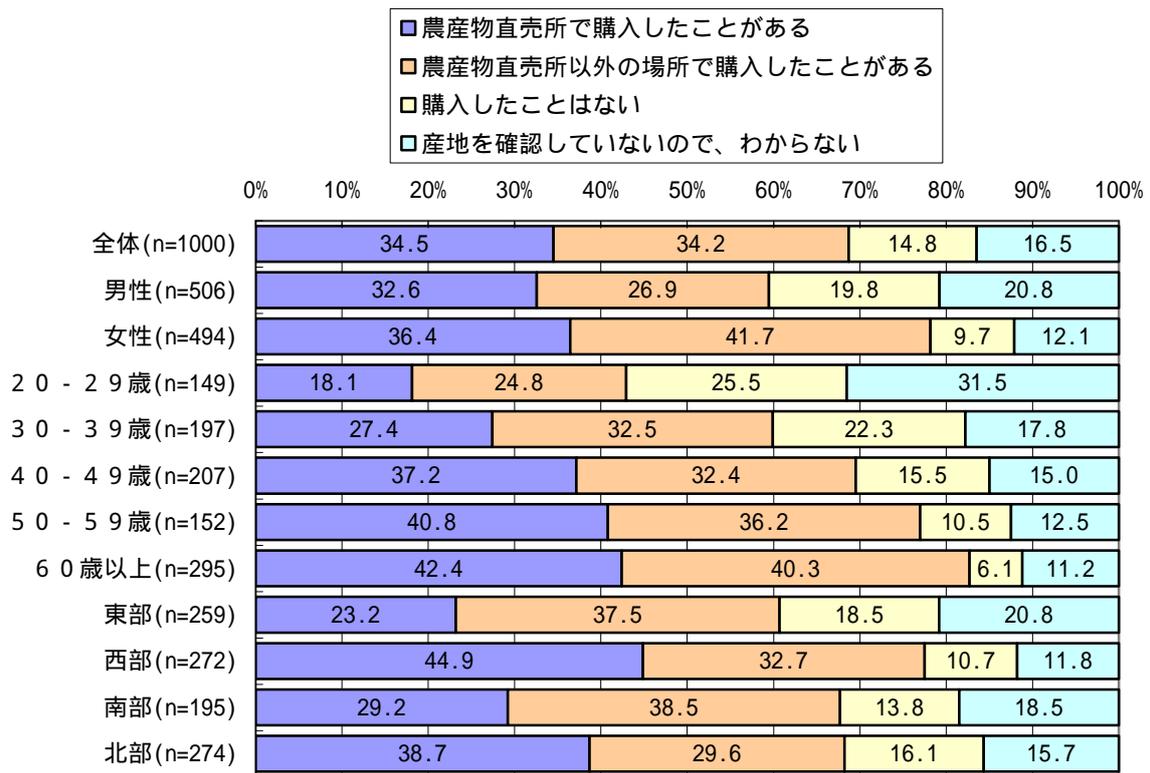
Q26. 都市化の進展により地下への雨水浸透が低下し、水循環系が大きく変化しています。横浜市が住宅用雨水浸透ますの設置に、補助金を交付する制度を設けていることを知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



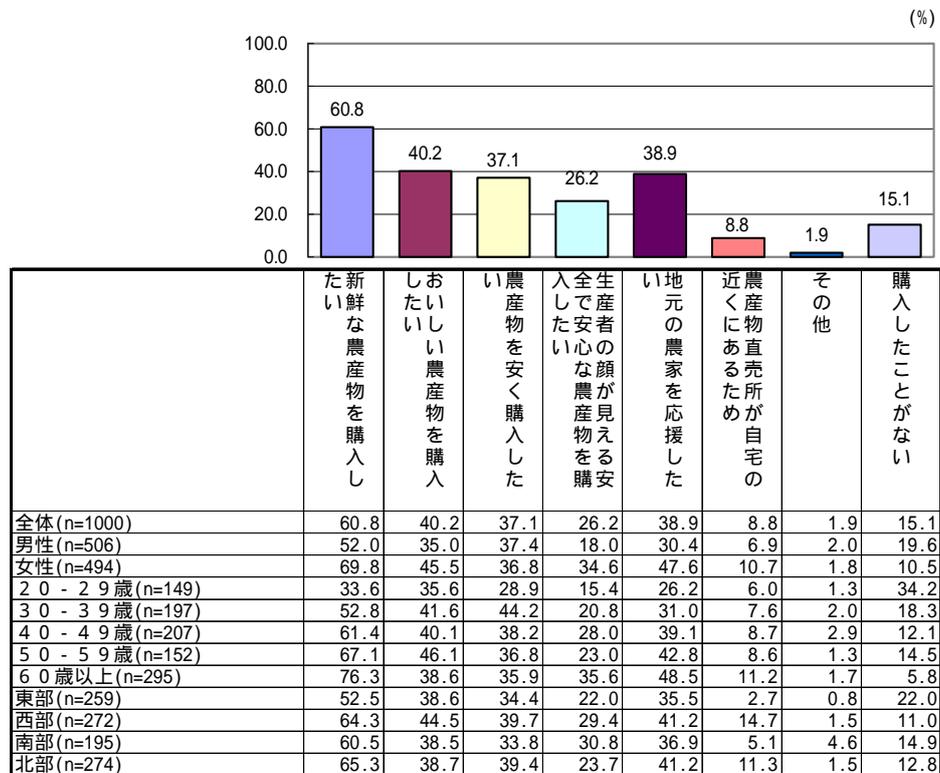
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



Q27. 横浜産の農産物を購入したことはありますか。次のうち、最も近いものを1つお選びください。

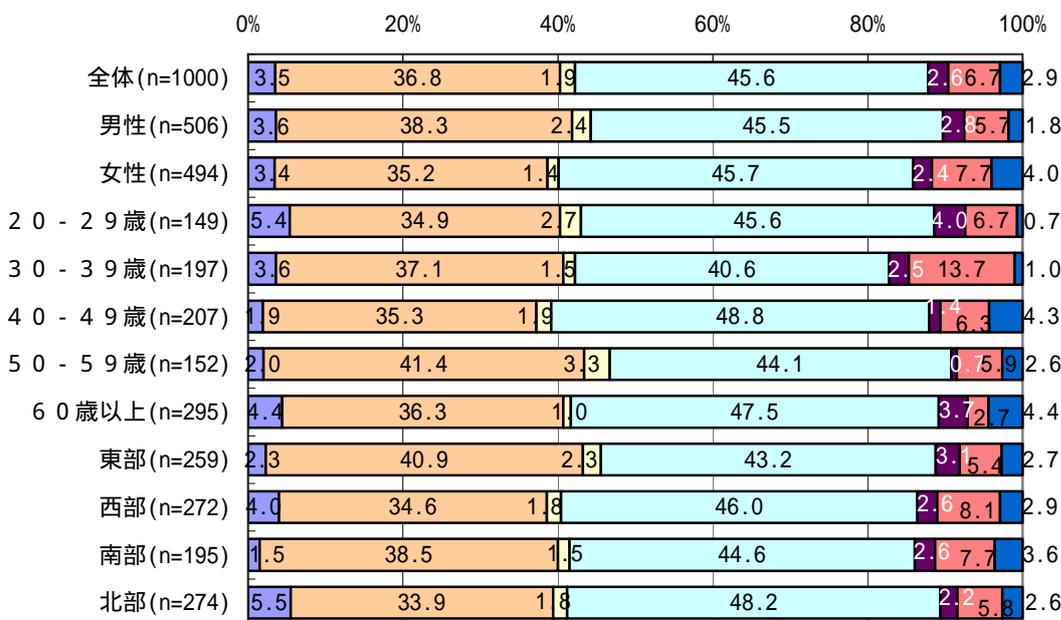


Q28. 農産物直売所やその他の場所で、横浜産の農産物を購入しようと思う理由について伺います。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)



Q29. 横浜市では様々なタイプの市民利用型農園が開設されています。このような場所で農作業を体験してみたいと思いますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

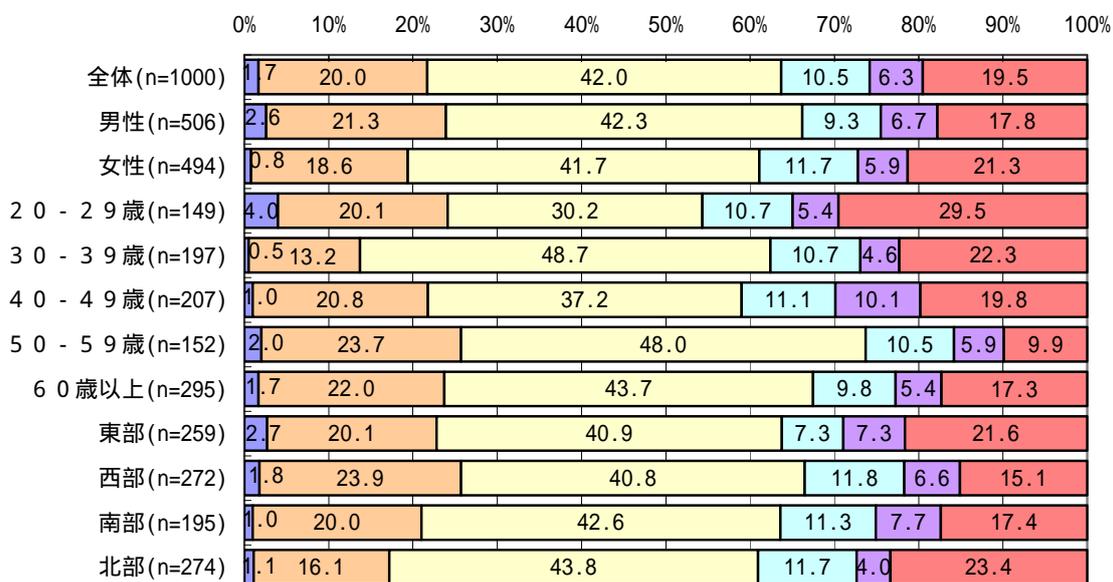
- 現在利用しており、今後も継続して利用したい
- これまで利用したことはないが、今後利用してみたい
- 現在利用しているが、今後は利用したいと思わない
- 利用したいとは思わない
- 横浜市外の市民利用型農園を利用している(したい)
- 収穫体験など、市民利用型農園以外の農作業を体験したい
- その他



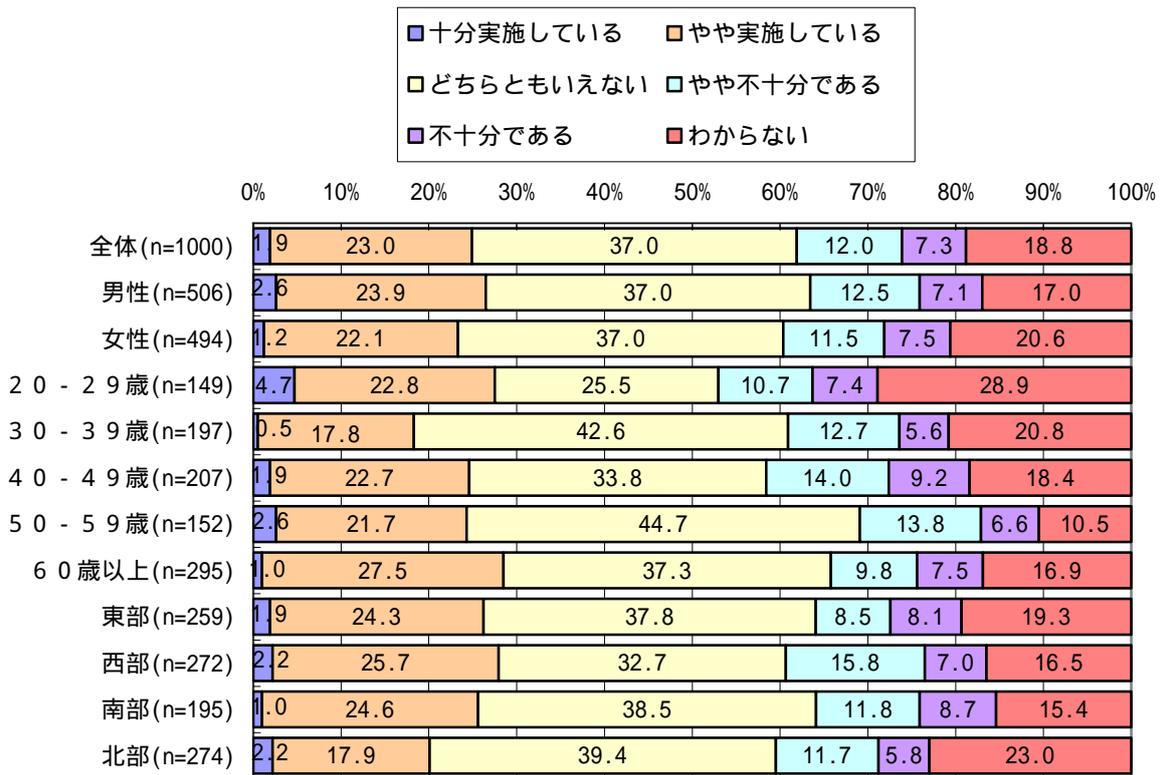
Q30. 横浜市が現在行っている環境に関する以下の取組について、どのように感じていますか。項目ごとに、最も近いものを1つお選びください。

1. 地球温暖化防止への取組

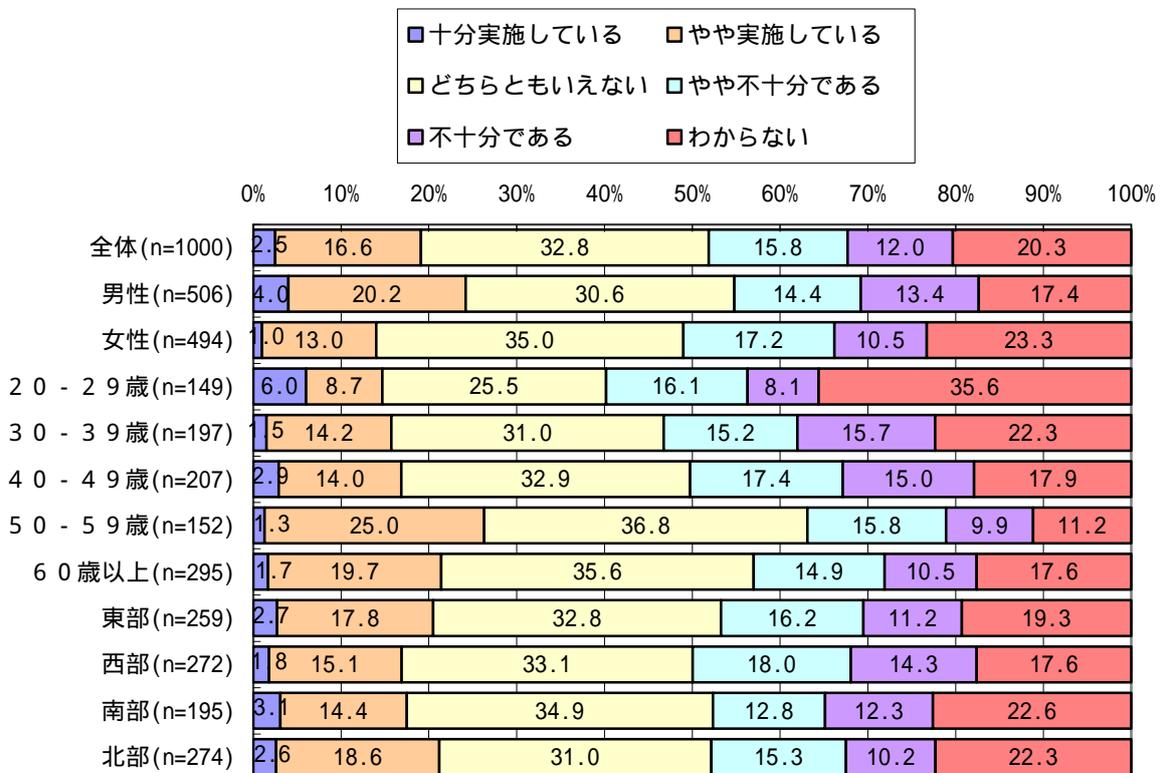
- 十分実施している
- やや実施している
- どちらともいえない
- やや不十分である
- 不十分である
- わからない



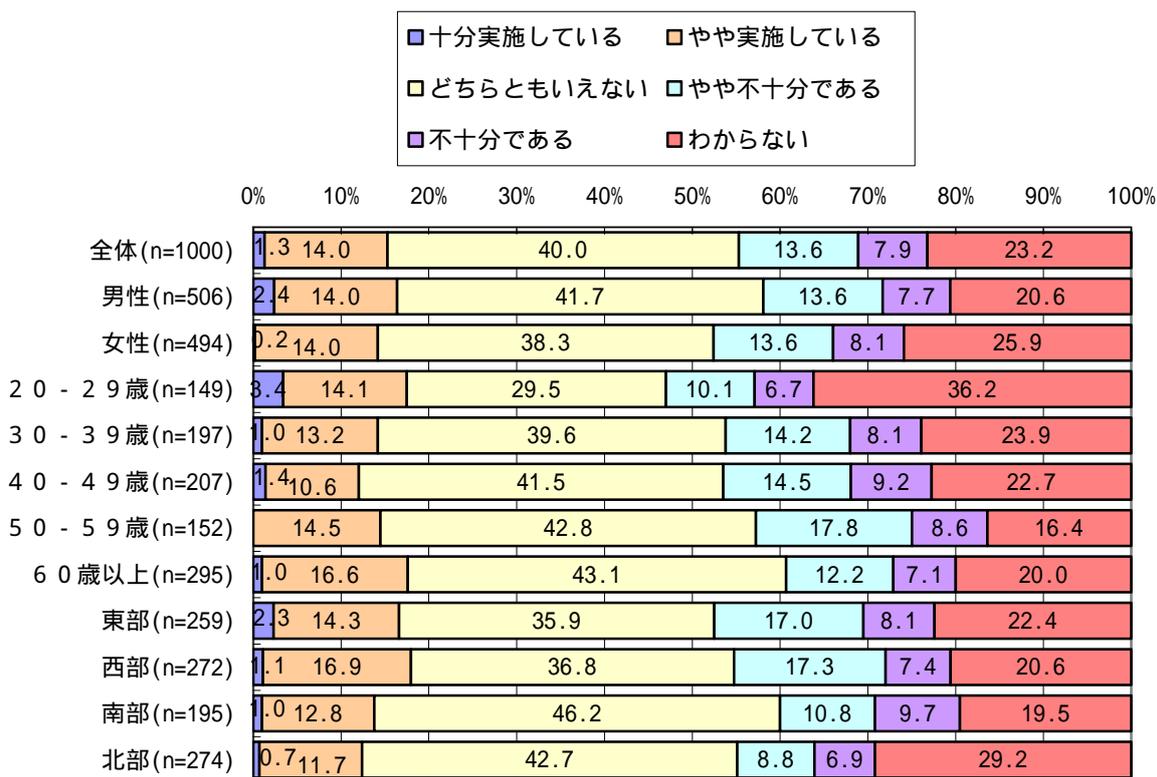
2. 省エネルギーや新エネルギーの利用の取組



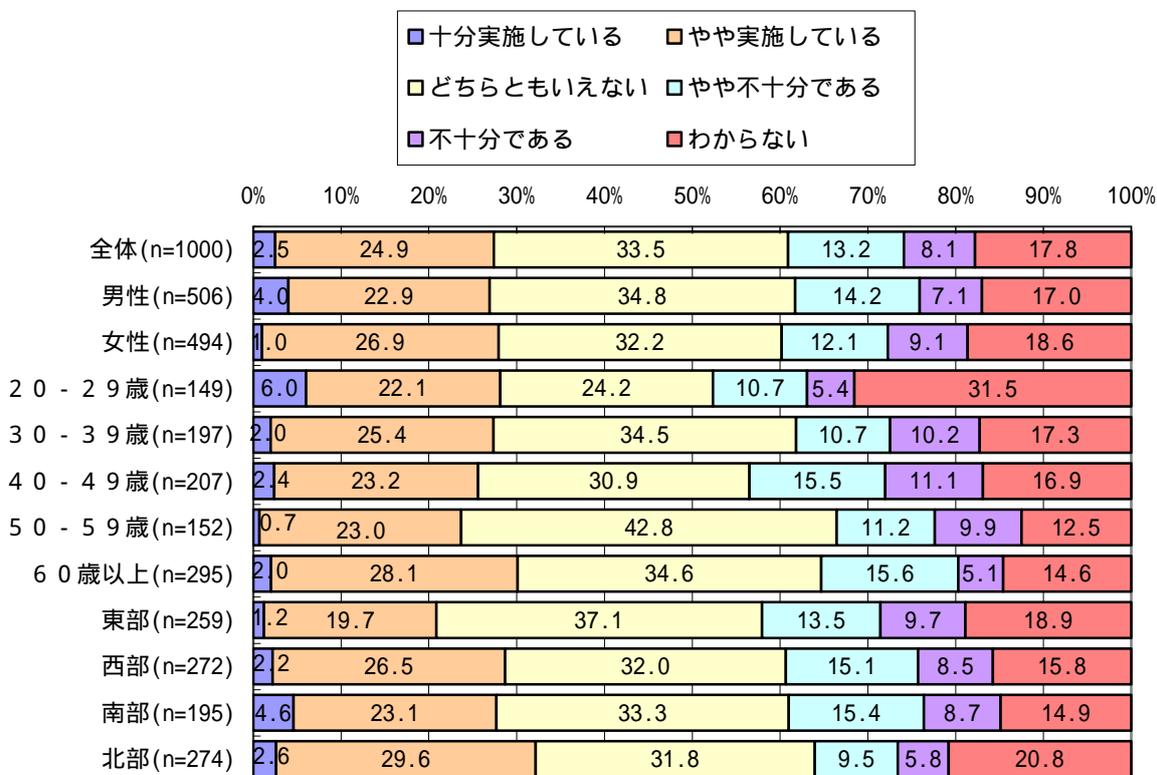
3. 電気自動車の普及



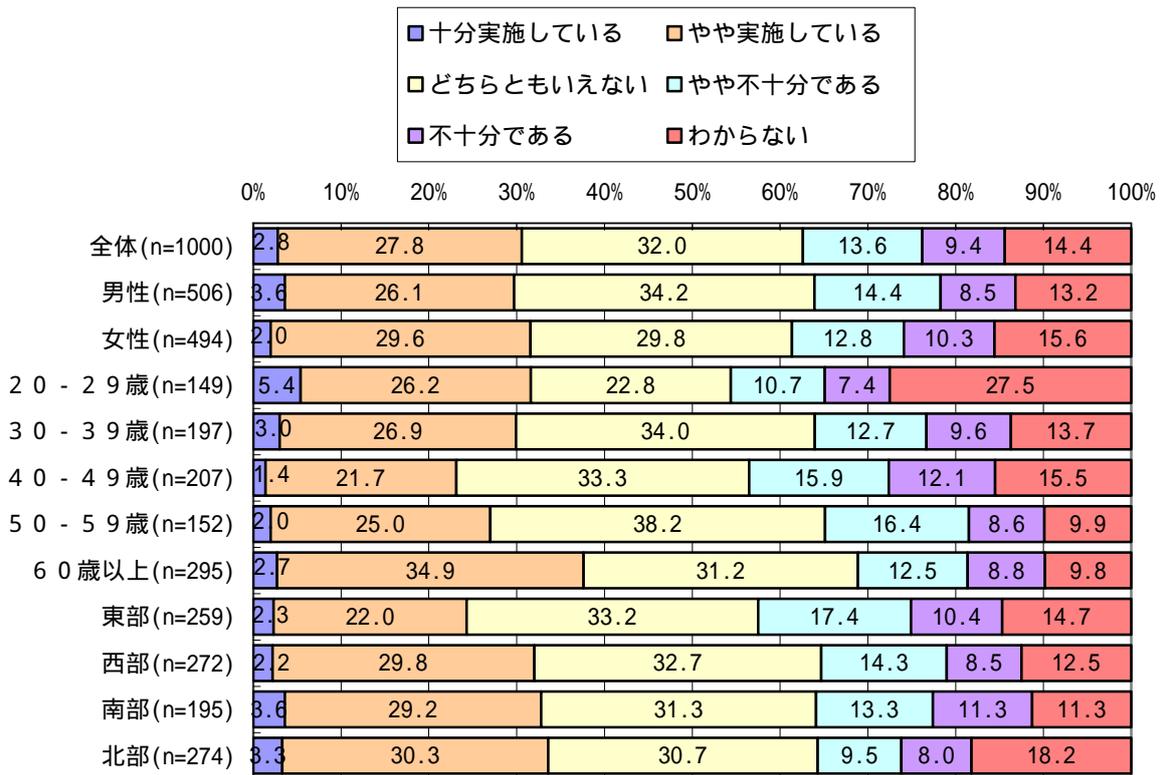
4. 生物多様性の保全、再生、創造



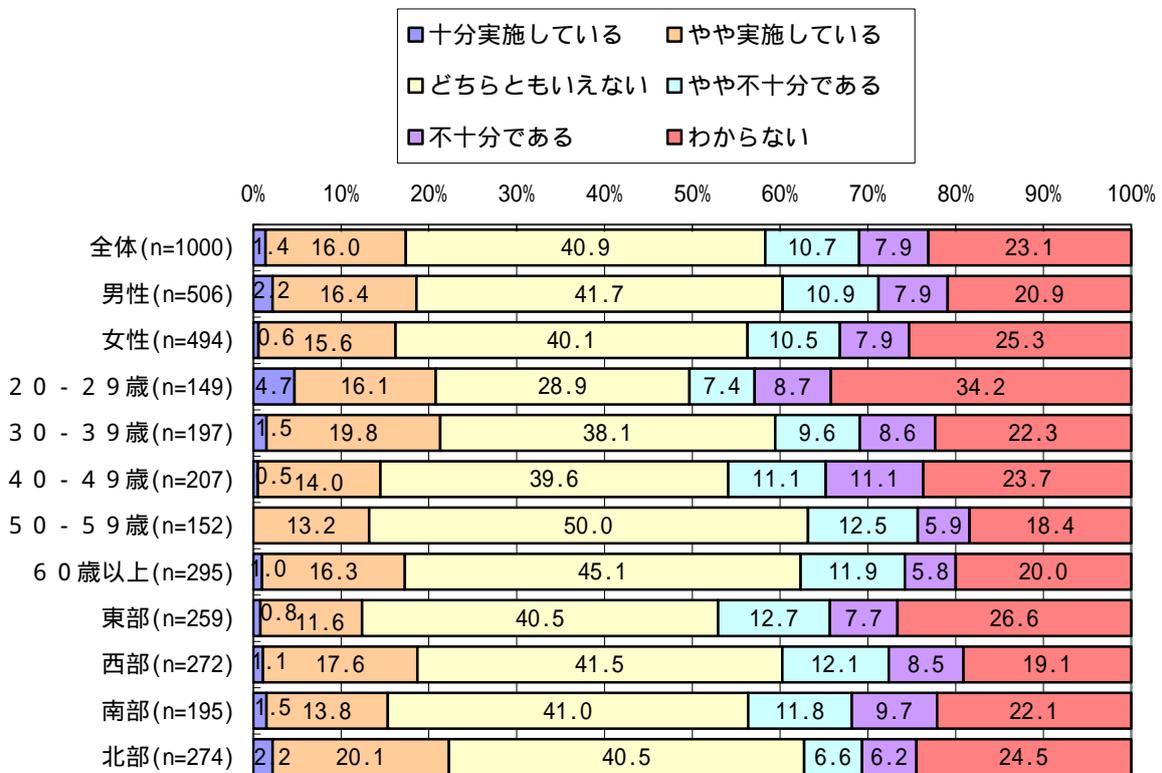
5. 郊外部のまとまった緑の保全



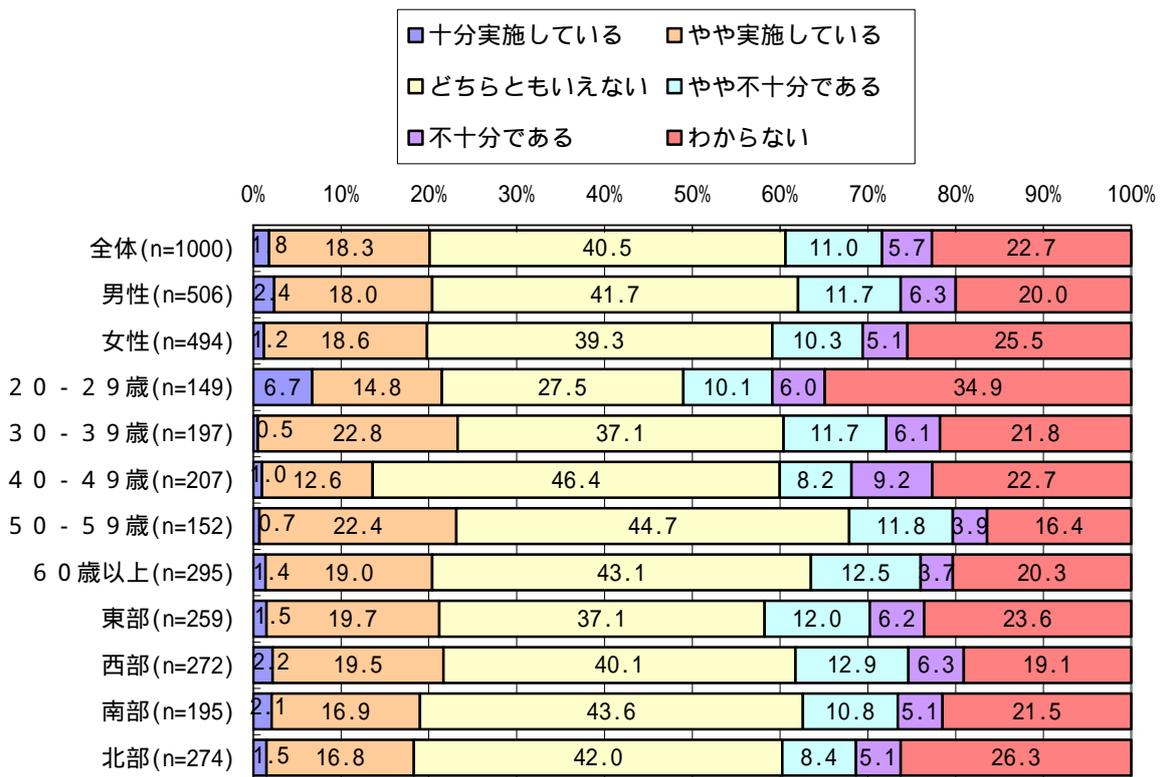
6. 公園や道路、河川沿いの緑の保全・創出



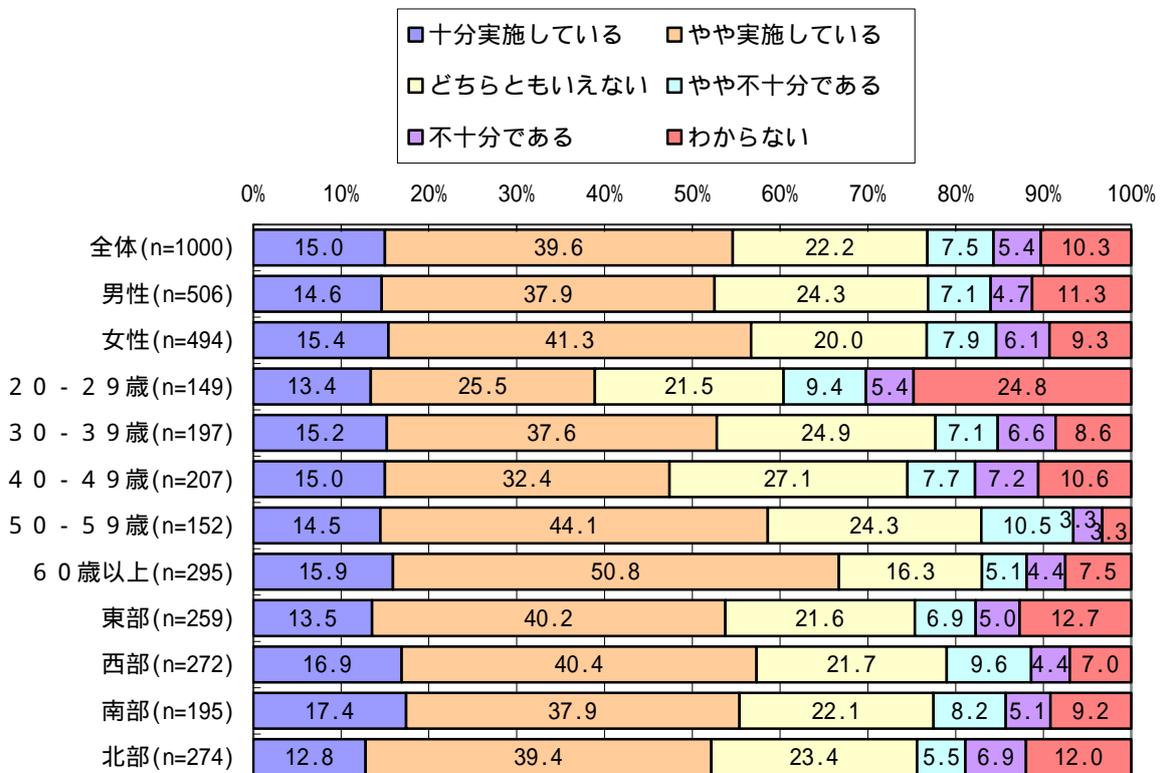
7. 農地の保全



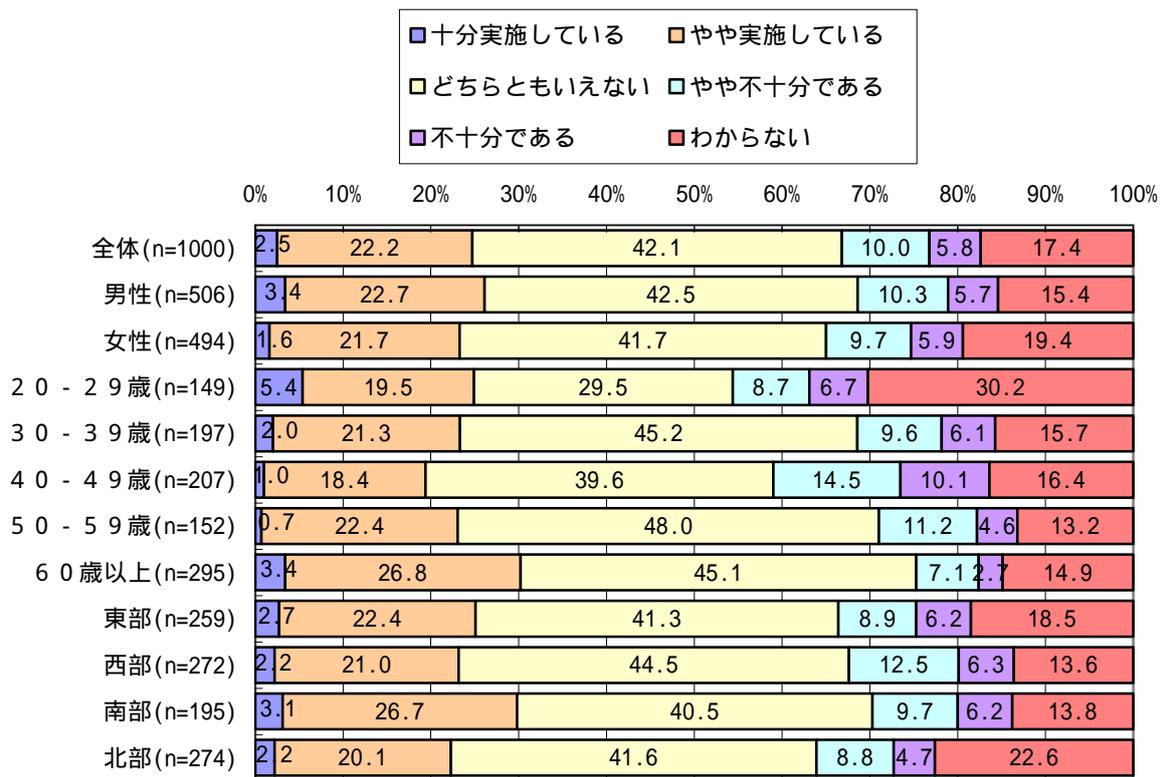
8.水の循環機能の強化



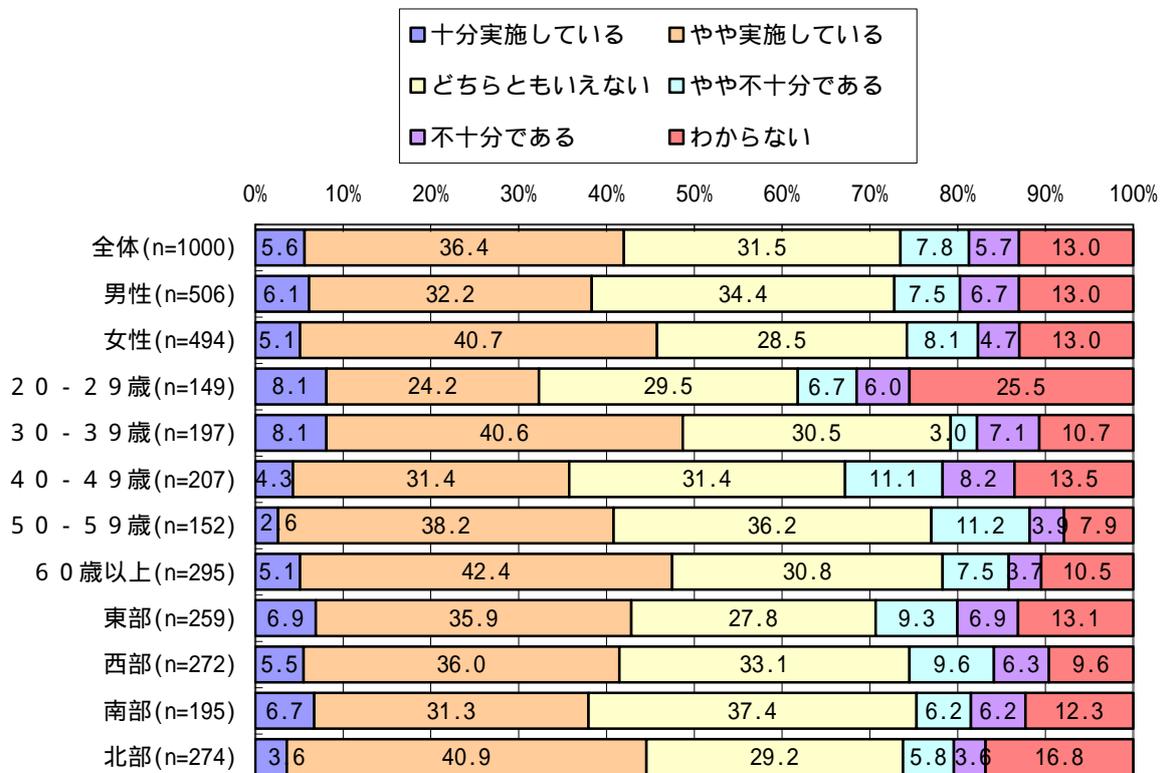
9.ごみの減量・リサイクル (3Rの推進)



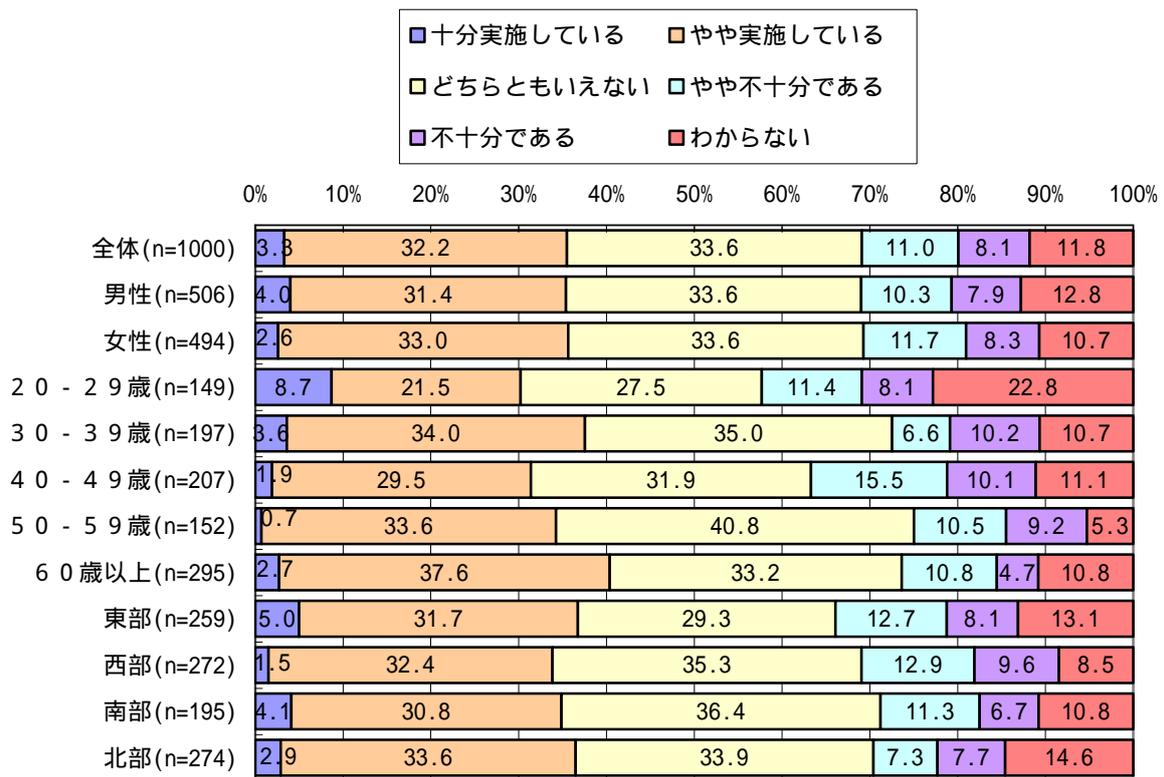
10.生活環境の保全（公害対策）



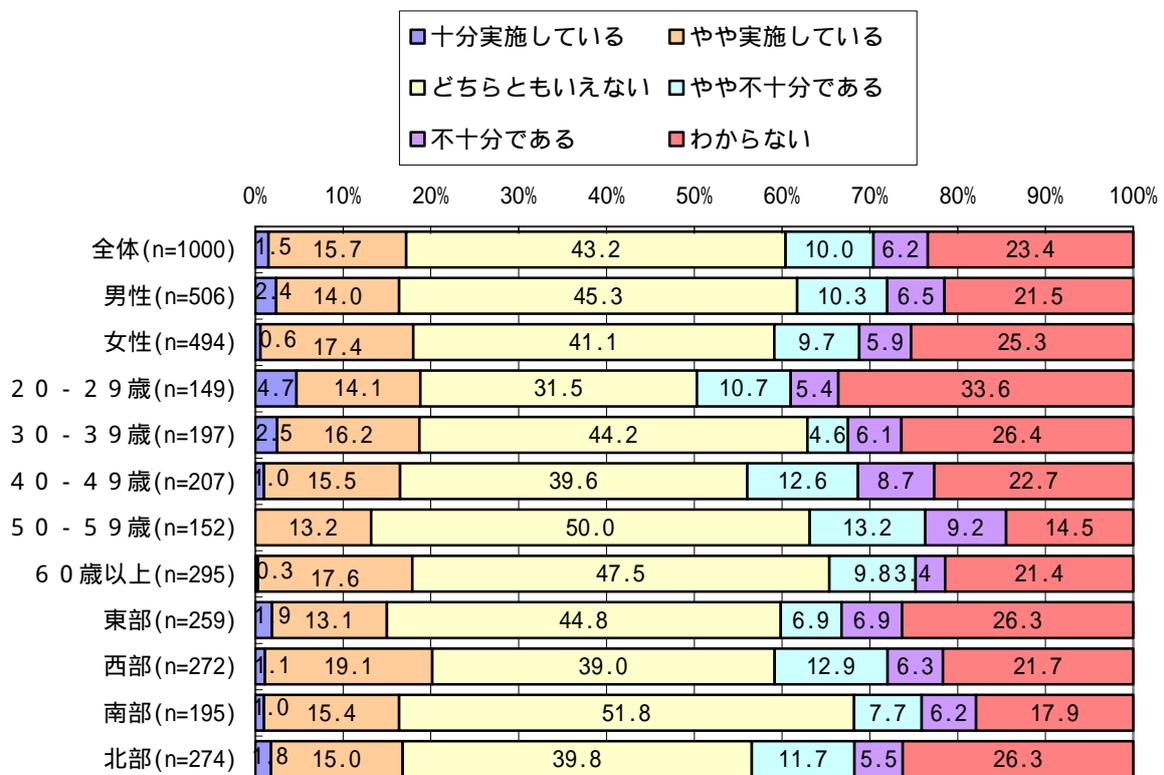
11.横浜らしい景観の保全



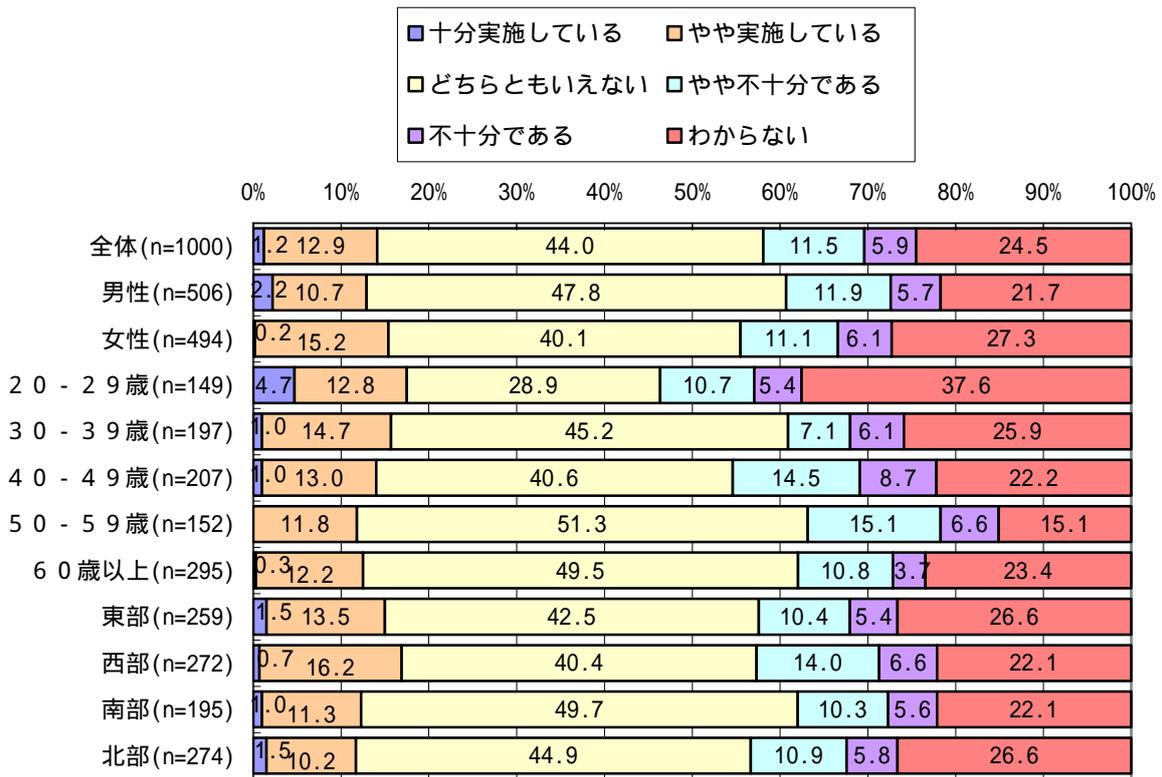
12. まちの美化



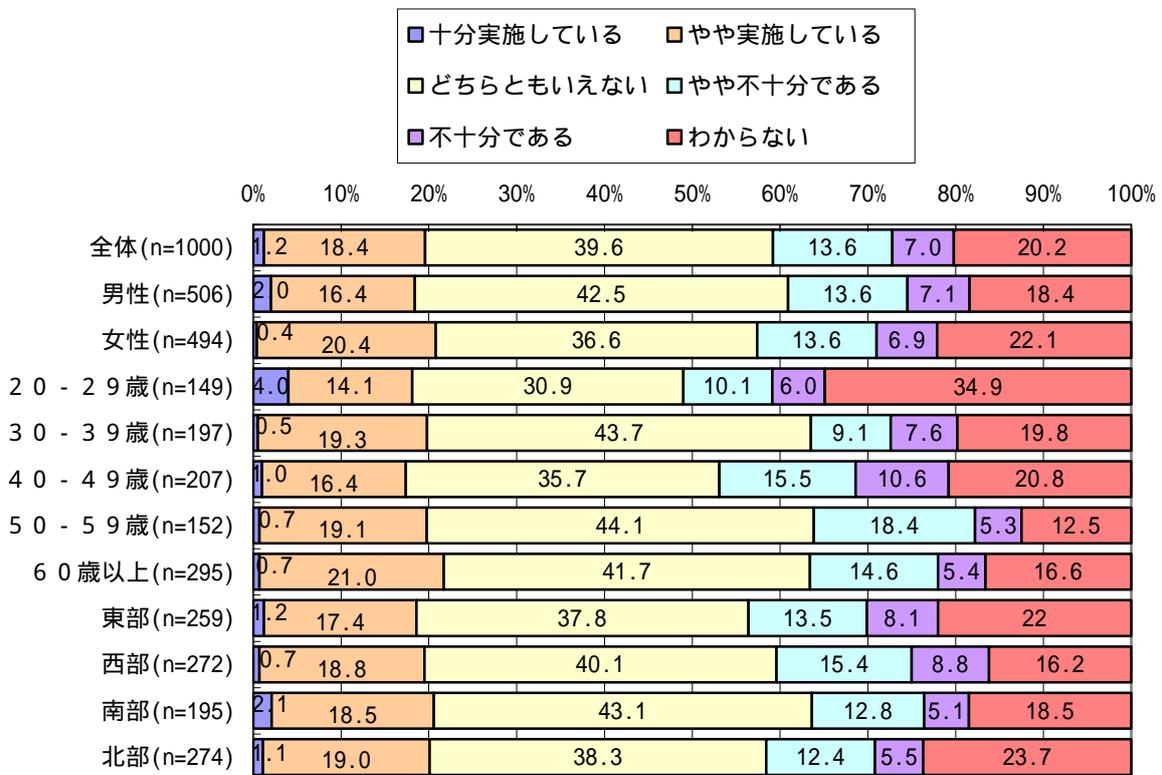
13. 環境教育・環境学習の推進



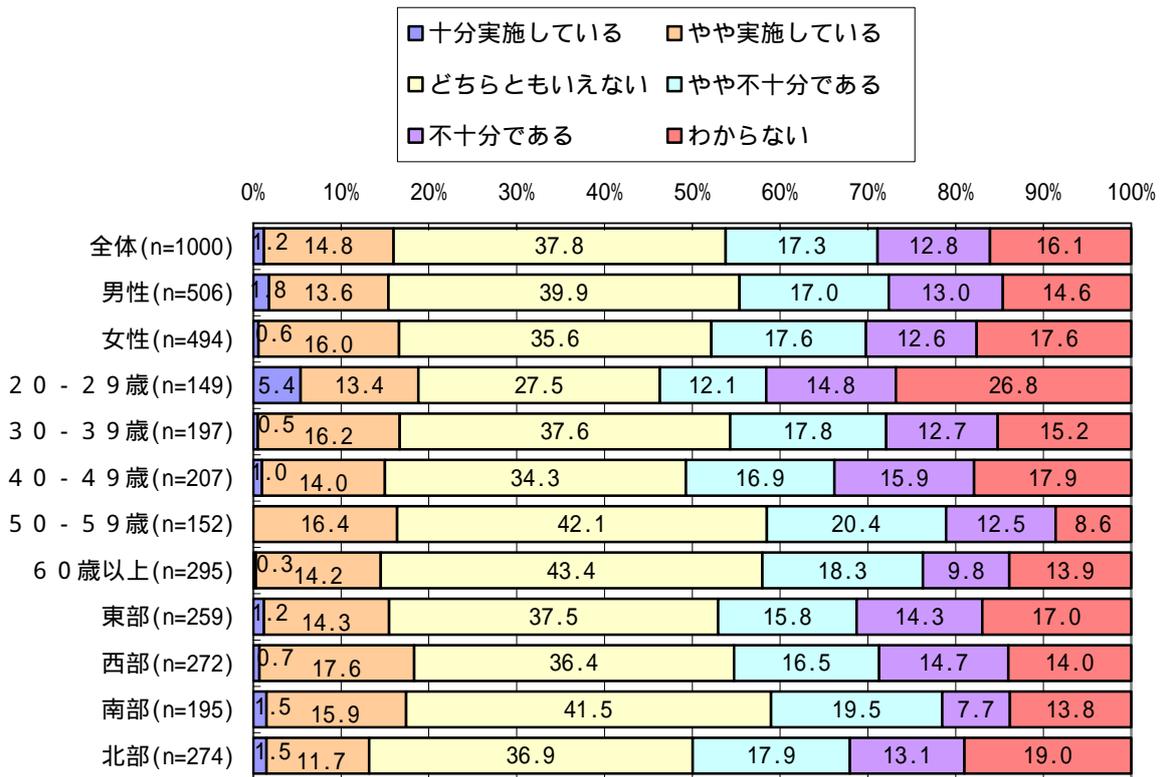
14. 環境配慮型製品の普及



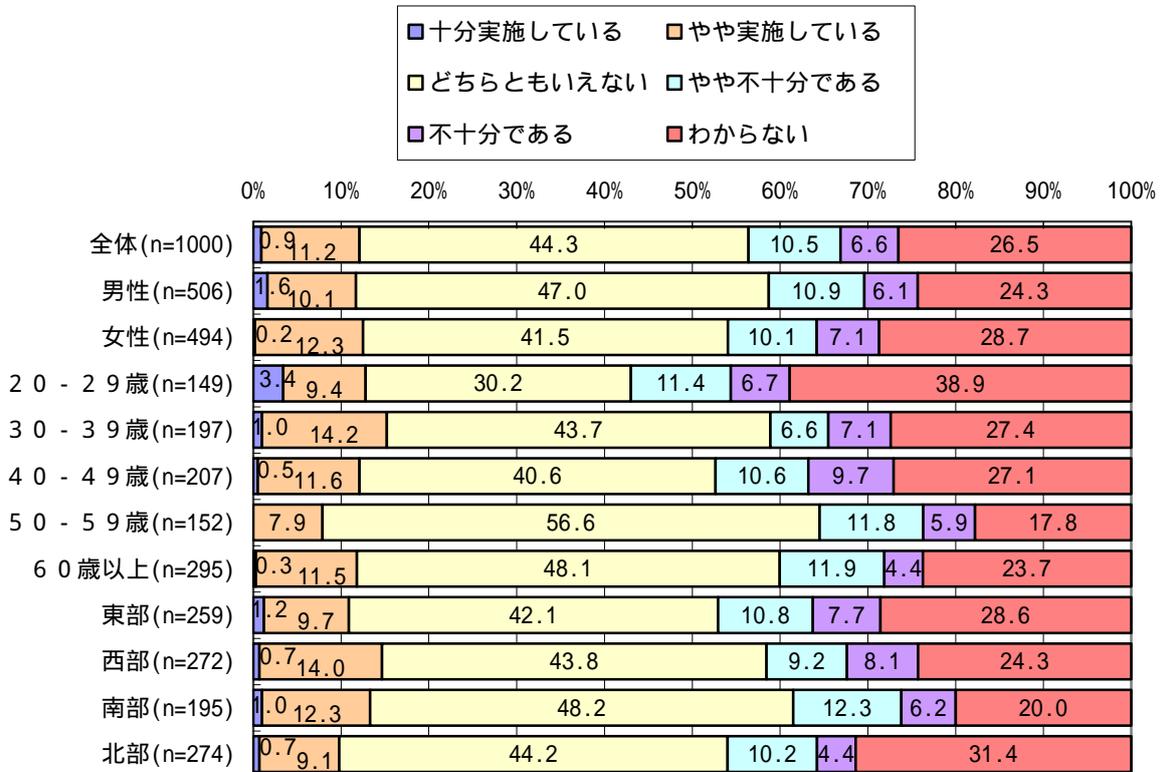
15. 道路整備や再開発事業等における環境配慮



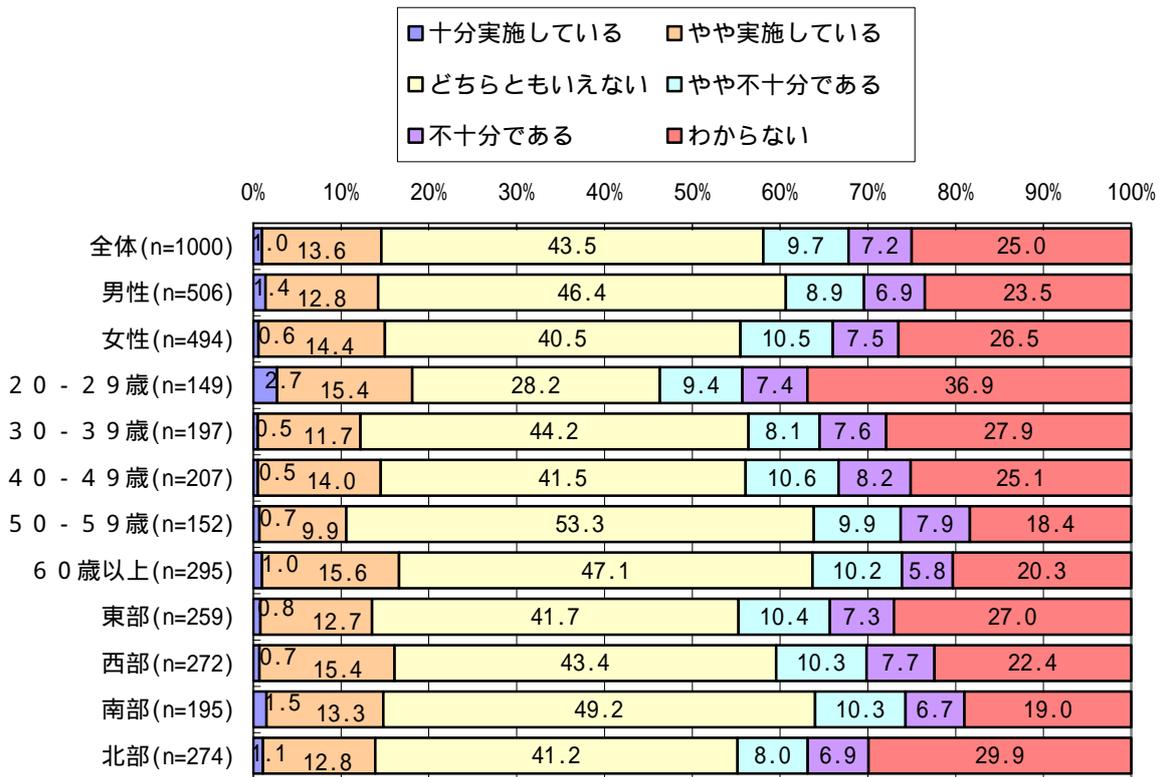
16.情報の周知



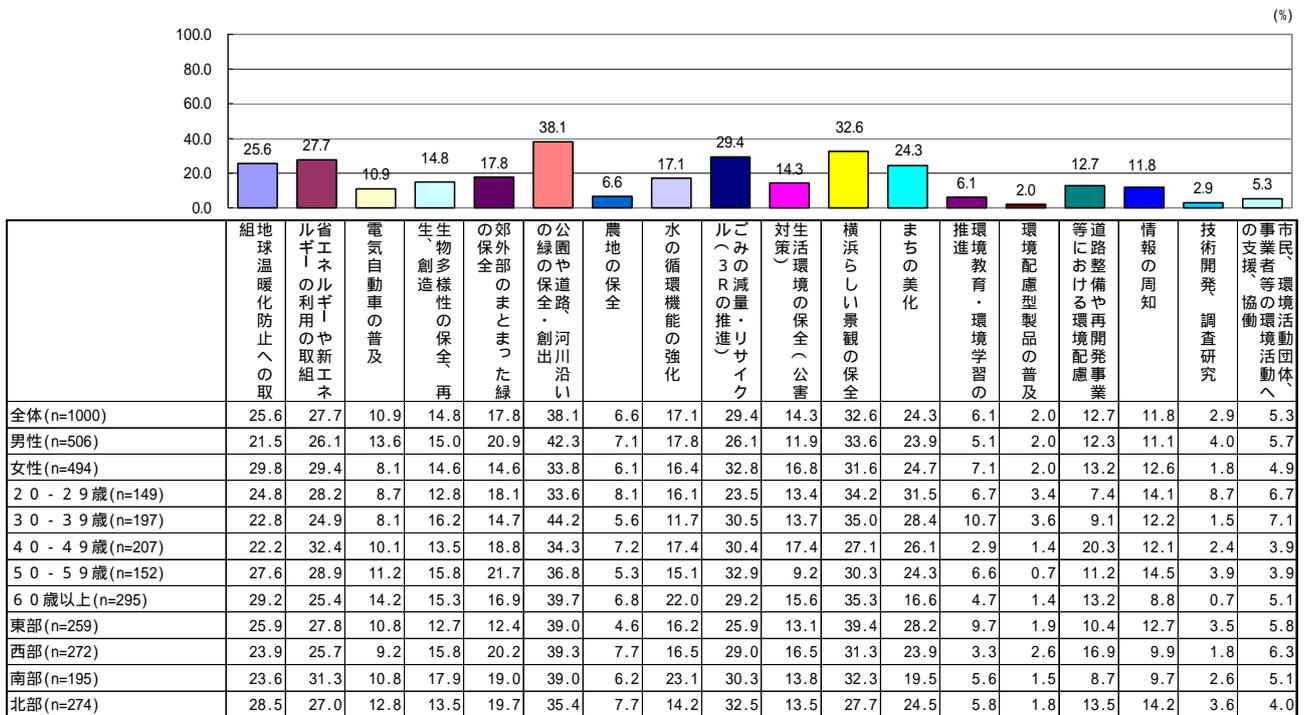
17.技術開発、調査研究



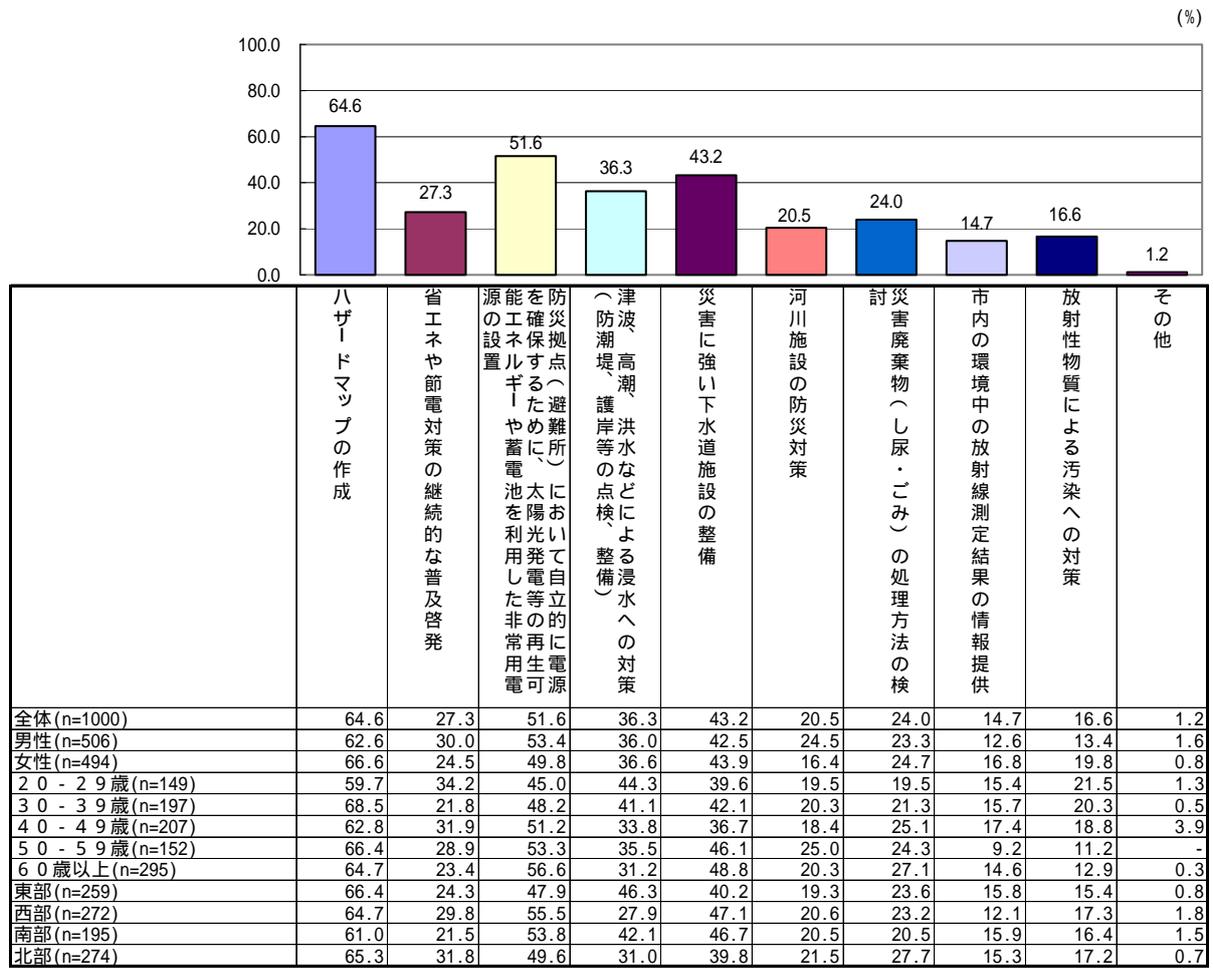
18. 市民、環境活動団体、事業者等の環境活動への支援、協働



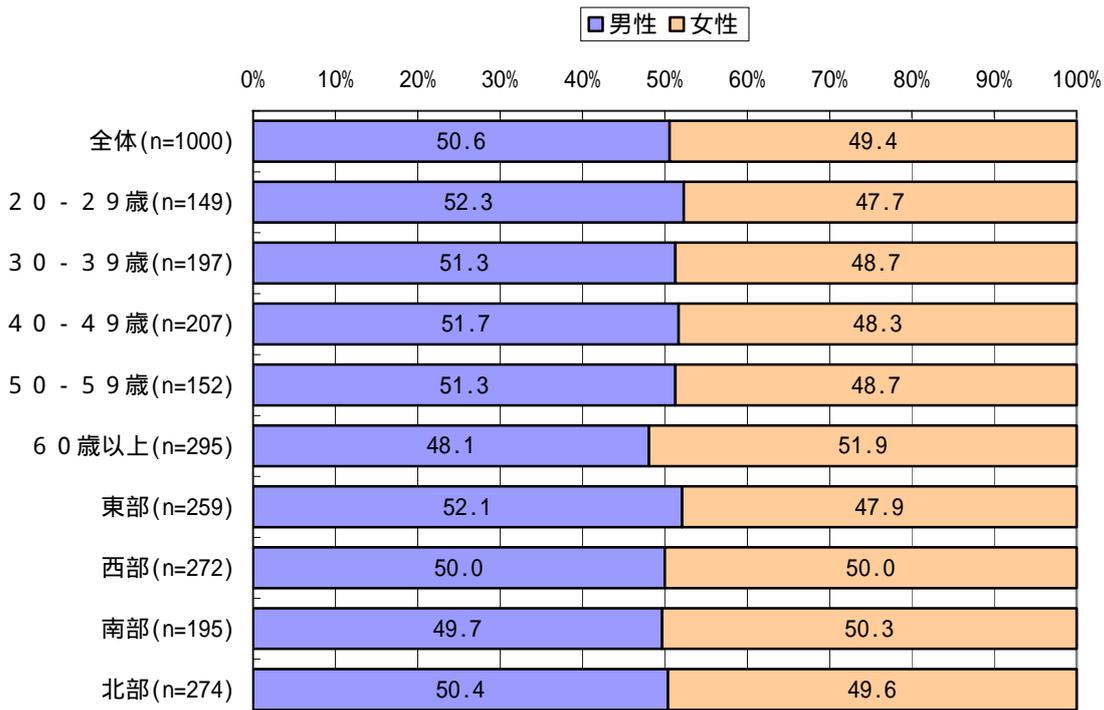
Q31.Q30の1~18のうち、今後、横浜市に優先的に取り組んで欲しい事項は何ですか。3つお選びください。(複数回答可)



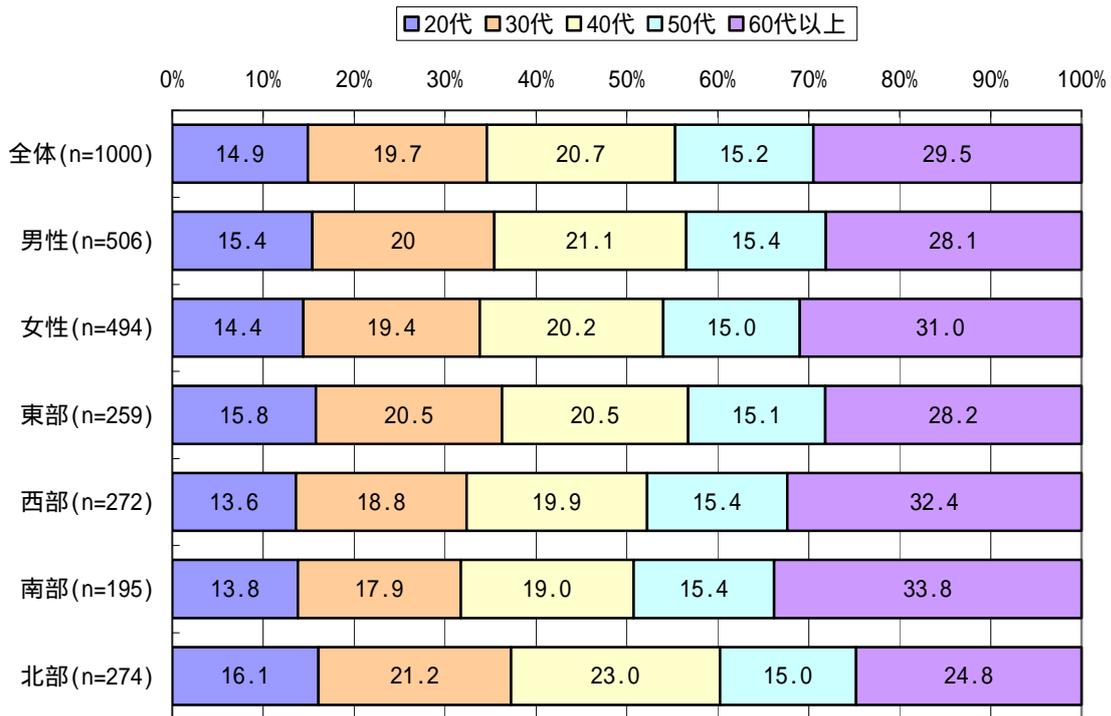
Q32.東日本大震災が発生して1年以上が経過しました。今後、本市が災害対策として優先的に環境施策で取り組むべきと思われることを次のうち、3つお選びください。(複数回答可)



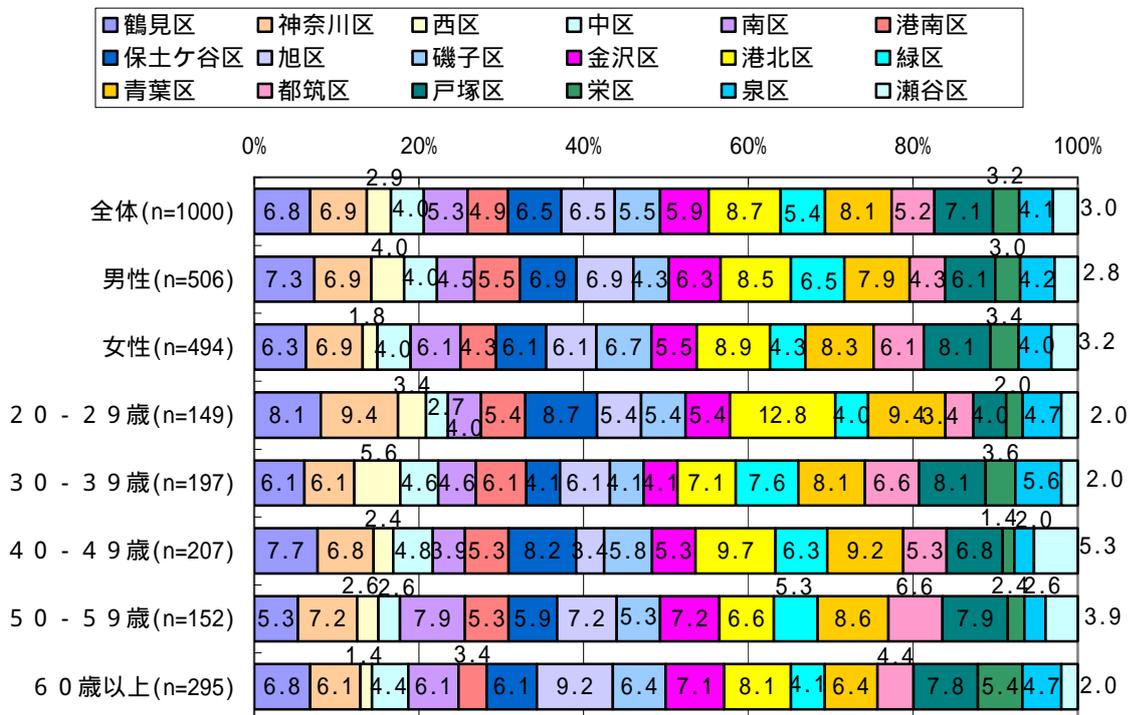
性別



年代



居住地区



職業

